

仮設4年目の声

1月10日

・4回目にやっと第2希望が仮当選。だが当たった気がしない。だまされているような気分だ。すんなり入れてくれたらいいのに、もったいぶって……腹が立つ。当たったところで平成11年まで入れない。それまで仮設にいられるのか不安だ。また仮審査の書類を見てても、全然意味判らへんかった。今日あんた達が説明してくれて助かったよ。仕事はなかなか見つからないが、障害年金で何とか食いつなげる。小学5年の時に交通事故で右腕欠損。でもいろいろ工夫して、車も運転できるし、片手と足をうまく使って魚もおろせる。釣りも上手にやる。釣りに行ったら友達がたくさん出来るから孤独の心配はないよ。(47歳男性、一人暮らし、担当：長船、村元、加藤)

・シルバーハイツに当選したが、入居できるのは11月頃になる。足を骨折してからそのままなので、杖を使っている。寝返りできないほど痛むこともある。だが足の手術は腎臓が悪いため出来ない。腎臓に腫瘍が出来ていて2回手術をした。今は血管造影剤を使って治療している。私はアル中だった。けれど断酒会に入り震災前は5年間止めていた。しかし仮設に入ってから、つい一口飲んでしまい、また始まってしまった。1年間くらい飲んでいたが今は体のこともあり、飲んでいない。以前は近所の人達が良くしてくれた。昔の長屋と一緒に、共同生活のような付き合いがあつて良かったが、今はもうバラバラになってしまった。淋しいし、ストレスを感じる。(66歳男性、一人暮らし、担当：下窪、亀井、矢野)

・公営住宅は、西神南・名谷を申し込んだが落選した。どんな抽選しとんのか？。また1月16日から募集があるらしい。その説明のために、市役所の人が「年が明けたら来る」と言っていたのに、まだ来ていない。(？歳女性、一人暮らし、担当：下窪、亀井、矢野)

隣は朝早く出掛けて、夜遅く帰って来る。仕事はされているようだが、仕事内容は不明。夜帰って来ては、一人で歌ったり、叫んだり、意味不明の言葉をぶつぶつ唱えたりしている。「眠れない！」。寝る時間を早めたりして、対策を立てているが本当に困っている。(62歳女性、一人暮らし、担当：赤西、田中、道行)

・年末から風邪を引き、それ以来お風呂に入っていない。以前職場で左足指を事故で失っており、革靴は履けない。また砂利道を歩くのも辛い。歩くと疲れ、痛むが体重が増えているので、医者には歩行を勧められている。他に12、3年前股関節の手術をしており、現在も痛み止めと3ヶ月毎のレントゲン診察を受けている。胃潰瘍・高血圧・慢性肝炎にもなっている。体を屈めるのが辛いので、ベッドを買いたい。靴を履くときは、立ったまま履けるように靴の内側を縫いつける工夫をしている。酒・煙草はしない。近所付き合いもあまりない。ベルBOXより半月に一度くらい電話が掛かって(安否確認のような物)来るかな。(67歳男性、一人暮らし、担当：盛本、清重(直)、緒方)

・11月に近所の階段で転倒し、右手甲を骨折。1月9日に退院したところ。以前、肝臓・心臓を悪くし入院したことがある。現在薬で治療中だが、薬を飲むと胃が悪くなるので辛い。訪問看護婦さんは定期的に来てくれる。足腰は大丈夫。住宅には当選したが、いつ入居がまだ判らないとのこと。言葉が少し聞き取りにくいだが、隣の方とは良くコミュニケーションされてい

る様子でした。(64歳男性、一人暮らし、担当：盛本、清重(直)、緒方)

・夏はエアコンをかけず、扇風機で十分。冬も電気ストーブなしで生活できる。だから光熱費はあまり掛からない。歩くのが好きで、どこまでも歩けます！ 肝硬変の薬をもらっているが、飲んでいない。公営住宅の申し込みもしていない。ここの生活に満足しているので、最後までここに居るつもり。1人でこの広い部屋を使わせてもらって贅沢だ。(担当者のコメント：「生きているだけで幸せです」の考え方を見習いたいと思います。)(73歳男性、一人暮らし、担当：南口、阿部、坂本)

・再訪問…足が悪く、正座が出来ない。心臓も悪い。ベッドが欲しい。日常生活用品給付についての資料を渡す。奥様が両下肢が90度しか曲がらないということで「障害手帳を受給したい。手続きはどうしたらいいか？」と尋ねられたので、西区役所福祉部の電話番号をご案内した。(76才、2人暮らし、担当：井手上、喜多山、岡)

・再訪問…高齢者の一人暮らし。大倉山の住宅に当たった。希望の所だし友達も周囲に多く、喜んでいる。(77歳、一人暮らし、担当：藤原、木原、尾池)

・再訪問…母は過呼吸症で祖母の所にいる。ストレスがたまり、それを発散できないようだ。アトピーが苦しい。”前とほとんど変わらない”ということだが、顔色は良く、調子良さそうです。ぽつぽつと話しをして下さるのですが、もともと大人しくやさしい性格なのでしょうね。仕事もすごく大変で、家庭のことも1人で背負っているみたいで本当に大変なのに、それを表に出してません。しんどいと思います。身近にグチを言える人や同年代の思い切り遊べる人がいればと思います。何より、もっと身体にやさしい仕事があればと思います。(担当者のコメント：彼が家のこと、仕事のことを19歳の若さで背負って頑張っているのに、僕はつくづく感心してしまいました。)(19歳、2人暮らし、担当：藤原、尾池、木原)

・再訪問…年金は2人併せて85,000円(1ヶ月)。シルバーハイツに当選したが、月45,000円の家賃は大変。通常の家賃減免制度(収入によって4段階ある)があるので、その資料を渡す。長田区のシルバーハイツに移ったら、今の仕事(玉津の薬局アルバイト)は続けられないので仕事を探さなくては……。シルバー人材センターに登録しているが、ろくな仕事がないとのこと。高齢者職業紹介所のパンフを渡す。恒久住宅でゆっくり落ち着けると思ったが、自治会役員になるのでこれからが大変。29世帯が入居予定。サポーターは10人ほどいる。住宅に入居した人で5年後、家賃が通常に戻り最も安い30,200円を払うことが出来ない人も出てくるのではと…それが心配だと言われていた。(担当者のコメント：避難所でも世話役のようなことをされていて、その頃のお話をいろいろ伺う。自分でその気がなくても、いつの間にか世話役にされてしまうような人だと思った。引っ越してもまた来て欲しいと言われた。)(71歳、2人暮らし、担当：西畑(律)、林(和)、矢萩)

・現在、腰痛で通院している。勤めていた市内の会社を辞めて無職。(担当者のコメント：前年の支援シートを元にお話ししようとしたのですが、他の団体(アンケートをとり、商品券500円を渡していたとのこと)と勘違いされたようで、”アンケート取りのボランティアなら何の助けにもならん”とお話を拒絶された。)(49歳男性、一人暮らし、担当：西畑(稔)、田中、矢田)

・一昨年までは仕事をしていましたが、昨年父・母・姉の3人が病気となり、その看病に追われた。両親は死去し、今は職を探しているがない。生活は今までの貯えで何とかやりくりしている。住宅を申し込んだが当たらず、困っている。姉が障害者となり、毎週病院に連れて行ってる状

況なので、兵庫区の住宅を希望したがダメだった。1月16日の募集は、残った住宅に申し込む予定。だが今後の生活を考えると、大変になる。もっと利便を考えた住宅が欲しい。(51歳女性、一人暮らし、担当：西畑(稔)、田中、矢田)

・一昨年、胃ガンの手術をした。1回目失敗したので、ほとんど間をおかず2回目の手術をした。退院後、調子が悪くなって救急車を呼んだこともある。手足にしびれが来る。同じ棟に兄と姉(心臓が悪い)がいるが、県営住宅(大倉山)に当たり4月には引っ越すという。兄・姉には今まで食事や買い物などいろいろ世話になっているので、1人になったら不安だ。電話もないので、民生委員に相談しようと思っている。(62歳男性、一人暮らし、担当：西畑(律)林(和)、矢萩)

・再訪問…夫：透析を受けている。左足が不自由。障害者1級。妻：右半身と手足がしびれる。近所のボランティアの方が4次募集を申し込んでくれると用紙を持っていったまま応答なし。ご主人は週3回、午前8時から夕方まで透析を受けに通院している。奥さんも同じく腎臓が悪く、一日長い時間寝込んでいる状態が多い。週2回ボランティアの手を借りて通院(兵庫区)している。日常の炊事は出来ず、ご飯以外はヘルパー(週1回)に頼んだ出来たおかずを食べる生活をしている。ご主人が透析の日は、長い時間いなので寝たきりの奥さんにとっては待っている間、大変淋しいと訴えておられた。2人には子供さんがいない。近所のボランティアがケアライン119を付けるべく区役所に行ってくれたが、未だに付く見通しが無いし、何とも言って来ない。新しい住宅は兵庫区のシルバーハイツに当たった。また時々訪問して話を聞いて欲しいとのこと。(75歳、2人暮らし、担当：西畑(稔)、田中、矢田)

1月17日

・震災後、大阪の妹の所、そして弟の所へと住まわせてもらったが、気を遣うので去年3月仮設に移って来た。今回公営住宅に当たり、5月には引っ越す予定です。(担当者のコメント：2時間の間とても良くお話しされて楽しそうでした。また今までの人生経験や健康のことなど、いろんなお話を年代の違う人(ペアを組んだ人も含め)と出来、私自身も勉強になりました。(70代女性、一人暮らし、担当：清重(智)、北浦、近藤)

・9年前から夫は、毎年のように手術している(腸の病気)。今も2週間に1回通院しているが、ここから労災病院(西宮)までは遠すぎる。私は耳が遠い。障害2級で補聴器はあるが、風邪を引くと聞こえにくくなる。そんな時は、かかりつけの医者(灘)へ通うのが辛い。灘には帰られへん。申し込んでも申し込んでも当たらへん。よそからも便利やからと申し込まれては、はみ出してしまう。今回はあきらめ、北落合(名谷)に申し込んだ所、やっと仮当選になった。1月29日に審査があるようだ。「生きとって良かった」。亡くなった人は気の毒やったし……。もし火が出てたら生きてなかった(3時間生き埋めになっていた)。ここでも孤独死に近いケースはあったし……。命は粗末にでけんわ。仏様に「まだ来るな」って言われたような気がする。(67歳、2人暮らし、担当：山戸、猪上、長船)

・被害の少ない地区だったから、最初は一部損壊としか認めてくれず、大変だった。古い壊れかけた家で2年間頑張ったけど、地震の後どんどんひどくなってきた。ようやく半壊と認められ仮設に移れた。ここに入れてもらってるだけで、もう言うことないです。住宅に当選し、2月に引っ越す予定です。買い物が近くなるから(足が悪い)、楽になると思う。(74歳、2人暮らし、担当：猪上、長船、山戸)

・長田区の市営住宅に当たり、ほっとしている様子でした。現在年金暮らし。明るいおじいちゃんです。特に問題はないとのことだが、喘息持ちと酒の量が多いのが気になる。夜はいつも酒を飲んでいるとのこと。淋しくて酒で気を紛らわしている様子でした。(72歳男性、一人暮らし、担当：多谷、祝、十河)

・事前予告チラシで1日乗車券のことが載っていたので、役立った。家族5人、朝から車で長田の方に行く。主人と私は仕事、子供3人は学校へ。帰りはバラバラになる。公営住宅は主人の仕事や子供の通学のこともあり、長田近辺を申し込んだが、全て外れた。追加募集の所は、みんな遠い所ばかり。公営住宅を建てても、交通の便のことは考えていないのでは？。主人の防水工事は減っている。昨年の夏ぐらいから給料は半分以下になった。今は家賃がただだけ……現状は家賃が払えない経済状態である。半年間避難所暮らしをしたが、大人のマナーの悪さなどいろいろと子供達にもいい勉強になったのでは……。 (44歳、5人暮らし、担当：井手上、津田、矢萩)

・民謡が好きで、三味線を練習している。昨年は民謡で優勝カップを頂いたとのことなので、歌ってもらいました。お返しに三味線を弾きながら沖縄民謡を歌った。また故郷(山形)の人も見してくれるから、NHKに出たいとのこと。近いうちに実現できればいいなと言われていた。おばあさんと呼ばれるのが一番嫌であるとのこと。そして坂道や階段が辛いので、公営住宅(板宿)に1日でも早く当たりたいとお話でした。(担当者のコメント：コーヒーを頂きながら、長時間話し込みました。4人で歌を唄って楽しい時間を持つことが出来、「本当にありがとう」と言われていた。(84歳女性、一人暮らし、担当：藤原、木原、小波本)

・父が心臓の病気で大変である。今回、住宅が当たらなかったため泣きたくなくなった。週1回の病院通いがあるため、早く住宅が当たって欲しい。玄米の説明書を渡したところ、非常に喜んでおられた。(71歳、2人暮らし、担当：藤原、小波本)

・どの家の方に伺っても、自治会が頑張ってくれているというお話で、精神的にも割と安定しているように見受けられる。だが「仮設の雰囲気がこの3年で、目に見えて重苦しくなってきたのが分かる。毎日帰ってくるのが嫌になる。人がますますいなくなって、今後どうなるのでしょうか？。50代の僕(あちこち体にガタが来てはいるが)が当たって、60代と70代の隣の人がそれぞれ当たっていない。話しかけるのも、少し気が引けます」という話を伺いました。(50歳男性、一人暮らし、担当：尾上、杉谷、寺野)

・希望が灘と中央区なので外れてばかり。でも灘区の病院に通っているため、遠方では困る。近所では一人暮らしの者が多く落選しているが、未だに当選基準が分からないとのことでした。「住宅申込案内」が届いていたが、前回より説明不足です。私達3人で読んで説明しました。説明会は1月26日。民生や保健婦の訪問はあるが、皆短時間で帰ってしまうとのこと。(80歳女性、一人暮らし、担当：赤西、小田、西野)

・二人とも健康状態が悪く、病院に通っております。3年経ち、これ以上皆様(ボランティア)に頼って、甘えていいのでしょうか？。月日は駆け足で過ぎました。日に日になぜか心が重くなります。でも頑張らなければと思います。これからは自分の足で少しずつでも歩いてゆかねばならないのです。体がだんだん弱って心細いです。自分の足で歩くにしても……。またすぐグチになりました。ごめんなさい。元気を出して、明日の明るい太陽を信じて生きていきます。今日は震災の日で、ラジオを聴いていて涙が出た。(担当者のコメント：公営住宅は当たり、11月引っ越すとのこと)(66歳、2人暮らし、本人自筆)

・骨粗鬆症。腰痛もひどい。膠原病の時にステロイド剤を使ったのが原因で、骨がもろくなってしまった。公営住宅は4回とも落選した。「パチ当たっても家は当たらんわー」。家が当たって欲しいと思うものの、隣同士の顔も知らない公営に移るのはとても不安。自分は読み書きが全く出来ないの、誰かに助けてもらわないと生活できない。辺鄙なところに行くぐらいなら、あの世に行くまでここで暮らしたい。(担当者のコメント: 明るい方で、近所の人気者という感じでした。毎日同じ仮設内の方と夜間中学に通い、日本語や体育などいろんな勉強をされているそうです。朝鮮が故郷なので、神戸には知り合いが一人もいなくて、淋しいといっておられた。「今晚、別に用事なし、もう死んでもいいねん」と笑いながら言われた言葉が忘れられません。笑うに笑えませんでした。)(70代男性、一人暮らし、担当: 小山、藤丸、岡本)

・肺気腫で通院中。足・腰が悪くなり、タクシー代がかかり、生活費に困窮しています。公的支援の実現を1日も早く願っている被災者の一人です。今後もおそらく仮設での死亡者はあるでしょう。(71歳男性、一人暮らし、担当: 尾上、寺野)

・もと住んでいた中央区の公営住宅に5倍以上の倍率という、大変な抽選に当たられ、嬉しそうでした。移転は6月で、もうムカデや虫にびくつくことのない生活に入れるのが嬉しいと。しかし、当たらなかった人のことを思うと手放して喜べないと言われていた。湿度の高いこの仮設での生活はもう限界です。みんな体を悪くしていますとのこと。(70代、2人暮らし、担当: 縣、杉谷)

・いつもいつも心に掛けていただき有り難うございます。被災3年を迎え、今朝も何事もなく、無事であることを感謝いたします。仮設住宅…とても良い所です。でも淋しいことの方が多く、心の病の方も浮き沈みでしたが、やっと住宅が当たり、そのせいか一寸元気になりました。ここに来てから、2週間に1回訪問していただいたボランティアの方々にお礼申し上げます。(69歳、2人暮らし、本人自筆)

・祖母(60歳)…公営住宅が当たって、嬉しくて涙が出た。見に行っただけ、これからきれいな街になるんやろうなあとと思うとワクワクする。母(30代)…嬉しさより、不安の方が大きい。何も無い所でほんまにこれから開けるんやろうか? 働く所はあるんやろうか? 子供の中学まで近いんやろうか? ……e t c. 考え出したらキリがない。とにかく不安。毎日2人の気持ちのズレからケンカ! けど仲良さそうな親子でした。(60代、3人暮らし、担当: 小山、藤丸、岡本)

・昔、夫が病死した時に、姑に子供達を連れて行かれてから、ずっと一人ぼっちで暮らしてきた。震災後、あまりにも不憫に思った知り合いが息子を捜してくれ、何十年かぶりに会うことが出来た。ほんまに嬉しかった。仮設にいても、身内は訪ねて来ない。それが一番淋しいし、辛い。だからこうやってボランティアさんと話できるのが、本当に嬉しい。また顔を見せてね。(?歳女性、一人暮らし、担当: 小山、藤丸、岡本)

・引っ越しの件で、周囲の話を聞いているとトラブル(ヤクザのような人がやっていたりする)があり不安。信頼出来る所をお願いしたい(市民版引っ越しプロジェクトの資料を渡す)。(83歳女性、一人暮らし、担当: 井手上、矢萩)

・ガラスの隙間から雨が入ってくる。仮設内に大工さんみたいな人がいて、布団を干すために乗る台を作ってくれたので、背の低い私にはとても有り難かった。却って街の人の方が冷たい気がする。(?歳女性、一人暮らし、担当: 田花、矢田、青木)

・心臓病で月2回長田に通院しているが、95年通院途中で倒れ、救急車で入院したため、現在は車で送迎してもらっている。発作が怖いので余り外へ出ないが、夕方毎日夫と30分ほど散歩する。食事の用意以外は、夫が全部やってくれている（夫も肝臓病と糖尿病であるが）。不便な所だが、バイクがあるので買い物には不自由してない。ふれあいセンターには行かないが、2、3日姿を見ないと裏口から「どないやー」と声をかけてくれる。玉津の空き家に当選した。いつ移れるのか分からないが、9階建てでエレベーターが付いており、家賃減免（5年）がなくなったときの正規家賃が安いということで選んだ。2人の年金は合わせて月15万円だが、それで足らず、この3年で60万円ほど貯金を使った。今日はテレビで震災のことばかりやっていたが、2時間もするといろいろ思い出して辛いので、テレビを切った。ついでに戦争のことまで思い出して、涙が止まらなかった。（72歳、2人暮らし、担当：小野、合内、盛本）

・公営住宅は今回も外れた。もと住んでいた長田をずっと申し込んでいる。この頃体の具合が悪いので不安だ。7年前に主人は亡くなり、一人暮らしをしている。地震の時に折れた腕の骨が、寒くなると痛む。（80歳女性、一人暮らし、担当：永安、山本、阪本）

・震災前に大阪から引っ越して事故に遭い、その後すぐ被災した。その後遺症か？足や脊椎に電気が走る。もう医者には行きたくない。落ち込んでいるときは、娘と話すのも嫌になる（本来明るい方のようなのだが、この時は涙を浮かべられていた）。いたずら電話や洗濯機のコードを切られたりする。（?歳、2人暮らし、担当：原、西川、大窪）

・最近声が出なくなったが、住宅が当たって“ほっと”したのか、出るようになった。これからは人のために何かすることを考えて、積極的に生きることにする。（担当者のコメント：これから文通しあうことになりました。お話し伺い冥利というか、感動の30分でした。）（70歳女性、一人暮らし、担当：縣、杉谷）

1月24日

・住宅は落選とのこと。「まあ、何とかなるようにしかならない」と少し投げやりな感じだった。前回（96年9月）もお話し出来なかったようで、ましてや身体の方も病気がち、外との交流の様子も分からない。特別に暗い風には見えなかったが、これから先、少ない戸数で長期間どうしたものかと思う。ここの仮設には、コープのボランティアが来るとのことなので、そちらと接触があれば、少しは安心だが。（60代女性、一人暮らし、担当：初宿、藤岡、盛本）

・高血圧、心臓病である。市やその他のアンケートにいろいろ書いたが、何もしてくれない。公的援助もどうなっているのか？。ここは少人数で、大きな仮設に比べて何もしてくれない。イベント・情報等も全くない。市は「三宮か西神中央に行け」と言うが、行くのにどれだけお金がかかるか、知ってるのか！。光熱費を削らないと生活していけない。風邪を引いても医療費が高くて行けない。自治会を作って欲しかった。今頃になって市は、空き家を集会場にしろと言ってきているが、今さら何を言ってるんだという感じ。公営住宅は外れた。もうほとんどの人が転居先も決まっているので不安。（65歳、2人暮らし、担当：金平、大村、立花）

・足が悪く、今は無職。春から仕事を始めたい。妻と数年前離婚。一人暮らしを楽しんでいると言っておられたが、実際は寂しそうでした。魚釣りが趣味で料理は得意と。5月頃、元の場所に戻れるとのこと。ぜひ遊びに来てくれと言われたので「飲みに行く」約束をした。（59歳男性、一人暮らし、担当：金平、大村、立花）

・公営住宅（兵庫区）に当たったが、家賃や階段の上がり降り（主人の体が悪いため）など不安なことが多く、素直に喜べない（10月に引っ越し予定）。私が1日働いても、女だから大した額にならず、これからの生活に不安を感じる。その上、主人と私で医療費が月7,000～8,000円かかってしまう。（62歳、2人暮らし、担当：金平、大村、立花）

・今頃なぜ訪ねてきたのかと聞かれたので、西区の全部の仮設を順番に回っており、また毎週集まれる人間が少ないので1年半ぶりになりましたと伝えた。ここに来ていたボランティアはカーボランティアを頼むと報酬として品物を受け取ったり、子供が帰ってくるからと途中で帰ったりと、心構えの出来ていない人が見受けられた。心のケアを出来るような人はおらず、却って逆撫でするようなことを言う人がいた。民生委員も「仮設の住民は甘えている」「自分も苦労して家を建てて、ここまで来たのだ」など人を見下すような言葉遣いが多かった。またコソコソと物を渡したり、上手したりする人には便宜を図っていたとのこと。彼女自身、何度も首をくくって死のうと思ったり、手首を剃刀で切ろうとしたことかど……（犬が飛びかかったので、我に返った）。この仮設はお年寄りが多く、動ける人は自分しかいないので、そのお世話で忙しくしている間だけ、嫌なことは忘れていられたとのこと。自分は、3月末で引っ越すが、残りはお年寄りの2世帯となる。おそらく身内の所へ移られ、ここには誰も残らないのではとのことでした。（担当者のコメント：しっかりした対応だが、時々涙ぐまれる所もあった。丁寧ではあるが「あんた達、今更何をしに来たのか」という気持ちが伺えた。いつ反対の立場になるかもしれないので、人に説教じみたことや自分を褒めたり、人を見下したようなことは、絶対言わないようにしようとも思いました。）（59歳、2人暮らし、担当：祝、大野、田中）

・被災する前に背骨を折って、体が悪い（一見元気そうだが）。仮設に入ってから、左腕を骨折。近くの病院に通うが対応が良くない。娘2人を嫁に出し、ようやく左うちわと…と思っていたら、震災で家が潰れ、さらに火事で丸焼け。アルバムまでも焼けてしまい、思い出がみんなパーになってしまったと言われていた。酒の臭いがかかりしたが、次いつ訪問してくれるのか？と一言。ボランティアに頼むことはないが、話し相手が必要と……。（66歳男性、一人暮らし、担当：赤西、田中、児玉）

・ここに来るボランティアは、自分達だけ（仮設の人間には話しかけない）で喋り、物を適当に配る。それ以外はしない。自分達の汚したトイレの掃除など一切しない。震災当時、一生懸命頑張ったボランティアとえらい違いなので断った。ポートアイランド仮設では、メロンを配ったり餅つきをしたりと…いろいろあるようだが、ここではない。そんな報道と仮設は家賃がただということ”めぐまれている”と言われる。ましてや「ここではなぜそういうことがないの」とお年寄りが尋ねる。あんな報道、迷惑だ。ここでも私達のように安月給の上に、交通費が月4万円かかっても生活している人間と荷物置き場にしている人の違いがある。市はそのことをよく考えて欲しい。「本当のこと（仮設の中の…）は、そこに住んでいる人間しか知らない」（ふれあいセンターにて、担当：長船、小笠原、加藤（隆）、若菜）

・分譲マンション全壊。再建費用を思うと……。会社（自営・建築）も潰れ、事務所も道具も潰れ、従業員も亡くなった。残ったのは借金だけ。希望は薄いから子供（兵庫区）の所に帰りたい。早よ現金をくれたらみんな自活して、ここなんか出るわ。ましてや仮設に入らなくても頑張れたのに！。それにしても神戸電鉄は高い。乗る度に腹が立つ。この仮設も3月にはほとんどの人が出る。私達も補欠当選1番だが……。2月に当選者の辞退が分かる。前も同じよ

うなケースで入れなかった。ここも永久に居られへんし、早よ落ち着きたい。でも変なところに住むんだったら、ここに居た方がいい。(65歳、2人暮らし、担当：長船、小笠原、加藤(隆))

・公営住宅は、この前やっと当たって仮当選。でも当たっても家賃を払うメドが立たない。年寄りでも若者でもない。一番きつい年齢だ。職安に行っても仕事がないし……。燃料屋(灯油)の仕事だったが、家が壊れ得意先も失った。免許がないから、今は掃除の仕事しかない。その仕事も働ける日数が少ないので、今までの半分くらいしか給料をもらえない。(50歳、?人暮らし、担当：長船、小笠原、加藤(隆))

・糖尿病と心臓弁膜症。現在入院先の先生が2週間に一度、往診に来てくれるので大分良くなった。入居して1年経つが、電話がないので福祉にお願いして欲しいとのことであった(県営住宅に3月引っ越し予定)。(担当者のコメント：「声を聞けるだけでも元気になれるのに…」と言っておられたのを聞いて、私達が普段何気なく使っている「電話」の大切さを痛感した。)(84歳女性、一人暮らし、担当：西畑(稔)、岡本)

・去年、心臓と肺に水が溜まり、4~6月まで2ヶ月入院していた。若い時に妻を亡くし、一人住まいが長いのでこの生活に不満はない。生活保護を受けているが、日常の買い物は足が悪いので、行きも帰りもタクシーを利用しているとのこと。部屋の片付けも余り出来ない様子。生活費のことも考え、ホームヘルパー(買い物・掃除など)を利用してはどうかと勧めてみた(週ボラの資料を見せて説明した)。住宅は明石に当選。(担当者のコメント：「人に迷惑をかけたくない。自分の気の持ちよう一つや」と言っておられたのが印象的だった。また「言うてもしやあない。その場限りの人が多いから」と……。もっと定期的に支えられるボランティアの必要性を感じます。)(83歳男性、一人暮らし、担当：西畑(稔)、岡本)

・最近、病院から老人の姿がめっきり減っている。これは病人が減ったのではなく、医療費が高くなったため来れない人が増えているということだ!。また最後の一人が出るまで、ふれあいセンターは開けておくべきだ。どこか一ヶ所、皆が集まって話が出来るところがあるのは大切なこと。(56歳男性、一人暮らし、担当：亀井、浦口、佐沢)

・体の具合が悪い。リウマチ・ヘルニア。だから仕事にも行けないし、お金も使い果たしてしまった。これから先、どうして生活していくか悩んでいます。だから住宅も申し込んでいません。(60歳男性、?人暮らし、本人自筆)

・我が身、己の家庭のこと(妻：震災直後より、精神に異常をきたす。2級認定)は、何としても切り抜けるが、この仮設を去った後とどまる老弱者を思うと後ろ髪を引かれる。1. ゴミ捨て場まで5回も休まねばたどり着けない方。2. 自分でガスも使えず、1人で風呂にも入れぬ方。3. よちよち歩きの子にも負ける方。4. 手押車を…それに寄り添い、身を預けなければ歩けぬ方。5. コップの水もろくに持てぬ方。その他諸々の生活弱者…身障者…三年も経って寒い仮設に座り、倒れる者に金利で食うて居る者は一人もないけどね。『春遠き仮設の庭に霜枯れし人を涙で温めてをり』あれから三年。この仮設からも5人の方を失いました。『衰老更に進む』『神々の与えし試練を耐える日も明日すり切れるか其を恐れをり』(59歳、2人暮らし、本人自筆)

・今、仮設に残っている人は高齢の人が多。けれどふれあいセンターで炊き出しでもあったら皆(年寄りでも)行ってるで。話もするし交流はある。今日も(週ボラの)チラシが入っていたので病院から早く帰ってきた。一人で家の中に居っても笑うこともないから、こうしてき

てもらって嬉しいよと言って下さった。長田に行ってからホームヘルパーをということで、長田の問い合わせの電話番号を確認して、マーカーを引いてきた。(70歳女性、一人暮らし、担当：寺野、中屋敷、小田)

・夫：第一級身体障害(下半身が動かない)。妻：アカラシア(食道の神経的な病)。毎週火曜日に訪問看護に来てくれるが、坂・階段が多いので、足・腰がかなりしんどい。(73歳、2人暮らし、担当：武内、合内、藤丸)

・仮設に入って、早くも3年を迎えようとしています。一体いつになったら恒久住宅に転居し、本当の意味での復興が得られるのかと不安です。それに被災者の中に出てきた復興の格差、そして取り残されていく不安。それらのことについて行政の然るべき説明・処置もなく、現在も仮設に住んでいる人は、誰の目から見ても皆弱者ばかりです。自力ではこの仮設から出ることの出来ない人達ばかりです。国は1日も早い公的支援をするべきです。銀行や住専に税金は使っても、神戸で何千人が死に、そして何十万人の住民が困っていても平気なのでしょうか？。被災者は全員、公的支援反対の議員に絶対に投票すべきではありません。(49歳男性、一人暮らし、本人自筆)

・猫なんて近所の人がみんな捨ててゆく。仮設の人が飼ってくれると思うてんのやろ。飼ってる訳ではないが…かわいそうやないか(と餌をやる)。糖尿病で入院する予定だったが、病院が満員で入れない。倦怠感があって何もしたくない。ここへ来て6回入院している。福祉を受けている。そやないと干上がってしまう。新しい住宅が決まったら仕事出来るだろうと思う。今まで仮設ということで2回断られた。こんなんで、自力で仮設を出られる人なんていない。わしらみたいな人間と年寄り、どうにも出来ない。酒飲む人だったらきつと孤独死している。西区の職員は冷たい。だから東京の議員なんか分かる訳がない。東京で地震が起こらん限り。誰か国会の前で割腹自殺したら分かるんやろうか？。冬はエアコンをかけても18度くらいしか上がらない。朝、部屋の中でお茶が凍っていたこともあった。夏はクーラーをかけても42度になることがある。神戸市は年寄りが死ぬのを待っているようなもんや。わしらは抵抗力があるからええけど、またこの冬、たくさん死ぬのやろな。(49歳男性、一人暮らし、担当：加藤(純)、矢萩)

・公営住宅未だに当たらず。頸椎損傷。腰が痛む。洗濯機が壊れた。新品買うのにも値段高いし……。公園で遊ぶ子供がいたずらをする。ゴミ箱代わりにお菓子やその屑を捨てていく。近所付き合いも少なく、一人寂しい日々が続いている。(50歳男性、一人暮らし、担当：亀井、浦口、佐沢)

1月31日

・主人が最近ボケ始めた。元気で食欲もあり、晩酌も欠かさない。でも、紙おむつ代(主人)がかかるので大変(昼用90円×2個、夜用200円×2個で1日約500円)。公営住宅は、灘区を申し込んだが落選。脇浜(埋立地)の公営を「5年もすれば住みやすくなる」と勧められているが、この年で5年も不便な所では……。みんなが住めるだけの(抽選しなくても)公営住宅を建ててから、仮設から出て行けと言うべきだ。(94歳、2人暮らし、担当：黒田、中村、佐竹、寺野)

・住宅の申込はしなかった。出て行く時が来るまで、居ればいいという感じ。食べ物で健康に良いと言われる物は、何でも試している。今、一番必要なのが野菜。近くのスーパー(買い物

できるのはそこしかない)は高く、新鮮な物が売っていない。形が悪くてもいいから、新鮮な物を欲しい。周りの人も皆同じ意見だ。一度業者に売りに来て欲しいと頼んだことがあるが、断られた。(76歳女性、一人暮らし、担当：早田、日高、亀井)

・10人の子供を産んだが、夫を45歳で亡くし、その後家政婦の仕事で子供を育て上げた。現在末っ子(男)と同居。彼(41歳)は失業中。なかなか仕事が見つからず、今はアルバイトをしているとの事。持病は高血圧・心臓疾患。今は小康状態。公営住宅は外れ、最近子供からの送金もない。年金22,000円(1ヶ月)で生活しているので、公営に当たっても、家賃を払って生活するのは難しいだろうと言われていた。収入が余りにも少ないので生活保護を勧めてみたが、国のやっかいはなりたくない……と。また子供も多いし、仕送りもあるし(?)と言われていた(だが同居の息子さんが失業中なので心配)。隣室の夫婦の素行の悪さだけは語るまいと心に決めていたが……。「布団を貸し、食べ物を上げても礼はなく、昨年10月に死亡した夫の方は、昼夜問わず窓を叩いてせびった」と……問わず語りに話すことで、少し落ち着いた様子だった。(担当者のコメント：一見元気そうに見えるが、諦めているような感じを受けた。また足・腰は丈夫と言うが、今後の体調が心配される。)(82歳、2人暮らし、担当：田中(康)、青山、杉谷)

・独り暮らしだが、皆さん(仮設の方達が)良くして下さるので、有り難いと思う。恒久住宅については、子供に任せているからどうなるか、今は分からない。被災で色々気になるが、致し方ないと思う。今も手編み仕事は毎日やっている。(担当者のコメント：素晴らしい作品がたくさんあった。)(92歳女性、一人暮らし、担当：岩崎(佐)、藤井、白岩)

・長田にいるときから須磨の病院に通っていた。ここからは西神中央までバス(20分)に乗り、そして地下鉄(20分)に乗って板宿まで行く。そこから足が悪いため、往復タクシーを使うが、かなりの金額がかかる。助けて欲しい。また、少しの貯えもあちこちの病院に通うので、今では半分以下になってしまい心細い。これから先の事が心配です。何卒よろしくお願ひします。県営住宅に当選したが、いつ入居出来るのか通知がありません。(71歳、2人暮らし、本人自筆)

・半身不随、腰悪し。視力も悪く、物書きも出来ない(ボーツとしか見えない)。しかし、医者には行かず(行けないのか?)。かつて息子と2人で暮らしていたが、息子は仕事の関係で出て行った。時々垂水にいる娘が来て、買い物など手伝ってくれる。隣近所の方に手伝ってもらうこともあり、「皆に感謝しております」。近所が空き家だらけになってしまい寂しい。(79歳女性、一人暮らし、担当：赤西、岡部、粟津)

・現在職場に寝泊まりすることが多く、仮設にはほとんど帰ってこない(通勤に不便なため)。3月には北区の公営住宅に移る予定だが、また通勤に困るとの事。朝早く出勤し、帰りが遅いので近所付き合いは全くなし。(50歳、2人暮らし、担当：大村、西川)

・仮設の世話役をしているが、3月頃公営住宅に移るのでその後の仮設が気になる。健康管理に毎日ニンニクを食べ、趣味のマウンテンバイクに2時間以上乗っている。震災時、下着を揃えて寝るように、子供の時から躰されていたので慌てなかった。防災とは、常時準備するより(しておく事は大事だが)平日の行いが大切である。(67歳、2人暮らし、担当：岩崎(佐)、藤井、白岩)

・背骨が潰れている。震災前、整体師(?)に「治してやる」と言われ治療を受けたが、逆に内出血を起こしてしまった。その影響か、手が震える。だが足は丈夫。昔スケートや卓球をし

ておりスポーツ万能だった。今でも階段を上がる時は手すり伝いだが、息子よりも速いと自慢されていた。奥さんは大きなケガをされながら、元気で良く話をする人だった。「若い人からも勉強することがある」と積極的な姿勢があり、「主人の悪口を言うのがストレス解消になる」と言われていたが、50年間一度もケンカしたことがないとのお話。家にネズミが走り回っていても「目がかわいいねん。餌をやっている」と寛容。炊事・洗濯は息子さん達がしてくれるとの事。「子供は皆優しい、いい子や」と幸せそうだった。(75歳、4人暮らし、担当：北岸、矢萩)

・かつて住んでいた家が、区画整理地区になっている。隣の家を貸していたが(酒屋として)、その人が震災後山口県に行ったきり帰って来ず、解体できないでいる。今回市営住宅に当選したが「解体証明書」がないという事で入居する資格を失った。夫は仮設入居後、神経を冒され酒の量が増えた。前歯が一度に数本抜けた時もあった。(担当者のコメント:「とにかく上がって話を聞いてくれるだけで有り難い」と言って、お二人とも涙を流しておられた。)(72歳、2人暮らし、担当：赤西、岡部、粟津)

・公営住宅はまだ当たっていない。「だんだん疲れてきた。自殺しようと思ったことがある。しかし、息子や孫がいるので……」と。ただ、息子(中学生)さんの話になると笑顔がこぼれた。家族が心の支えになっているようだ。息子さんは鷹取中学校まで通っている(かなり時間がかかるが)、朝は自分で弁当を詰めて学校に行っている。何かと息子が自分でしてくれるので助かる。(50歳、3人暮らし、担当：阪本、赤松、渡辺)

・悩みや不安はつきないが、何よりも困っていることは、ペットのこと。震災前から10年間も一緒に過ごしてきた犬だけに、公営住宅に連れていけないのが本当に辛い。近所の人はこの辺に置いていたら?と言うが、それもしたくない。中型犬だが、何とかならないだろうか?(担当者のコメント:ペットの問題はかなり深刻だと思う。震災を乗り越え、避難所生活そして仮設での生活を共にしてきた犬や猫は、彼らにとって家族と同じ、いやそれ以上の存在だ。いつも心を支え続けてくれたのに。保健所に連れて行っても殺されるだけだし、里親制度もパンク状態だし……ということで、仮設の周りに置き去りにしていく人々も増えているようだ。桜ヶ丘公園にも捨て犬がたくさんいるらしい。私も個人的に犬を預かってくれる人を探してみますが、皆さんも何か情報があったらよろしくお願いします。)(46歳、2人暮らし、担当：大野、大内田、岡本)

・この前も救急車で運ばれた。今は散歩に行ったり、食事に気をつけたりしながら家で療養中。また近所同士互いに声を掛け合っているので不安はない。今日は私達が来るということで、わざわざ待っていて下さいました。(59歳男性、一人暮らし、担当：大野、大内田、岡本)

・公営住宅の希望を板宿にしているが、なかなか当たらずとても辛い。今も週に一度、遊びに帰っている。昔の友達も大変優しく、娘も住んでいるので、早く板宿に帰りたい。(76歳女性、一人暮らし、担当：大井、木下、浦口)

・今は何も言うことがない。県営住宅にやっと当たって嬉しい。自分は仕事があるから良いが、仕事のない人は大変だと思う。早く他の人も住宅に当たって欲しい。仮設はあくまで仮設で寒い。寒い家でじっとして居れない。お年寄りの方は大変だと思う。(40代男性、一人暮らし、担当：小波本、石岡、井手上)

2月7日

・ヘルニアと自律神経失調症。足と腰が痛むので、運動不足になり、とうとう糖尿病になってしまった。今は食事に気を遣うようにしている。病院でテープ治療をしてもらおうと1回5,000円かかるので、自分で見よう見まねでしている。(68歳男性、一人暮らし、担当：高比良、大滝)

・リウマチで足の関節が痛む。通院するときのバスの乗り降りがとても辛いので、できるだけ息子に連れていってもらおうようにしている。娘を36歳の時、夫を40歳で亡くした。その後、働いて働いて、やっと自分の家を持って5年目に……。 (60代女性、一人暮らし、担当：大滝、藤沢、坂下)

・震災の時、2時間半下敷きになっていたが、その時腰を骨折した。今も腰がひどく痛む。医者からは治らないと言われた。(74歳女性、一人暮らし、担当：仁井田、合内、古屋)

仮設住宅が来年8月で撤去されるなどと報道されたが、仮設住民を動揺させるような不正確なもので、怒っている。週末ボランティアも団体として、そのような無責任な報道に対して、交渉して欲しい。(67歳、2人暮らし、担当：仁井田、合内、古屋)

・避難所で知り合った人と定期的に同窓会をしている。今日も夕方からその集まりがあるので出掛ける予定。米国は人の自立を支援したのに、神戸は企業を支援した！。3年経ち、仮設の人とも仲良くなったのに、また公営住宅入居でバラバラになる。一からやり直しだ。同じ地区や仲間同士で移れば、寂しくないのだが……。現在の日本の仕組みがこうなっているからと思って、今はひたすら耐えている。この「耐えている」という状況を分かかって欲しい。(73歳男性、一人暮らし、担当：熊倉、荒木、青木)

・腰部脊柱病で思うように動けない。週2回、ヘルパーさんに洗濯・買い物・調理などいろいろとお世話になっていて、大助かりです。夫は現在入院中ですが、寝たきりの状態です。こんな調子なのでできれば、娘がいる兵庫区に移りたいと思っているのですが、落選続き。また近所の人達は、みんな当選したとのことで、寂しさと不安を感じます。(80歳女性、一人暮らし、担当：喜多山、佐藤、福田、岩崎(亮))

・宗教内において、それなりの役割を果たしておられるようで、そのビデオを1時間近く見せていただき、感想を求められた。その宗教の是非はともかく、ご本人にとっては心の支えとして非常に良いのではと思われる。(60歳女性、一人暮らし、担当：藤井、杉本、川口)

・名谷に当選した。優先順位は下の方だったので、まさか当たるとは思わなかった。県勤労福祉協会(被災地仕事開発事業)の仕事で、JR神戸駅前でチラシ配布をしている(50~60歳が多い)。行政が仕事のない人に、幅広く呼び掛けているようだ。住宅に当たったが、知り合いで当たらない人がいる。素直に喜べない。何かフワフワした感じというか……。却って落ち込むこともある。(57歳女性、一人暮らし、担当：遠藤、谷川、矢萩)

・震災後、勤め先で人員整理にあい職を失った。現在も無職で、わずかな年金で生活している。住宅はようやく西神南に当選し、10月入居予定。今後の生活を考えて、近くで適当な仕事を見つけないかと思っている。その時は手助けして欲しい。(61歳男性、一人暮らし、担当：西畑、藤村、町田)

・糖尿病と、頸骨から骨が突き出ている。靴製造の工場で働いている。会社も被災し、仮設工場稼働していたが、最近仕事が少なくなり、休みや時間短縮が多い。須磨では友達がたくさんいたが、この仮設では友人がいない。地震前に主人とは離婚した。長時間、一緒にいると皿

・コップなどが飛んでくる。十数年も続いていた。何も持たず、娘と命からがら逃げた。しかし、今でも2週間に一度は主人から電話がかかってくる。大手企業（造船）で塗装の仕事をしていたが、不況で一番に首切りを受け、現在無職だ。靴の受注が減って、午前中に仕事が終わる時もある。一人でいるとこの先の事が不安。（60代女性、一人暮らし、担当：中、小田、赤松）

・市営・県営の復興住宅再募集が先日締め切られましたが、一人暮らしで50歳以下の人は、今回は最後のチャンスになりました。慎重に検討して申し込みましたが、もし落選した場合は、全く先が読めなくなってしまう。私と同じ立場の人もかなりの数おられると思います。仮設住宅に住んでいながら、公営住宅に応募する資格がなくなった場合の、その後を是非！研究してみてください。お願いします。（44歳男性、一人暮らし、本人自筆）

・震災で腰を悪くした。また、脳血栓の心配もある。労働組合（震災後作った）の役員と仕事の兼務で睡眠時間が少なく、肝臓も悪くなってきた。なおかつ、不眠症にもなっている。公的援助の運動（東京での陳情）にも参加している。仮設住民が空き家入居で当選した場合、家賃補助（5年間）があるため、元から住んでいる人と格差が生じ、嫌がらせや差別が生じてきている。（56歳男性、一人暮らし、担当：西畑、町田、藤村）

・回りの人はどんどん仮設から出ていき、単身の私はいつ出ていけるのか不安でたまりません。仕事も変則勤務で、月に8回くらいは帰宅時間が午前0時半を過ぎます。それでも通勤に少しでも便利なところに住めたらいいという望みを持って頑張ってきましたが、住宅に外れてばかりです。遅い勤務の仕事はやはりきつく、3月10日付で退職することにしました。年もいつてるし、今就職難という事は承知の上での決断です。就職活動するにも、住居が決まらない限りメドが立ちません。今望む事は、早く住居が決まる事です。この仮設も市の土地でないため、いつまで居られるのか不安ですし、仮設から仮設への移動を言われなかと内心やきもきしています。（47歳女性、一人暮らし、本人自筆）

・住宅は当選した。今春移る予定。姉妹（18歳、？歳）で留守番中。将来は看護婦になりたい。ベトナムには地震がないので、戦争かと思った。震災後、看護婦になり人を助けてゆきたいと思った。（47歳、4人暮らし、担当：亘、堀内、セシル、遠藤）

・長田区で警備員をしている。通勤のため、朝5時台に家を出るが、バスが1本もないため西神南駅まで40分かかって歩く。公営住宅の申込は落ちた。今回の希望は第1第2共に「西神南」にしていたのに、何でやろー。腰を痛めており、突然体が動かなくなる事もある。避難所で重い荷物を担いで、走り回っていて悪化したようだ。「神戸市は保険料、高すぎるぞ!」。年金だけでは生活できないので働かなければならないが、これから先不安だ。（担当者のコメント：一人で住んでいるので、ストレスがたまらないかと心配です。）（60代男性、一人暮らし、担当：赤西、小林（き）、竹田）

2月14日

・ボランティアの必要がないくらい自立しており（元自治会役員）、「心のケア」というより先輩の方にいろいろお話頂いたという感じであった。ニコニコ笑っておられたが、時々ふっと真顔に戻っていたのが気になった。（57歳、2人暮らし、担当：藤村、竹田、日吉）

・妻は昨年8月から転ぶことが多くなり、最初の病院で脳梗塞と言われ、次の病院では原因不明と……。次々と7ヶ所の病院をたらい回しにされ、1月19日にようやく…「筋萎縮症」と

判明した。今、重度障害者2級を申請中。車椅子の給付も申し込んでいる。[病院や役所への届出書類の束を出してきて、「これが役所のやり方や」と言われた。]今のところ不自由なのは足だけだが、治療法がなく進行性の病気なので、手の施しようがない。リハビリは筋肉に負担がかかるため出来ないし、肉が付くといけないので食事も1日1食に制限されている。須磨で喫茶店をしていたが(震災後も何とか続けていた)、妻が筋萎縮症と分かったため店を廃業した。2ヶ月ほど休養してから、アルバイト(百貨店の配送係)に行こうと思っている。妻を一人にしておけないので、車の隣に乗せて一緒に仕事に行くつもりだ。店の借金(7年返済が残っている)はあるし、車椅子を積める車も買わなくては…住宅も身障者が住めるところを探さなければ……。従兄弟から「いつまで仮設におるの?甘えているのと違う?」と言われた。好きでこんなところおると違う。仮設におるのは、みんなそれぞれ事情があるんや。私が国鉄に勤めていた頃(ほとんど家に帰れなかった)、妻は母や妹達からいじめを受けていたが、私にも話さず一人でじっと耐えていた。それを知った時、私は妹達を詰問し(母はすでに死亡)、「縁を切る」と宣言した。[その時奥さんはこらえきれず泣きだし、私達もついもらい泣きしてしまった]。妻が病気になってから、どこで聞いてくるのかいろいろな宗教団体が押し掛けてくる。そんなんで治るんやったら苦労せん。ボランティアが来てくれて話を聞いてくれる方が余程いい。(担当者のコメント:奥さんがどんな状態になっても、最後まで付き合うというご主人の強い決意を感じた。)(55歳、2人暮らし、担当:浦、山本(美)、矢萩)

・耳がよく聞こえない。周りの人ともほとんどお付き合いをしていない。息子が住んでいる近くを応募しても当たらないが、4月にまた応募するつもり。今は外に出るよりも、部屋にいる方がいい。テレビはいつも見ている。(77歳女性、一人暮らし、担当:相川、仁井田、合内)

・肝臓が悪い。仮設そのものにはとちとちあえず満足している。人間関係の煩わしきの方に負担を感じている。(？歳、一人暮らし?、担当:藤村、竹田、日吉)

・娘と2人暮らし。14歳の時父親が亡くなり、中学校を中退してから40年間印刷の仕事をしていたが、震災で解雇された。借金があるので、年金生活ではこの先やっていけるか不安。印刷の仕事が好きだし、まだ出来ると思うが意欲がない。(担当者のコメント:遠く(東京)から来た若いボランティアと話が出来、とても喜んでおられた。)(60代、2人暮らし、担当:大木、須藤、藤沢)

・2ヶ月前の訪問シート(フリー訪問)を見ると、住宅が当たらず仮設内で今までのように話が出来なくなったと(当たった方達はその話になるので)、また自分のことを受け止めてくれる人と話をしたいとのことだったが、体のこと(あちこち悪く)…医者の注意事項などいろいろなお話を2時間半に渡ってされていた。今一番心配なのは、第5次の発表が3月にあるが、それに当たるか当たらないかという事だと言われていた。(63歳女性、一人暮らし、担当:伊勢、辻本、小野)

・昨年9月より医療費が高くなり、病院通いを控えています。また妻が入院しており、10日毎に16,000~18,000円払っています(老人医療だが1日1,000円+食事代580円は自己負担)。(83歳、2人暮らし、本人自筆)

・避難所でボランティアの暖かさに初めて触れ、若者がパンを分けてくれた事に感激したと…。また奥さんが入院しているため一人で寂しい何回も繰り返し言われていた。ケアラインについて聞かれたので説明し、電話をするように勧めた。ワープロの講習を受けるつもりで機器を買ったが、事故で受けられず、使えないままワープロを置いているとの事。(担当者のコメ

ント：次回訪問時、ワープロと一緒に勉強することになりました。）（83歳、2人暮らし、担当：荒池、長船、中川）

・高血圧・狭心症。冬は寒く、電気ストーブと電気ごたつでしのいでます。ベルBOXは持っているが、いざという時には近所の方に悪いので使いにくい。10月には井吹台に移転できる。

（担当者のコメント：「また引っ越したら来て下さい」と言われた。「上手な塩の減らし方」・「市民版引っ越しプロジェクト」などの資料を渡した。（64歳女性、一人暮らし、担当：南口、肥田、各務、阿部）

・娘の収入で生活している。このところ震災の後遺症が出てきて、体のあちこちがうずく。雨の日は特に。お金がかかるので、病院に行くのを我慢している。住宅を申し込んでいるが、未だに当たらず、ますます精神的に追い込まれて参っている。話を聞いてもらっても、ちっとも楽にならない。生きがいと言えば娘二人の事。（50代、3人暮らし、担当：丸笹、大村、藤丸）

・1軒置いた隣にシンナー中毒（30代男・女）がおり、仮設内を歩き回っているのが怖い。何度か警察に電話したが、「現行犯」でないと逮捕できないと言われ、シンナーを吸っているところを取り押さえたが、その時後頭部を殴られた（すごい衝撃だった）。結局傷害罪で罰金刑にされたが、その後女性から腹いせに空き缶を壁にぶつけられたり、「長田に帰れ」と嫌がらせを言われている。警察に訴えても、いたずら電話扱いされどうにもならない。妹はその隣に住んでいるので、かなり精神的に参っている。その男性には親兄弟がいるが、勘当状態で責任追及できない[県警なんでも相談・県民相談7830・市民相談室の電話番号を紹介した]。靴の縫製の仕事をしているが、末端の下請けなのでいつ仕事があるか分からない。復興住宅を申し込もうと思ったが、収入がほとんどないので諦めた。生活保護を受給したいと思い、区役所に行ったが横柄な態度なので申請書類だけ受け取り帰ってきた。高血圧・眠れないので睡眠薬を飲んでいる。（担当者のコメント：被災者連絡会に連絡した。）（40代女性、一人暮らし、担当：浦、山本（美）、矢萩）

・神戸市は公営住宅に（新たに）住む人に言うことと、周辺住民に言うことで食い違いがある（駐車場を作る件）。こんないい加減な対応をして欲しくない。また生活保護でも、若くて元気な人に7~8万のお金を毎月出している。震災直後は仕事がなかったから問題ないが、今もそんな事を続けている事自体おかしい。仕事はいくらでもあるのに……。病気などで本当に生活保護が必要な人に適用しないで、こんな事では……。神戸市はお金がないのを理由に単身者の住宅当選率を下げている（家賃収入が期待できないから）。これでは矛盾が多すぎる。（61歳男性、一人暮らし、担当：猪上、辻木、立花）

・住宅は当選した。毎週1回、子供や孫が遊びに来てくれる。ゲートボールが好きで、1日おきにすぐ横の公園で練習し、週末には競技会を楽しんでいる。夫は37年前に亡くなり、子供3人を1人で育てた。当時は病気がちだったが、いつの間にか健康な体になった。（担当者のコメント：大変明るい方で自分の生き方に自信を持っておられる。また人との交流も幅広く、孤独でいることが少ないようなので安心し、こちらもくつろいでお話を聞かせて頂いた。状況に負けず、立派に生活してきたという素敵な方だった。写真を震災で失ったというので、唯一残ったご主人の遺影とみんな記念写真を撮った。）（75歳女性、一人暮らし、担当：毛綱、生駒、盛本）

・椎間板ヘルニアで2ヶ月ほど入院し、昨日退院したばかり。今はコルセットを着けている。

左の足首も痺れ動かしにくいので、足首を支える器具も着けている。尿意が頻繁にあり、トイレに行く回数が多いので困る。このまま進行すると尿が出なくなるので、そうなったら手術は絶対必要になる。震災で勤めていた酒屋も社宅も潰れ、失業した。その後は瓦礫運搬（ダンプ）のアルバイト等をしていたが、ヘルニアが悪くなり入院した。月に8万円の障害年金（ヘルニア）をもらっているが、入院中は受給額3万円になるのでほとんど余裕がない[いずれ入院するとの事だが、経済的に厳しい状況の様子。余裕を持って入院できればと思い「被災地仕事開発事業」のことを説明し、ぜひ連絡を取るよう勧めた]。（担当者のコメント：穏やかな方で、口数は少ないが常に笑みを絶やさず、丁寧に説明して下さった。最後に「今日は楽しかったわ」と言われたのが嬉しかった。）（59歳男性、一人暮らし、担当：毛綱、生駒、盛本）

・今仮設に残っているのは20人程。やはり寂しい。いつもなでしこルームで夜集まって（3～4人）、トランプをしたり話をしたりしている。なでしこルームからはよく夕日が見える。オレンジ色、紅色など……。毎日色の変化などを見ている。クレヨンで塗ったような、真っ赤な太陽に見えるときは「気持ち悪い」。その時は必ずどこかで地震が起きているからだ。震災後、急速に体調を崩し、病院通いを続けざるを得ない。交通費と病院代がかさみ、経済上の不安が絶えない。（68歳、2人暮らし、担当：丸山、井手上、亀井）

・兵庫区の住宅に移りたいが、もう無理でしょう。4月の募集が事実上最後と思う。それ以降はあちこち遠い所に”島流し”になるのでしょうか。今、被災者に大切なのは一人一人のケアです。「心の復興」には10年くらいかかるのではないのでしょうか！。一人暮らしを思っていることは、人間には人間が必要。一人でおったらアカン！。民生や市の職員が、最近になって時々来る。でもこうやって一人一人をきめ細かく訪問するボランティアは嬉しい。（50代女性、一人暮らし、担当：赤西、三浦、山本（由））

2月21日

・夫は仮設入居後、腰椎を複雑骨折し、あらゆる事に投げやりになっている。私はと言えば震災以来、色々な事が気になり、心配性になった。また自殺や孤独死がある度に、震災当時の事が思い出され、眠れない事がよくある。公営住宅に仮当選しても、本当に入居できるか不安な毎日だ（来週書類審査）。（71歳、2人暮らし、担当：井手上、阿部（愛）、前野）

友達がたくさんいる中央区に戻りたい。行政は外から見えるところだけ修復して、住宅対策が後手に回っている。不満だ。（72歳女性、一人暮らし、担当：井手上、阿部（愛）、前野）

・姉…障害1級。妹…甲状腺先天性疾患。1. 公営住宅に仮当選したが、保証人がいない←「当選した市営・県営・公団それぞれの住宅局・供給公社に相談すれば対応してくれる」と市から返答があり、その旨を伝える。2. 福祉（生活保護）を受けている場合は、市が引っ越しを行ってくれるので入居日が決まり次第、市へ申し込むよう伝える。また引っ越しが決まったら、お手伝いします（個人的に転居先の掃除など）と伝えていたが、2月25日身内の方から自分達で何とかしますという辞退の電話があった。（47歳女性、2人暮らし、担当：矢野、赤松、小波本、仁井田）

・年齢的に足・腰の弱さが目立って参りました（本人自筆）。

戦後の焼け野原で食べ物が全くない時代を経験しているので、こんな震災何ともない。ただ5年後に（公営住宅が）通常家賃に戻るとい話だが……。生活能力があれば、家賃を払えるが……。この先不安だ……。5年経過後は収入、その他状況によって家賃減免制度が適用され

ます)。戦後の家族制度の変化が不幸を招いている気がする。人を殺したり、傷つけたりしているのを見ると情けない。こんな若者に日本を託してゆけるのか心配だ。でもその一方でボランティアに来る若者を見て、まだ日本も捨てたもんじゃないなどと感激する。(担当者のコメント：現在の状況・環境に不平を言うのではなく、前向きにとらえているのが印象的でした。またボランティアとの会話を楽しみにしてくれているようです。)(79歳、2人暮らし、担当：竹田、川畑、津田)

・足が悪い(階段の上下降りが難しい)ので、引っ越しには難儀する。県庁へ相談に行ったところ、引っ越し時期になったら役所に準備などの依頼をすれば、対応すると言ってくれた。物を買うのにここは不便。来るときは姥捨て山に捨てられた気分だった。テレビで”公営住宅には独居老人・障害者を優先に入居させる”と言ってるがウソ。隣の老夫婦は私より後に仮設に来たのに、先に出ていった。元気なうちに私も引っ越したい。(76歳女性、一人暮らし、担当：白岩、西野、大戸(佳))

・1月16日夜、夫婦喧嘩して、妻はコタツで寝ていた。避難所でもまた夫婦喧嘩。妻は廊下で暮らして気管支炎になり入院。「ここに来た時はホンマにやる気あったけど、3年も経つとどうでもええわと思ってしまう。あの時死んだ方が良かったかも……」とつぶやく妻。「アホか。死んだらなんもならん。喧嘩もできひん。ここまで来たら“命根性”や」と叫ぶ夫。ご主人は昭和44年から半身不随だが「こんなん、生活するのに何の不自由にもならへん」と言われた。また年金や福祉、痴呆など色々な知識が豊富な方。お話ししていて「福祉」などの知識は「人の為」という美化された物ではなく、結局「自分の為に」戻って来るんだという事を実感した。「公営住宅の方が孤独死は増えると思う。訪問増やさな」と言われた。ボランティアはどこまで出来るのか？ 行政とどのようにつながっていくのか……。課題は多い。(？歳、2人暮らし、担当：岡本、丸笹、阿部(龍))

・ポツ、ポツと暮らしている。公営住宅は外れた。子供は京都と大阪にいるけど、もう今さらそんな遠くに行きたくない。ヘルパーさんが週に一度来てくれるし、回りの人とそんなに話をする必要もない。(60代男性、一人暮らし、担当：加藤、前倉、立花)

・公営住宅は仮当選したが、保証人のなり手がいない。兄弟はいるが、みんな60歳を越えていて、年金受給者や収入が安定していないので、保証人は無理。緊急連絡先にはなるが……。困る事は何んぼでもある。読み書きから…言うてもフォローしてもらえない。自分は今どこに住んでもええんや。どうせ元の場所には戻れんのやから。(67歳男性、一人暮らし、担当：白岩、西野、大戸(佳))

・近隣の71歳の男性(痴呆症)を世話する毎日。ここは巡回者も少なく、西神第7・ポーアイなど大規模な仮設に比べ、見放されているようだ。何を言うても政府が動かんことには、どうにもならん！。政治家には本当に腹が立つ！。村山・橋本両首相は仮設を訪れても個々の話を聞かず、ただゾロゾロとふんぞり返って見学しただけではないか。頭に来た！。私は字があまり書けないから、言いたい事がたくさんあっても伝える手段が制限されてしまい残念だ。「代筆してくれる人」が必要。(担当者のコメント：話が尽きなかった為、再訪問することにしました。)(69歳女性、一人暮らし、担当：赤西、南野、大戸(慧))

・「喋りにくいから、何も言うことはない！」と不機嫌な様子だったが、10分後道端で我々が住民の方と話していると、その輪の中に入ってこられ「のどの手術の後、喋りにくくなった。笑う時もみんなと同じように笑えない。高血圧で耳も少し遠く、視力も弱い」などと話して下

さった。(50代男性、一人暮らし、担当：赤西、南野、大戸(慧))

・地下鉄沿線の公営住宅を申し込んでいるが、一向に当たらない。ここに来てから、多くの人の死に目を見てきた。先日自殺された方は大人しい人だった。「遊びに来て」と声をかけても来なかったし、自分から気持ちを吐き出すことが出来なかったようだ。自殺した時も部屋はきちんと片付いており、何日も考えて…考え抜いて覚悟の上でした事だと思う。遺書も読んだが、涙が出て止まらなかった。仮設に来てから色々あったので、夜眠れない。(62歳、2人暮らし、担当：石橋、小畑、矢萩)

・妻は長い間入院していたが、下半身麻痺で動けないので、今は老人ホームにいる。週に1回は外に出るようにしている。閉じこもっていたら歩けなくなるし、また考え込んで「死にたい」という不安な気持ちになるから。自分では元気だと思っても足から脆くなり、階段は手すりがないと昇れない。年金生活だが、茶飲み友達と会うのに交際費が結構かかる。(担当者のコメント：口では弱っていると言うが、よく話す元気な方で部屋も片付いていて、姿見の鏡やスーツが吊してあり、お洒落な方だった。)(76歳男性、一人暮らし、担当：瀬戸、石橋、矢萩)

・市営住宅の空き家に当選。空き家だとすぐ当たるが、みんな新築がいいらしい。広いから家賃が高い。またシャワー等も自分で付けなくてはならないし、市から19万補助が出ても足りない。でも自分の力でどうにかしなければ……。ぜいたくは言えない。早く仮設を出たいから家も見ずに応募した。(？歳女性、一人暮らし、担当：白岩、西野、大戸(佳))

・去年11月まで副会長をしていた。今は精神的に参っている。6月に引っ越したら療養をし、また仕事を再開したい(特殊な機械の加工や製作)と思っている。どの議員も、仮設にほとんど来ず一体今まで税金を使って、何をやってきたのかと怒りを覚える。今、町の復興に金をかけ進めているが、人の復興に金を使うのが先だろう。日本は経済的に豊かになったが、それだけに溺れた為、今は何もかもが狂っている。政治家や官僚があれだけ悪いことをしていれば、今の子供達が、真面目に働くことをアホらしく思ってしまうても、仕方ないと思う。(63歳、2人暮らし、担当：岡部、盛本、川口(祐))

・年を取っているが、まだ事務職として働いているので、病気になる暇がない。今も風邪を引いているが、会社を休む訳には行かず、頑張っています。生活保護を受けながら、少しの事で救急車や警察を呼んだりする人がいるが、もう少し考えて欲しいと思う。私達は静かに生活をしたい。夜も少し遅くなるとお風呂にも入らないよう気を遣っています。ましてや税金も払っています。年末まで何事もなく……と祈るばかりです。寒い冬、暑い夏をまた繰り返さないといけません。(66歳、2人暮らし、本人自筆)

・健康状態不安。夜間眠る事が出来ない(睡眠薬使用)。心がイライラして落ち着かない。何をやるにも嫌気がさして、何も出来ない。(本人自筆)(担当者のコメント：囲碁が好き(かなり上級)なので、どなたかお相手が出来の方がいればと……。)(67歳男性、一人暮らし、担当：赤西、大戸(慧)、南野)

・狭心症の為1年間入院していたが、去年8月末に無理矢理退院させられた。また膠原病で失明の不安を抱えている。前は医療費がかからなかったのに、今年1月入院したら、1日700~1,000円の自己負担に2週間分の薬で1,550円取られ、何が何だか分からない。夫が42歳で亡くなり、子供を育てる為に63歳まで頑張っていたが、こんな風になってしまった。何の下敷きにもならなかったのに、いつべんにガタガタになってしまった。口で喋

れても、文章にまとめるのが苦手になってきた。住宅は当選したが、入居審査に不安を覚える。また入居手続きの複雑さに困っている。ただ通院している病院の近くなので良かった。(79歳女性、一人暮らし、担当：長船、広岡、梅原)

・98年1月18日に目が見えなくなった。2年前は外を歩けたけど……。また良くなる事を期待して待っとるんやけどなー。週2回ヘルパーさんが来てくれる。何もでけんから助けて貰っているが、何分にも色んな事に困っている……。近所のボランティアに土曜日だけでも毎週来て貰いたいのだが……。こっちが辛抱して毎日同じ物を食ってたら何とかかなるけど、出来たらもう1日来てくれたらなーと思う。2年半前は、近所のボランティアが来てくれた。当時、何とかやれていたのだから来なくなった。散髪にも行きたいが、誰かに連れて行って貰わんとアカン。こんな風に見えたり、見えなかったりが10年続いている。糖尿から来ている失明だから、もう「ダメだよ」……。食事とかは手探りで何とか自分で作っている。足も悪いし……。地震で死んでいれば良かった。ま、通りがかりに顔出し出来るときは、いるかどうか見に来て……。この仮設に来てから、ほとんど人と話した事はない。近所付き合いもない。それでは体も悪くなるわなあ……。つくづくここへ来て分かった。「人と接さなあかん」。人と交わる事がどれだけええか良く分かった。中央区には友達がたくさんいたが、今は交流がない。(？歳男性、一人暮らし、担当：長船、広岡、梅原)

・住宅落選。とにかく住宅に当たりたい。それだけやねん。元気なうちに、迷惑かけないうちに、それだけやねん。今回も5軒くらい出て行くと聞く。仮設では震災に遭うたもん同士分かちあえた。そんな人達がどんどんいなくなるのは心細い。とにかく今は住宅の事だけ。神様、仏様と祈っている。(70歳女性、一人暮らし、担当：松宮、佐沢、亀井)

・西区の公営住宅に当たったが、工事が遅れて入居が延びている。12匹の猫を小屋に入れて飼っている。これでも減った方。全て神戸で拾ったり、譲られたもの。今度移る住宅では「迷惑をかけない程度なら」という事で飼うことを許して貰った(ケージ飼い、数も半分という条件)。5歳の娘は震災の影響か、ものを怖がったり、泣き出したりする。ドラマで人の死ぬ場面を見ると「お母さん、死なない？」と泣きついてくる。実際に人が死ぬのを何度も見ているから……。以前は自分のおもちゃをいつも持つておかないと気が済まないという感じだった。震災時、自転車やおもちゃを盗まれ、何一つなかった……。回りが出て行く度に「どうしてうちは当たらないの？」と泣き始める。暗いところを怖がったり、なかなか母親から離れなかったり……。でも子供は責められないからね。(26歳、3人暮らし、担当：松宮、佐沢、亀井)

・89歳の母は現在入院中。住宅は落選。母は3月に退院だが、寝たきり状態なので働きたくても働けない。子供に無理を言えない(娘夫婦は事故に遭い、リハビリ通い。孫もいるので)。とにかく年金3万円ではやっていけないので、是非生活保護を受けたい。以前は生活保護なんて恥ずかしいと思っていたが、そんな事言っておれない。5年前主人がガンで亡くなったが、月に30~40万円も薬代がかかる事もあり、今もその借金を返している。その借金がなかったら何とかなるんだけど……。生活保護の件、なるべく早く連絡をお待ちしています。(64歳女性、一人暮らし、担当：松宮、佐沢、亀井)

・震災後、ある日突然坐骨神経痛になり、歩いて外に出られなくなった。自転車に辛うじて乗れた為、仕事場へ行き続けているが、最近ようやく痛みも緩和し、普通並みの生活が送れるようになった。でもこの件を機に自分の「古い」を自覚するようになり、先がとても不安になっ

てきた。収入が途切れると公営住宅の家賃が払っていけないのが心配。今は電話を付けない程切り詰めている（65歳になってからのケアラインの説明をした）。月10万程度の収入でも大丈夫な引っ越しサービスを紹介して欲しい。←市民版引っ越しは経済状態によって安くしてくれますので、電話で依頼してみてください。（64歳女性、一人暮らし、担当：山吉、森下、寺野）

・シンナー中毒で悩まされている。引っ越しの最中（入居時）、いきなり入ってきてズボンを下げたり、ガラス越しに覗かれたり、車の上に乗っかられ車体をへこまされた。修理費を払って貰うという誓約書を書いても払ってくれず……数え上げればキリがない程だ……。市に仮設を移転させて欲しいと何度もお願いしたが、「あんただけが良ければそれでいいのか」と言われ取り合ってくれない。却って警察の方が「市は移転させてくれたらいいのに」と言ってくれる。自治会の世話役にも話したが、何もしてくれない。近所の人達も「大げさに言い過ぎる」と分かってくれない。部屋の中はシンナー臭がひどい。自宅を再建したが、長姉が4件隣に居り、この一件で一人にしておけないので、仮設から出る訳にもいかず困っている。姉を援助したいが、店の資金繰りも苦しく出来ずにいる。（担当者のコメント：ボランティアに話が出来、少しは気が晴れたと言っておられた。3年間の我慢が相当ストレスになっているようだ。）（40代、3人暮らし、担当：矢萩）

・2月7日…仮設から仲の良かった人が出てしまい、人間関係が悪くなる中、近所の住人が犬を目の敵にするようになった。その対応に「神経をすり減らしてしまい、引っ越す公営住宅でも同じ思いをするのは耐えられない」と言われていた。安楽死か山に捨てるしかないと決意を話された。2月14日…奈良在住の友人が犬を見に来てくれた。「里親探しはしない。お宅が貰ってくれなければ、獣医さんで安楽死させる」と奥様は言われた。その横で風邪で熱があるのに雨の中、犬の引き綱を持って無言で立っているご主人。2月21日…その後奈良の友人は数々の難問を解決して、3月初めには犬を引き取りに来てくれることになった。（?歳、4人暮らし、担当：堀内）

2月28日

・腎不全。風邪を引くと血圧が下がる。道で倒れたことがある（2回）ので、夫に近くにいるもらわないと怖い。その夫も昨年暮れから肺炎・喘息を患い、今では2人して病院通いだ。（77歳、2人暮らし、担当：矢萩、山本（由）、竹田）

・夫は昨日退院したばかり（肝臓に腫瘍）。公営住宅は空き家を申し込んでいるがわからん。知人が当たっている（長田）のに、私達はなぜ当たらんやろ。市も「あんた達なら入れる」と言ってくれたのに……。選び方がおかしいんと違う？。70歳越したら仕事がないから、年金だけで生活している。地震さえなければ何とかなっただけ……。今、足（金）が出ていくばっかで……。ギリギリの生活や。他の所に金使わんと被災者に使うてくれたらええのに。被災人口が少なかったら金出したが「多すぎた」なんて…アホな！（73歳女性、2人暮らし、担当：早田、田中、長船）

・一人娘・孫、みんな亡くしてしもうた。かわいらしい子ばかりだったのに。あの子等4人も……。隣の家が寄りかかってきて壊れた。私は何ともないのに……。避難所に居たら、おかしくなってたかもしれない。でも親類がいてくれた。御馳走してくれたり、スポーツクラブへ連れ出してくれたり……。娘・孫を失ったショックから立ち直らせてくれた。「かわいい

盛りやった」……。でも「今やっとしっかりしてきた」と笑い飛ばせるようになった。再建の段取りは立った。一人やから小さい家でいい。近くに親類もいるし……。天災はどこにも言って行ける所がない。しゃあないな。でも、国にはもう少し何とかしてもらいたい。外国ばかりにいい顔して……。『3分前は過去の事。こだわらず前進しなさい』と思い、力強く生きている。去年の12月頃からようやく元気になってきた。100歳くらいまで生きさせてもらわんと……。でも元気になると、ポンポンお金が出て行く…ハハハ……。 (65歳女性、一人暮らし、担当：早田、田中、長船)

・病院から他種類の薬(心臓病・コレステロール・血圧・喘息など)をもらっており、2時間置きに飲んでいる。梅雨時とか湿気の多い時は、非常に頭が痛くなる。緊急用に非常ボタンをいつも携帯している。(72歳男性、一人暮らし、担当：毛綱、笠原、川口)

・悩みは仕事。今年の11月、元の場所に建つ受け皿住宅への入居が決まっているが、収入がないので不安。肝臓が悪く(地震前から)、腰・脇腹・肩の方へかけて右半身が突っ張る。平成5年9月に最初の入院。それ以来働きにも行けず、しばらく生活保護を受けていた。今でも病院に行くと入院しろと言われるが、入院費も払えない。何も無い時は、1日中家に居る。外へ出ると金を使うので……。でも一人で居ると気が滅入る。仕事を探しに職安に行くが、この年では……。今の日本は金持ちは金持ち、貧乏人はその日暮らしの生活から抜けられないシステムになっている。この年になると親類が亡くなったりするので、その旅費だけでも大変だ(生活に影響する)。18歳の時、鹿児島から造船ブームに乗って神戸に出てきた。(担当者のコメント：仕事をしたいが体が良くない。病院で治療したいがお金がない。矛盾とジレンマを抱えている姿に、聞いていても辛かった。)(63歳男性、一人暮らし、担当：更屋、岡田、井手上、寺野)

・2月の初めまで入院していた。病院も時々往診に来てくれ、食事は週1回ヘルパーさんが作ってくれる物を小分けにして食べる。「いろんな人にお世話になって、生きているようなもの……。何とか生き抜いていかないといけないね」と言われていた。とにかくお洒落で明るく、お話もハキハキされていた。でも、何も考えないようにしている。考えると頭がおかしくなると言われ、子供達の世話になりたいが、頼ってはいけない心の寂しさを感じた。(88歳女性、一人暮らし、担当：寺野、更屋、岡田、井手上)

・以前住んでいたところは、仮換地のままで進展せず困っている(公営住宅には4月下旬引っ越し予定)。最近空き家が多くなったので、警備状態が非常に悪くなっている(裏の窓もすぐ開けられやすい)。交番にお巡りさんが1人しか居らず、その人が出払ってしまうと連絡も取れない。(73歳、2人暮らし、担当：毛綱、笠原、川口)

・自治会の会計を任されたので、昨年からはワープロを始めた。何とか文字を印刷する事は出来るようになった。私の年金と妻のパート収入(月7~8万円)で、ようやく生活している。私は家族がおるからいいけど、一人暮らしの人は気の毒や。(公営住宅は落選)。(72歳、2人暮らし、担当：山本(由)、竹田、矢萩)

・昨年母を亡くす。母の病気に「仮設でなく、しっかりした住居に引っ越さなければ」という医者言葉に『市長への手紙』を書いた。《公営住宅への当選が決まっても、引っ越しまでには命が持たないが…せめて母が喜んでくれたら(医師の診断書も添付)》。市からは「否」という答えさえ……。何の音沙汰もなかった。その事で行政に頼れないという気持ちもあり、新聞に投書しようと思っていた。先日訪問チラシに『かみひこうき』が入っていたので、そちらに書

いてみようと思っている。(担当者のコメント：お母さんのことを思い出してしまったようで、涙されていた。)(20代女性、一人暮らし、担当：山本(由)、竹田、矢萩)

・息子と2人暮らし。玄関の前にゴミを置かれたり、洗濯物を取られたり、自転車の部品を取られるなど、嫌がらせを受けている。誰がこんな事をするのだろうか。(40代、2人暮らし、担当：山本(由)、竹田、矢萩)

・今日は家内の命日なので、須磨寺まで行って来た。7月には名谷の公営住宅に引っ越す予定。「転宅する為の説明や手続きなどは、引っ越す2週間前にあります。それまで連絡がなくとも当選している事には間違いないので、安心して下さい」と市から言われているとの事。(74歳男性、一人暮らし、担当：笠原、毛綱、川口)

・区画整理に引っかかり市へ土地を売って、近所の人達と共同住宅を建てる予定が、1人の住民がごねた為に1年先になった。そこで公営住宅に申し込んだところ、当たったが再建の予定があると分かったと、市は入居を辞退するように言ってきた。仕方なく辞退したら、今度は再建出来るまで仮設を出て別の人に住むよう言われた。市にたらい回しにされて腹が立つ。また、土地があってもすぐ再建出来ないのは辛い。(？歳、？人暮らし、担当：矢野、山本(美)、清重(智))

・震災以前から、身内の不幸や相続の事で心を痛めており、精神的に参っている。近所の人達もその事を分かっている、よく見回りに来てくれ声をかけてくれる。そのおかげで、何とか頑張っているとの事。「公営住宅には外れた」と元気に言われた。私なりに「あまり無理せず、家の事は希望を捨てないで下さいね」と言葉をかけることしか出来ませんでした。精一杯の言葉でした。(61歳女性、一人暮らし、担当：矢野、山本(美)、清重(智))

・西神南周辺にいつも申し込んでいるが、今回も落選。今回は高齢者優先というので、絶対当たると安心して来たのに。でも仮設の暮らしに不満はない。バスもあるので、よくあちこち1人で出歩いている。医者にかかることも減多になく、家の常備薬も届けてくれる人に申し訳ないほど使っていない。冬は暖房を使わず、今でも風呂上がりには冷房を使うほど暑がりだ。(84歳女性、一人暮らし、担当：佐沢、亀井、阿部)

・公営住宅に当たった。でも引っ越してからの事を考えると不安です。人付き合いは上手な方でないので……。(担当者のコメント：隣の方は震災以前からの知り合いで、今日も遊びに来られていたが、公営住宅は落選との事。2人の違いに私自身、どう言葉をかけていいか戸惑いました。)(65歳女性、一人暮らし、担当：山本(美)、矢野、清重(智))

・脇ノ浜(灘区)の公営住宅に当たった。この夏に引っ越す。友達の近くに行ける事が何より嬉しい。みんなが待っている。今も灘に踊りの練習に行っている。4月に発表会があるので、その着物を縫っていたところ。夫は戦死。友達が一番。そして今が一番幸せ。子であっても気兼ねがあるので、一人で友人の近くに住むのが良い。(担当者のコメント：大変色気もあり、若く見えてうらやましかった。)(85歳女性、一人暮らし、担当：南口、水島、松倉)

・ここの仮設ではポストの中の物や戸外に置いてある物が次々となくなる。石けんから洗濯機まで。水道料金の請求書もなくなり、督促状が来て困った事もある。おかげで情報も届かない。ここに尋ねて来る人は少ない。ボランティアも過去1回来たぐらいかな？。震災直後、友人の家を転々としている時、「ルンペン扱い」された。でも人を恨みたくないし、仮設に住んでいても感謝の生活をしています。職場や知人・親戚には本音や苦労話など言いにくい。しがらみのないボランティアに、今日こうやって言いたい事をみんな話せてスッキリした。(50代女

性、一人暮らし、担当：赤西、林、佐藤)

・猫を12匹飼っているが、公営住宅が当たり全部を飼えなくなった為、何匹か引き取って貰う事にした。猫の専門紙の情報コーナーを利用した。(担当者のコメント：動物の引き取り手の情報に関しては、他の人に勧められるかも。)(25歳、3人暮らし、担当：田中、久玉、盛本)

・前回…話が尽きなかった為、再訪問することにしました。

現在、同じ仮設に住む痴呆の男性(71歳)の世話をしている。医者から出された薬を飲み続けないと「発作」が起きるのだが、その薬の飲み方さえ付き添っていないと自分では出来ない。周囲に迷惑をかけるほどではないが、一人にすると心配である。その方は公営住宅(長田)に当選したが、私は当たらず、今後長田まで通って世話するのは大変。交通費もかかる上、体が持たない(足が悪い)。どこか長田近辺の空き家(公営)に入れられないのでしょうか?。それか(長田の)仮設間移転は出来ないのでしょうか?。(69歳女性、一人暮らし、担当：赤西)

・前回…妻を早く亡くし、一人暮らし。話し相手が欲しいと言われていた。お酒の臭いがした。

45歳から一人暮らし。電話があってもかかってこない。寂しさから犬を飼った。娘2人とも嫁いだが、何の連絡もなしで行き来がない。社会福祉協議会からは月に一度安否確認があるが「電話での対応では物足りん」からすぐ切る。・やはり足を運んでくれるボランティアさんが待ち遠しい。公営住宅は動物可でないと……。だが当たらない。生活保護は去年10月に打ち切れ、年金でどうにか暮らしている。先行きが不安なので、葬式の費用だけはと思い、市に聞いて僅かばかりを枕元に置いている。過去に華やかな人生を送ったので、『我が人生に悔いはない』。(担当者のコメント：お体は元気そうで、虫歯なし。「何食べても当たらん」と笑って、今度来てくれる時を待っていると名前を控えられた。)(66歳男性、一人暮らし、担当：田中、吉田)

・前回…風邪を引いておられるとのことなので、早めに話を切り上げた。外との交流もないようで心配。

子供はいない(身寄りもない)。17年間飼っていた犬が死んで1年になる。一人ぼっちになってしまったと涙ぐまれる。公営住宅は鷹取を希望しているが、神戸市の職員が来てそちらの方はなかなか当たらないので、他を申し込むように言われた。元の場所には友達がいるので、出来るだけ近くに帰りたいと思いつ断ると「他の部屋を壊して行って、あなた1軒だけでここに居られるのか…」と言うので、「私も一緒に壊して下さい」と冗談を言っておいたとまた涙された。年金の足りない分、福祉(生活保護)でお世話になっている。その事で相談がしたかった。風邪を引いているので、詳しくは電話にて説明したいと言われるので、週ボラと被災者連絡会の電話番号を伝えてきた。(78歳女性、一人暮らし、担当：堀内、川端)

・他の仮設と一緒に、ここも住民が大分減ってきた。自治会の役員をする人もいなくなるので、近くの仮設の方と先日お別れ会をした。(70歳、2人暮らし、担当：堀内、川端)

3月7日

・高血圧、心臓が悪く不整脈があり、月2回通院をしています。医者からは大分良くなってきているので、心配ないと言われていたが引っ越しで環境が変わったらどうなるか、その事が心配です。一人暮らしですし、その上高齢で無職。子供もなく、何時どのような事になるか分か

りません。その為にも公的支援を頂けましたら、生きていく支えになると思います。今後共皆様のお力をお貸し頂きたいと思います。(77歳女性、一人暮らし、担当：本人自筆)

・夜、頭痛がする。医者は心配ないと言うが……。72歳まで働いていた。妹(北海道)と弟(神奈川)がそれぞれ一緒に住もうと言ってくれるが、神戸を離れたくない。(77歳女性、一人暮らし、担当：竹田、松野、谷川)

・公営住宅に当選した。しかし、身障者専用住宅(1階のみ)なので、車椅子に乗る事が条件になるのが悩みである(注：入居条件が車椅子を自力で常用しており、障害がおおむね1級～2級である事)。通常の所にするか、当たる確率を考え、規定のある所(申し込みが少ない)にするか、かなり悩んだ。私は障害2級だが、自己リハビリによる努力で大分良くなった。日課はコープへの買い物、自転車をこぎコープ内ではカートを杖代わりに利用している。これらがなかなか良いリハビリになっているのだが……。入居の際に利用する事になる電動車椅子(右手が不自由な為、普通の車椅子を使いこなせない)には抵抗がある。体を動かす事が減るので、元に戻るのでは……。しかし仮設を出たい気持ちも大きいので複雑である。(担当者のコメント：ご本人は今までのように便利な物に頼らずにいたいが、入居規定によるみんなの視線との葛藤に悩んでおられた。私達の「電気車椅子を使いたい時に使う便利な乗り物と考える」という提案に喜ばれていた。ご自分でワープロを使い、震災直後の事を文章にされていた。すごくリアルでグッとくる文章でした。また写真を見せてもらったが、汗をかき、咳をしながら話して頂く姿に感動の嵐でした。)(56歳男性、一人暮らし、担当：亀井、森下、藤澤)

・新長田で被災。埋もれていて、3日後に救出された。去年8月には心筋梗塞で死にかけた。だが治療費(130万円)の事を考えると死ぬのがアホらしく、死にたいなどと言えない。自分の命が大事になる。(担当者のコメント：前向きに考える事を教えられた。)(80歳、一人暮らし、担当：岩崎、江下、更屋)

・自力で家を再建し、今月引っ越し。だが1月まで入院していた。脊椎がずれ、痺れと痛みが激しいので手術をし、今はリハビリ中。とにかく歩くようにしている。現在妻が働き、会社も復帰を待っていてくれるので、今年一杯はリハビリに専念しようと思う。階段の昇り降りがしんどいので、杖を使っている。(？歳、3人暮らし、担当：岩崎、江下、更屋)

・昨年4月から首のリンパ腺が腫れ、神戸大病院に12月28日まで入院していた。その後娘の所で世話になっていたが、居づらくなり2月に帰ってきた。手術をしたが、入院中「ガンではないか」と疑われ、抗ガン剤を投与されたり他の病院へ診察を受けに外出させられる等…死んだ方がましだというほどの経験をした。その後遺症か？右肩が痛む。また長期入院のせいか足が弱っている。そして、今服用している薬のため骨が脆くなり、転んだりできない。公営住宅には4月下旬からの募集に申し込む予定。民生委員を通じて病院から書類をもらい、通院できる場所にしてもらうよう、お願いするつもり。(担当者のコメント：生まれてから現在までのお話を伺ったが「人生いろいろあった。これも運命と思っている。小説でも書きたいくらい」と言っておられた。)(61歳女性、一人暮らし、担当：井手上、合田、矢萩)

・4月には公営住宅に引っ越し。ここは52軒残っていたが、4月以降はさらに半分以下になり、年寄りばかり残る。市の人はどう見てくれるのかが心配。(60代、2人暮らし、担当：井手上、合田、矢萩)

・「足が悪いし、死んだ方がましだ」。公営住宅も単身者が申し込める分が少なく、なかなか当たらない。消費税が5%に上がって、政治家はその金で何をしているのか？。これからの国

民は税金に食われてしまう。震災で足を悪くして働けなくなった。ゴミを捨てに行くのも不自由だ。あばら骨は2本しかなく、右肺のみで呼吸。時々呼吸困難になる。ホームヘルパーが週2回、洗濯・ゴミ捨てをしてくれる。お酒が好き。(79歳男性、一人暮らし、担当：盛本、浅野、島原)

・家が傾き全壊となったが、隣の高層ビルに助けられ、下敷きにならなかった。その当時泥棒に入られ、なけなしの金を取られた。毎年、近所の人達(被災地)と近くの公園で花見をやり旧交を温めているが、今年は未だに連絡がない。公営住宅に当たったが、保証人が見つからない。息子(50歳)は定職が決まらず、アルバイト収入なのでお金がない。生活保護を希望しており、市は息子と別居すれば受けられると言うが、息子の病気を考えるとそれも出来ない。気心が解った頃に離れていくのが寂しい。転居後の生活が心配。(72歳、2人暮らし、担当：土居、出藤、三浦)

・1ヶ月後、公営住宅(東灘区)に移るが、新しい場所での新しい生活に不安を感じているようだ。「仮設住宅だけでなく、公営住宅にも巡回ボランティアに来て欲しい」と言われていた。回りの人達が出ていかれ寂しいようで、私達が3、4回「もうそろそろ…」と言っても「もうちょっとゆっくりして行って」と帰してくれず、寂しさが痛いほど感じられた。(81歳女性、一人暮らし、担当：石田、浦部、広田)

・白内障ではっきり物が見えない。腰が痛い。早く公営住宅に引っ越したいが、1年先(入居予定)ではどうなるか不安である。(65歳女性、一人暮らし、担当：小波本、藤井、佐藤) 夫…肩が痛む。糖尿病。医者のアドバイスを受け、本を読みながら食事療法をしているが、なかなか守れない。また不眠症で睡眠薬を服用(糖尿病については糖分を分解する食物として豚肉、パイナップル、玉ねぎを摂るようアドバイス)。妻…脳血栓で倒れ、身障者。何とか歩くことは出来るが、うまく喋れない。不安感を与えたり、イライラさせてはいけないので、気を遣っている。震災で仕事を失い、生活保護を受けている。出来る範囲で仕事をしたい(「被災地しごと開発事業」のパンフレットを渡す)。みんながいなくなって、ふれあいセンターにも人が集まらなくなった。以前は1ヶ月に100円ずつ集めて「ふれあい喫茶」をやっていたが、人が集まらないので今はやらなくなった。(57歳、2人暮らし、担当：井手上、南口、矢萩)

・公営住宅に入居後は、また新しい自治組織を作り直さなければならないが、私は先頭に立って頑張るつもりだ。しかし、自ら役員をするつもりはない。それより高齢者や一人暮らしのお宅に力を入れるつもり。今こそ、週末ボランティアや民生委員の力が要る時です。公営の人達の中にも、病気や孤独で苦しんでいる人達が大量にいるのです。(50代、2人暮らし、担当：村外、赤松、川畑)

3月14日

・夫は身体障害者で病気がちだ。子供もおらず、生活保護を受けている。夫は仮設住宅に入居してからアルコール依存症気味になり、いつも地震の事ばかり話をして、イライラする毎日だった。しかし、今回公営住宅(シルバーハイツ)が当たり、大分良くなった。酒も辞めてくれた。(？歳、2人暮らし、担当：小山、沼田、本田)

・狭心症で寝込みがち。めまいがして、自分で救急車を呼んだ事もある。気候の変動が激しいので、この体にはこたえる(週2回のヘルパーが来る。10月入居予定)。(76歳男性、一人暮らし、担当：小山、沼田、本田)

・「前向きに生きている」。今日は「楽しい」と言って、歌い、ハーモニカを吹いて下さった。
(76歳男性、一人暮らし、担当：毛綱、西村、中川)

・公営住宅は落選。体調は良いのだが、眠れない。働く所がなく、年金も貰っていないので困っている。近所付き合いは、働きに出ている人が多いので余りない。また、自分自身も出歩かない。(68歳女性、一人暮らし、担当：吉崎、吉田、亘)

・震災前に胃・十二指腸を手術。膵臓も悪く、仕事が出来ない。血糖値が高いので、万歩計を付け1日1万歩歩くなど健康管理には気を付けている。ストレスも良くないので、気楽に考えるようにしている。市への要望…仮設住民は年齢制限なしに、バス・地下鉄の運賃を無料にして欲しい(現在、70歳以上から無料)。年金がないので働かないとやっていけないが……。生活保護は「自分のプライド」があるので受けたくない。(68歳男性、一人暮らし、担当：荒地、堀、藤原)

・昨年5月から胃が悪くなり、逆流性食道炎と診断された。たぶんストレスのせいだと思う。仮設内での人間関係は難しい。口に出せないことがいろいろある。ただ辛い事があっても物事を常にプラス指向で考え、生活の中から多くの楽しみ(草花や金魚の飼育)を見い出している。また仕事(婦人服の仕立て)が大きな生き甲斐になっている。(担当者のコメント：人間関係を大事にする優しさが仇となって、精神・身体的にしんどい思いをしておられるようです。「ものは考えようで、幸せか不幸せかは自分が決める事」と言われた言葉が心に残った。)(77歳女性、一人暮らし、担当：小林(瑞)、堀、矢萩)

・訪問するとコタツに入って酒を飲んでいて、挨拶をしたら「帰れ～」と怒鳴られた。台所で水仕事をしていたヘルパーさんから「朝から飲んでいて、ものすごく機嫌が悪いので帰った方が良い」と言われ帰ったが、やるせなさが残った。(？歳、一人暮らし、担当：斉藤、佐藤、杉谷)

・妻は腰の手術をした際、足のリンパ腺が腫れ、歩行困難になる。片目も悪くなった為、首や肩に負担がかかり、首を回す事が出来ない。現在車椅子を利用しているが、バスに乗れないので西神南駅まで押して行く(50分かかる)。(担当者のコメント：身体の不自由な奥さんを支えているご主人の明るさと、活動力の印象が強かったです。10月転居予定。)(69歳、2人暮らし、担当：盛本、中村、中野)

・身体障害者3級(足の手術後、両足の長さが違う)及び言語障害あり。身の回りの事なら大概自分で出来るが、昔のように仕事が出来ないのは辛い。5月転居予定。(担当者のコメント：2時間以上話されたが、まだ話し足りない様子だった。)(60代男性、一人暮らし、担当：毛綱、中川、西村)

・脳梗塞で右半身が不自由。戦争を体験しているから、仮設生活はそれほど苦にならない。ただ隣が難聴者の方なので、テレビの音等が大きく、騒音で言い合いになる事も……。転居予定あり。(68歳男性、一人暮らし、担当：吉崎、吉田、亘)

・妻は「徘徊癖」があり、夜戻らないので警察に届け出たこともある。ここの生活に慣れ探しやすいようになったが、今度の新しい住居ではまた心配が増えそうだ。(担当者のコメント：子供に戻った様な奥様(痴呆)と困り切ったご主人のこれからの生活が思いやられる。)(80代、2人暮らし、担当：佐藤、斉藤、杉谷)

・公営住宅に当選したが、通院の為に交通費が心配で(垂水→新開地)。白内障などで、週2～3回週2回通院しなければならない。(76歳男性、一人暮らし、担当：仁井田、渡辺、木

村)

公営住宅に当選したが、飼っている猫を置いて行かねばならず、それが心配だ。(83歳男性、一人暮らし、担当：仁井田、木村、渡辺)

・アルバイトで生活している。外国人なので公営住宅に移っても、家賃が払えるか不安。会話は出来るが読み書きが出来ず、アルバイトから社員になるのは難しい。また金銭的に余裕がないので、本国にも帰れない。(32歳、4人暮らし、担当：日高、矢島、阿部(愛))

・公営住宅に当選したが、部屋は5階建ての4階になった。ここにはエレベーターがない。65歳以上は1~2階になると聞いていたので、市に相談に行ったが「一度決まったのは変えられない」と言われた。私は腰が悪く、血圧が高い。夫も今年に入って糖尿病になり、急激に痩せてしまった。こんな状態なのに……。 (担当者のコメント：こういう問題が増えてきた。)(70歳、2人暮らし、担当：阿部(愛)、日高、矢島)

・かつて住んでいた所に帰りたい。それまで出来ればここに居たい。親類には仮設に居ることを伝えていない(息子と2人暮らし)。(82歳、2人暮らし、担当：生駒、安部(真)、鈴木)

・「災害被災者等支援法案」の早期成立、または市民案と野党案の一本化の早期実施を望む。阪神大震災への遡及が全くない自民党案には不満だ。(69歳、4人暮らし、担当：本人自筆) 苦労してやっと建てた家なのに、隣の家がもたれかかってきて全壊した。新築だった……！母と暮らしたかったのに……。公的支援を欲しいが、言ってもしようがないし……。今は主人の遺族年金と貯金を取り崩して生活している。(60代女性、一人暮らし、担当：赤西、池田、大橋)

・年金34,000円では生活が苦しい。読み書きが出来ない(教えてくれる子供もいない)。寂しい。その寂しさは想像は出来ても、分からないだろう。人が居なくなつて、こんなにも寂しいものだとは思わなかった(涙ぐんでおられた)。(74歳女性、一人暮らし、担当：黒田、青谷、常岡)

・腰が悪く、糖尿病、血圧が高い。膝が悪いので入口や風呂に手すりを付けてもらった。買い物は遠いので週1回まとめ買いをするが、近所の人が助けてくれるので大丈夫。震災の日、近くの街区では40人亡くなった。東灘小に避難したが一杯で、何とか見つけて寝た所は死体安置所になっていた部屋だった。(86歳女性、一人暮らし、担当：佐藤、杉谷、齊藤)

・父は入院中。母は足が不自由です。現在母と私は神経内科に通っています。とても辛いです。家が全壊の為、下着から買ってきました。今まで頂いた義援金では、とても食べていけません。国会議員の方、もう一度支援の程、よろしくお願い致します(本人自筆)。

生活が苦しくて、死のうと思った事がある。お金がなく、仕事がなく、毎日する事がない。父親が入院してからは、なおさら神経に來ているとのこと。震災を忘れないでいて欲しいと言われていた。11月転居予定。(77歳、3人暮らし、担当：小山、沼田、本田)

・8年くらい前より甲状腺が悪く、病院通いをしている。息苦しくなり、救急車で病院に運ばれた事もある。余りの痛みに自殺したいと思った。安定剤や睡眠薬を飲まないで眠れないが、点滴や薬で少しずつ良くなってきている。だが完全には治りそうもない。また心臓に水がたまり入院した事もあり、健康状態は思わしくない。苦しくて寝込む事も多く、娘は看病のため働きに行く事も出来ない。(担当者のコメント：コーヒーを出して頂いた。本当は飲めないけど、暖かさ・優しさが伝わってきて、全部飲みました。話を聞くだけでボランティア(心のケア)になる事が実感でき、嬉しかった。公営住宅当選。)(78歳、3人暮らし、担当：安部

(真)、鈴木、生駒)

・全焼して何も残らなかったのに、35万円しかもらえなかった。仮設にも毛布1枚しか付いておらず、寒くて寝られなかった。焼かれずに財産が残った人と同じ扱いはおかしい。神戸市の事は信用していない。また言っても仕方ないと思っているから言わない。(70歳女性、一人暮らし、担当：黒田、青谷、常岡)

・地震の後、高血圧になった。2人の息子のうち、1人を亡くした。今でも(亡くなった)息子の夢をよく見る。公営住宅に仮当選。(85歳、3人暮らし、担当：太田、坪井、井手上)

・子供が夜・昼構わず起きて動くので、よく眠れない。子供が夜泣きしたりする為、隣の家に申し訳なく、ストレスがたまるとの事だったが、今回の訪問も赤ちゃんが病氣中で、かなりイライラした様子だった。顔色も良くなかったのが心配だ。(48歳、?人暮らし、担当：常岡、黒田、青谷)

・この3年間、苦労や精神的な苦しみ等いろいろありましたが、恒久住宅入居でそれらが吹っ飛んだような気がします。これから新居に落ち着いても、またいろいろな事があるだろうと思いますが、人生やり直しの一步と思って頑張るつもりです。この度また落選された方、本当に気の毒に思っております。1日も早く住宅に入れますよう、祈りたい気持ちで一杯です。これらの気持ちは、仮設に住んだ人でないと分からないと思います。(74歳女性、一人暮らし、本人自筆)

・市は今年9月に仮設住宅を出るように言うが、住宅がないまま出されては大変困ります。助けて下さい(息子と2人暮らし)。(85歳、2人暮らし、本人自筆)

・前回訪問…同じ仮設内の痴呆症の男性の世話をしている。その人が長田の公営住宅に当たったが、遠くて今までのようには出来ない。長田の公営か仮設に移転したい。

教えて頂いた生活再建本部に電話をかけたが、無理のようだ。担当者によると、市街地の仮設は民間から借りている土地が多いので、出来るだけ早く解消しなければならない。だから空き家が出来たからといって、埋める訳にはいかない。また市街地の公営の空き家は「地元の人優先」との事では入れないそうだ。もし、その方が倒れたら病院に入院させ、福祉の方で面倒を見ますと言っていた。(担当者のコメント：半ば諦めておられるが、何か対策はないものだろうか?) (69歳女性、一人暮らし、担当：赤西、大橋、池田、田村)

3月21日

・40年間家屋解体の仕事をしてきたが、4年前釘が目に刺さり、視力が左0.2、右1.2とアンバランスになった。歩いていても、車など来ると怖い。また工作中、腰椎2本を圧縮骨折したので、寝返りしたり冬になると痛む。週2回三宮まで通院しているが、いつひっくり返るか分からないので、妻が同伴してくれる。割り箸や5円、50円玉で五重塔や宝船を作るのが趣味。作っては人に上げている。指先を使うのでボケ防止にもなっている。娘はいるが、相手の親と同居なので電話連絡くらいで来ない。11月引っ越し予定。(63歳、2人暮らし、担当：矢萩、水口、本田、藤澤(武))

・C型肝炎。腎臓・膀胱が悪く、排尿障害を抱えている。体調は非常に悪い。仮設に来て3年目、周囲の人も次々と転居していくので気が滅入ってしまう。1週間も1人でいると「死のう」という気持ちになるのも分かる。ただ近所の方が良くしてくれるのでありがたい。仕事が出来ず、生活保護を受けている。住宅は当たらない。ずっと中央区を申し込んでいたが、4月の募

集ではこだわらないつもり。3年の仮設生活で気持ちが参ってしまった。(48歳男性、一人暮らし、担当：矢萩、水口、本田、藤澤(武))

・ストレスによるうつ病のため、失業中。隣近所に気を遣うので、ストレスがたまる(自分は近所に音が聞こえないように工夫しているが、隣はわざと大きな物音を立てたり、悪口を聞こえるように言う)。眠れない……。公営住宅に当選(家賃3万円)したが、敷金が払えずまだ入居できずにいる。自転車・三味線・庭いじりなど多趣味だが、震災後なかなかその気になれない。また行方ない。(50代、一人暮らし?、担当：兵藤、岡田、藤本)

・不況の為、失業しました。その後胃腸を悪くし、通院中です。公営住宅は落選(悪い事ばかり続きます)。今は仕事探しに一生懸命の毎日ですが、希望をなくし自殺を何度も考えた人は、私だけではないと思います。一日も早く復帰できるよう、私自身も頑張っていけるように「災害被災者等支援法案」の確立を国に求めます。(50歳女性、?人暮らし、本人自筆)

・夫は体が不自由でした。せっかく車椅子用の住宅が当選したのに……。亡くなってしまった。私一人ではそこに住めないの、未だ住宅は決まっていない。一人になったら楽しもうと思っていたのに、長い年月介護してきて余りに急な事だった……。 (70代女性、一人暮らし、担当：藤沢(則))

・やっと公営住宅に当たりました。長田に帰れないのが本当に悔しいです。母のいる間に家が再建出来ればいいのですが、私の力ではいつの事やらと心が重くなります。でも何とか頑張らねば……。 (本人自筆)

母は寝たきりになって8年。せめて食事の時は、テーブルに座って食べさせたいと頑張っているが、私自身も介護疲れか、腰痛や膝に水がたまるなどの症状が出てきた。とても辛い。介護の為仕事を辞めたが、母の年金による収入しかなく、余裕のある経済状態とは言えない。母の入浴に、週一度ヘルパーさんが手伝いに来てくれる。また2週間に一度、皮膚科と内科の往診がある。(87歳、2人暮らし、担当：藤井、藤沢(則)、佐藤、本橋)

・C型肝炎・糖尿・ヘルニアを患っており、歩くのがとても辛い。福祉が何もしてくれないので、無理をして働いている(特殊技術の免許を持っている)。軒先の電灯が年末に切れ、真っ暗になった為、ドアを叩き破って家に入ったが、鍵もかからなくなってしまった。公営住宅は落選。前に当選したが不便だと断った人が、今回当たっている。どういう事だ?。もう死にたい。(60歳男性、一人暮らし、担当：松宮、高山、清水)

・主人が障害で困っている。生活は月8万円でやっている。4月転居予定(犬も一緒)。(55歳、2人暮らし、担当：高山、松宮、清水)

・息子を震災で亡くした。250万円の一時金を貰ったが、葬儀代などですぐになくなってしまった。孫を抱いて震災から逃れたが、その孫の優しい言葉が励みになっている。血圧が高いので薬は欠かせない。夫の年金はなく、私の年金も5千円ちょっとだ……。 (85歳、2人暮らし、担当：大木、土居、青木)

・慢性骨髄白血病の為、隔週で通院中(6年目になる)。公営住宅には、来年5月入居予定です。あと1年と思っ、頑張っています。欲を言ったら限りがありません。もう1年と3ヶ月、静かに我慢の毎日です。(本人自筆)

今の学校の先生は、教育委員会の方ばかり目を向けて、生徒を見ていない。今の若い子は本当にかわいそう。(60歳男性、一人暮らし、担当：大木、堀、青木)

・震災後から高血圧。公営住宅に当たったが、保証人をどう見つけたら……。人と話すのは久

しぶりや。半月ぐらい誰とも喋らん時もあるしな……。カラオケをしにふれあいセンターに行く人もおるが、わしは早よ体を治して仕事に復帰することで頭が一杯や。要望をいろいろ言うたらキリがない。まずは元気になるのが先や。神戸市長への手紙は書いてみる。(59歳男性、一人暮らし、担当：赤西、関屋、福濱)

・少し前、脳梗塞になってあまり動けなくなった。ただ頑張っ生きてのみ。(60代男性、一人暮らし、担当：赤西、関屋、福濱)

夫…心筋梗塞、妻…高血圧。家は火が回って全焼。隣近所と共同でマンションを建てつもりだが、話が一向にまとまらない。仮設内で引っ越し予定(今月中)。近所の住人が酒癖が悪く、とても迷惑している。(67歳、2人暮らし、担当：藤本、岡田、兵藤)

・商売をしているが、不景気の為うまくいっていない。また公営住宅も当たらない。税金を払っていないチンピラが当たっているのに、自分が当たらないのは納得が出来ない！。(50代男性、一人暮らし、担当：山本、新井、広岡)

・灘の公営住宅に当たった。以前は事業をしていたが、震災で全てパーになった。現在無職。職業安定所に行くものの、50歳を越えているので、仕事がなかなか見つからない。(50代男性、一人暮らし、担当：山本、新井、広岡)

・年金生活。夫は震災で腰痛になり、また耳も遠くなった。おかげで話し相手がなくなり、ストレスがたまる。震災前に夫の退職金で借家をリフォームしたのにパーになってしまった。早く公営住宅に当たりたいが、引っ越しをするお金がない。(74歳、3人暮らし、担当：竹田、望月、三浦)

・妻が去年脳梗塞で倒れた為介護しているが、私自身も腰・血圧等で通院中。生活保護を申請している。(54歳、2人暮らし、担当：小野、中屋敷、江口)

・仮設にいと、気が狂いそうになる。余りにも腹立たしく、怒りを言葉で表現出来ない。これ以上何も喋りたくない。もう来ないで欲しい。(57歳、2人暮らし、担当：山本、新井、広岡)

・転居者が増え、自治会が機能しなくなってから、街灯などの修繕が行われていないので困っている。(60代、2人暮らし、担当：岡田、藤本、兵藤)

・血圧・心臓などで毎日通院している。コルセットを付けている。生活保護を受けているが、腰さえ完治したら働きたいのだが……。 (54歳男性、?人暮らし、担当：中屋敷、小野、江口)

・脳梗塞の後遺症で頭が痛く、夜中まで寝付けない(夫)。震災後は1ヶ月ほど避難所生活をしてしたが、大阪の公営住宅に入居。でも神戸に居た方がいいと、この仮設を申し込んだ。やっぱり慣れたところがいい。寒い、雨が漏らないだけ幸せだ。戦争で捕虜になったが、道路工事や犬のマネ等させられ、惨めな思いをした。辛かった。その後、炭鉱で働いていたが(福岡)、閉山。神戸に来てタクシー運転手をしていた。神戸に来てからは幸せだった。公営住宅に当選。(担当者のコメント：大阪にいる娘さんが、交通費がかかって来れない←昼間特別割引切符の説明をする。娘さんに電話する時、電話番号が長くて押しにくい←短縮電話の説明をする。)(79歳、2人暮らし、担当：師岡、長船、谷口)

・東灘区の公営住宅を希望しているが当たらない。心臓弁膜症で、週1回東灘まで通院中。先週胃カメラを飲んだ所、胃にカゲがあり薬を服用している。でも、今週から仕事(マンションの清掃)を再開。(60歳女性、一人暮らし、担当：小野、中屋敷、江口)

・自治会がないので、何とかして欲しい。また年寄り同士で話していても、良い情報を得ることが出来ないで、新しい情報を提供して欲しい。仮設の使用限度は3年程度だと感じる（囲いもなく、道の上に寝ている感じだ）。公営住宅当選。（80歳、2人暮らし、担当：小川、立花、浦口）

・前回訪問…年金がないので働かねばならないが、体を悪くしている為、仕事が出来ない。またプライドがあるので生活保護は受けたくない。

仕事は水道工事（自営）で、震災後1～2年は受注があった。だが、昨年夏からパツタリ仕事が無くなったので、工務店ルートで仕事を受けているが、不景気の影響もあり、工事しても金をくれないケースが増えているとの事。生活保護・雇用についての資料を渡したが、「月3～5万円では……年金生活の人はいいだろうが、暮らしていくのには……」と言われた。水道工事で食べていけるのを望んでおられるようだ。糖尿病は今年1月の診断で判明。病氣と上手に付き合っている。「けど治らんし、因果な病氣や」と言っておられた。住宅は4月の申し込みに賭けると……。 (68歳男性、一人暮らし、担当：藤澤（武）、本田、水口、矢萩)

・前回訪問…年金がなく、仕事もない。

雇用の資料を渡しに行ったところ、喜んで下さったので働く意欲がとてもある人だと感じた。しかし、履歴書の書き方が分からなかったり、それを出すことの煩わしさがあるようです。また、周りの人が次々と出ていくので、取り残されないか心配だと言われていた。生活保護についての質問を結構されていた。(68歳、一人暮らし？、担当：赤西、関屋、福濱)

3月28日

・全く身寄りなし。心臓病・慢性気管支炎・慢性胃炎・腰痛と病氣を抱えている。週に1回点滴に行っているが、健康法として毎日万歩計を付け、歩き回っている。性格が楽天的なので前向きに生きている。また足と口が丈夫なので助かる。公営住宅に当選。先日見学に行ってきたが、鉄の扉が「ガシャン」と閉まるので、隣近所の人と気軽に話を出来そうもない。寂しい。こうしてボランティアの人と話したのは初めて。1ヶ月分は喋った。(76歳女性、一人暮らし、担当：井手上、縣、小田)

・去年、腸の手術をしたため、今も通院中。生活保護を受けている。一人暮らしなので、食事を作るのが大変。来月引っ越し予定だが、引っ越しボランティアについて知りたい。福祉からは一応連絡先（運送屋）を聞いてはいるが……。←引っ越しボランティアのチラシを渡したが、福祉に再度確認するよう勧めた。(66歳男性、一人暮らし、担当：木村、井手上、川口、田中)

・名谷に当選したが、入居は来年5月。まだ1年、ここで我慢しなければならない。今までは早く過ぎたが、これからの1年は長くなりそうだ。(？歳、一人暮らし？、担当：木村、川口、田中)

・10月に公営住宅に引っ越すことが決定し、ホッとした。夫は入退院の繰り返しなので、2人で助け合っていかなければと思っている。建物自体はほぼ完成している。近くなので、時々見に行つて目の保養をしている。部屋はまだ確定していないが、8月頃には内装も完了すると思われるので、夢を持てる。(？歳、2人暮らし、木村、田中、川口)

・4月に入居が決まっているが、何日に入れるのかまだ分からない。3月初旬には書類が届くはずなのに……。市役所へ問い合わせたら「大変込んでいるので遅れる」との事。早く引っ越

したいのになあ。(？歳、一人暮らし？、担当：猪上、小川)

・腰が悪いので、重たい物が持てない(最近では軽い物でも痛む)。仕事を探しているが見つからない。仮設は家賃がかからないので、ここで暮らしていてもいいのに……。入居は来年5月。

(55歳、一人暮らし？、担当：木村、川口、田中)

・血圧及び腎臓が悪くなっています。3ヶ月に1回採血をしているが、自分自身で体に気を遣っています。(本人自筆)

ハイテクパークの工場でお茶出しの仕事をしている。3年が過ぎ、当時が夢のような思い出話になっている。たくさんの人が長田で亡くなった……。孫は6年生だったが、今年中学を卒業した。5月入居予定。(72歳女性、？人暮らし、担当：森中、長船、山田)

・耳が聞こえにくく、足が不自由。年金生活。暑いのはいいけど、寒いのはかなわん。公営住宅に当たった時、ホッとした。須磨に帰りたいなあと思うけど、叶わへんから諦めた。もと住んでいたアパートは今駐車場になっている。(86歳、2人暮らし、担当：生田、長船、佐沢)

・前回訪問…脳梗塞になって、余り動けなくなった。ただ頑張って生きるのみや。経済状態が心配な為、再訪問をする。

年金が17万円あるので、何とかやっていける。艇に乗ったり、中央市場(鮮魚)で働いていた。力仕事専門だったので、過労で脳梗塞に(49歳の時)。右脳をやられたので左半身が不自由になった。公営住宅に当選。マスコミは「孤独死」と騒ぐが、家族や親類がいるのにちゃんと面倒見ないのが悪い。(58歳男性、一人暮らし、担当：浜本、合田、矢萩)

・夫…肛門ガンで手術。障害4級。妻…内臓の一部と子宮を取った。坐骨神経痛も…。夫は家具店に運転手として勤めていたが、手術後事務職に変えてもらい、身分はアルバイトとなった。重い物を持ったり出来ないが人手が足らず、台車を押したりして手伝う事もあるらしく、そんな日はご飯も食わずに寝てしまう。「いつまで居るの？タダでいいね」等と言う人がいるけど、毎日引っ越しを見ていると取り残されていくような気がする。市営住宅が当たるまで出られない。いつ入居出来るか、いつまで働けるのか分からない。この不安、わびしさは分かってもらえない。最初は怪我がなくて良かったと思っていたが、希望はないし、何もかも嫌になった。自殺を考えた事も……。でも今は助かった命だから、とことん頑張っていこうと思っている。回りの方とは交流がない。グチを聞いてくれて有り難う。ちょっと話したらスッキリした。(55歳、2人暮らし、担当：池田、毛綱、森下)

・市のボランティアが月1回電話をくれる。遠慮はするのだが、気持ちの上では有り難いし嬉しい。時々めまいがする(耳からきている)が、医者に通い出すとずーっと行かなければならないので我慢している。(75歳、？人暮らし、担当：野々村、大倉、藤村)

・仮設入居後、半年間腎臓病で入院していた為、回りの人達と交流がなく、ふれあいセンターに行った事もない。行く人は決まっていて、今更行きにくい。住宅に当たらない事が不安。どうしても兵庫区に戻りたい。公営住宅の抽選は納得できない。また補欠になっても、順番はあっていないようなものと思う。ここは環境が良く、空気もきれい。娘もハイテクパークに勤めているが、何と言っても夫の仕事場が長田なので不便だ。買い物にも行きづらく、料理の意欲が湧かない。今では冷凍食品が多くなっている。夫の鉄工場(自営…孫請け)は、震災の時3軒隣まで火が迫ったが、風向きが変わった為助かった。でも不景気でなかなか仕事が回って来ない。(51歳、3人暮らし、担当：毛綱、森下、池田)

・市営住宅の空き家に当選した。しかし、送られてきた書類に連帯保証人を書かなければならず、その当てがない。保証人の条件として、収入が300～400万円、市営住宅に住んでいる人はダメ等と、年金生活者でもほぼ無理だという厳しい条件である。ましてや震災で勤めていたゴム会社は倒産。貯金も尽きて生活保護を受けている状態では頼みにくい。また頼みたい人達もそれぞれ生活が苦しく、条件に当てはまらない。←「鍵渡しの時、保証人のいない方は1年以内に見つめますという誓約書を書いてもらい、入居手続きをします」と市営住宅担当者。
(63歳男性、一人暮らし、担当：上月、矢野、盛本)

・前回訪問…妻が筋萎縮症。妻と一緒にいる為、震災後再建した喫茶店を閉め、デパートの配達の仕事始める(妻を助手席に乗せ)。

喫茶店再建の為に7年返済で1千万円を国庫から借りたが、店を辞めた為、11月までに元金1千万円を返さなければならない。店は5分の1の値段で売ってしまい、備品もタダ同然だった。今配達の仕事をしているが、高血圧の持病がある為、運転中時々フラットとなることがあるので、その時はすぐ駐車して休む。向かいの74歳の方は、生活の為デパートで荷物を運んでいる。行政で支援したるべきだ。(55歳、2人暮らし、担当：池田、毛綱、森下)

・来年5月引っ越し予定だが、それまでが大変だ。4月になると10軒長屋は私1人になる。病気になった時、誰が見つけてくれるのだろうか？。死んでから長い間放って置かれるのは嫌だ。4月以降、500軒中50軒位しか住人が居なくなるので、それぞれが孤立してしまうのでは……。ノックはしつこいくらいして、安否を確かめて欲しい。(63歳女性、一人暮らし、担当：桂、杉田、石川、江下)

4月4日

・前回訪問…年金だけでは生活できないので働いている。これから先不安。

坐骨神経痛で2月から働いていない。年金(9万円)のみで生活しているが、非常に厳しい生活だ(その内保険料を月13,000円払っている)。人によっては、保険料を払わず病院代を実費で払っている人もいる(大問題だ!)。治療費を払えないので行かずにいると、どんどん悪くなる。この繰り返し……。そういう状況で家に閉じこもっていると悪い方向に考えてしまい、自殺を考える人もいる。そこで助けになっているのがボランティアだ。確かに愚痴をこぼしてもほとんど解決に繋がらないと解っている。でも愚痴をこぼす相手もないのでは辛い。自殺者はまだ出る……。これからは自分も何かアクションを起こそうと思う。住んでいた借家は全壊。義援金を24万円貰ったが、何百万も貰っているような思われるのは腹立たしい。政府は銀行に出す金があるのに、なぜ被災者に出せないのか？。公営住宅は当たっていないが、たとえ当たっても新築なんか家賃が高くて払えない。(担当者のコメント：愚痴をこぼす相手もほとんどいないとの事。このような訪問を途絶えさせては行けないと痛感した。)(61歳男性、一人暮らし、担当：青木、原田、小田)

・前回訪問…左目・子供の時から見えない。右目・見えにくい。

目がかなり不自由な為、バスの時刻表などが見えにくく苦勞する。公営住宅は足場のいい所に入居したい。西神南を申し込んでいるが、落選続き。元気な人ばかり入居しているような気がする。仮設内の住民が減ると共に「外灯」が減らされ、夜外出しにくい。ご飯が炊けない…友人に助けてもらっている。値段が見えない…回りの人に聞いている。(57歳女性、一人暮らし、担当：赤西、祝、中野)

・前回訪問…回りの人とあまり付き合いがない。耳があまり聞こえない。

毎日嫁が来てくれる。最近ど忘れがひどくなった。人が来てもサッサッと動けない。(担当者のコメント:訪問時、テレビをつけておられたが、何を見ていたのか分からないとの事。耳が遠く、やっと布団から出てきた様子。とても痩せていた。いつどうなるか心配な方です。お嫁さんが食事を作りに来てくれていると言うが……。)(77歳女性、一人暮らし、担当:赤西、祝、中野)

・前回訪問…足腰が立たない。灘の公営住宅(新築)に決まったが、精神・体力に不安を感じる。

歩く事に苦痛がある。自分の部屋の近くに自販機があるが、夜中に若い者が集まり、騒々しくて寝られない。(87歳、2人暮らし、担当:清重(智)、原、姫田)

・転居予定は来年5月。9月に仮設撤廃の話が出ているが、公営住宅に当たっていて何度も引っ越すのは嫌だ。「引っ越すパワー」がない。出来る事なら、このままみんなで仮設に残っていたい。公的支援は年配の女性が特に気に掛けていると思う。私は夫がまだ元気だからいいけど……。一人暮らしの人は……。(63歳、2人暮らし、担当:猪上、森下、藤丸)

・前回訪問…健康状態が悪く、夜眠れない。睡眠薬を飲んでいる。

48年前に高い所から落ち腰を悪くした(身障者5級)。妻に先立たれ、食事に困っている。腰が悪いので買い物もしんどい←ホームヘルパーの資料を渡す。通院に交通費がかかる←1日乗車券の説明をし、資料を渡す。(67歳男性、一人暮らし、担当:矢萩、松元、阿部(美))

・役所は移転先の事について、決まる前と後で言う事が違う。空き家に当選したが、網戸・ガス湯沸かし器・電話…が付いておらず、全て自己負担しなければならない。役所は新築・空き家とも条件は同じだと言ったのに……。ましてや転居先の戸口(1階)は、すぐ舗道なので物騒。明日引っ越しだけど、出来れば行きたくない。自殺する人の気持ちが、引っ越しの事で悩んでいて分かるようになった。役所が最後の募集だと言うので応募したが……。今だ募集受付をしている。平等にして欲しい。(66歳、2人暮らし、担当:藤村、竹北、中)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。あまり外に出たがらない。

痴呆になっている様子。近所の方によると…ズボンを上着だと思って着たり、自分で言っている事、したい事をすぐ忘れて「何であんた、そんな事すんねん」と怒り出したりするとの事。また、体調が日によって変わり、寝たきりの時手や顔が腫れている事もある。ご飯もあまり食わず、布団は敷きっぱなし。近所の方が散歩に連れて行っている。回りの人達がいないと生活できない状態と言われていた。だが、本人はヘルパーや姪(名谷)が来ていると言う。実際そうではないらしい。電気調理器具を消し忘れる事が多らしく、壁に火がついて焦げた跡がかなり大きく残っていた。(87歳女性、一人暮らし、担当:藤村、下北、中)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。8月に心筋梗塞で死にかけた。

抽選に5回外れて、自分の応募用紙だけ横に除けられているのではと思う。バスで「市に知り合いがいれば当選しやすい」という噂を聞くと腹が立つ。人並みに住宅に当選し入りたい。今度外れたら嫌になる。自殺する人の気持ちが良く分かる。仮設を出ていく人が多く、空き家が増えるのは寂しい。(80歳、一人暮らし?、担当:更屋、田辺)

・前回訪問…電話があり、再度訪問してもらいたいとの事。

ここ5、6年で体調が悪くなり、2度程貧血でこけた。友人との事を陰口言われたり、5月に転居予定だがシルバーハウスを再応募してみようか…といろいろな事を悩んでいる。(担当

者のコメント：人の言葉をまともに受けないよう、またあまり悩まず流れに任せてみるのもいいですよと励ました。公営住宅でも必ず同じ年頃の方がいるし、当たった事は幸せですよと元気づけた。有り難うと何度も言ってお下さりと、とても嬉しかった。（81歳女性、？人暮らし、担当：山口、東條）

4月11日

・1級身体障害。肥大型心筋症・眼底出血（右目は全く見えない）。震災後、腸閉塞で2回入院したが、避難所や仮設でのストレスによるものと思う。手術（腸閉塞）は心臓病で体力がない為、受けられない。神経質な方で、ちょっとした物音でも驚く。そんな状態で夫の工作中に倒れたら……という不安から、ケアライン119・ベルボックスをようやく去年設置した。今は薬が効いて安定している。右目が悪いので読書や手芸も出来ず…楽しみがない。ここは空気がいいし、部屋から桜も見える。（67歳、2人暮らし、担当：久保井、福田、矢萩）

・近くに風呂屋があればと思う。公営住宅は中央区を申し込むが当たらない。近所付き合いはない。何時・何処へ行くのか分からず、また人間関係が難しいので……。 （76歳、一人暮らし、担当：毛綱、藤村、渡辺）

・肝機能が低下している。これまでの人生、遊びはせず、独身で過ごし、仕事だけに打ち込んできた。また他人とすぐ親しくなり、若い頃から人の世話をし、回りから喜ばれてきた。その方達の写真を大切にしている。自分が死んだらこれらの写真を棺桶に入れてもらうつもりだ。4月末の住宅申し込みに大きな期待をかけている。妹家族や回りの人々を、早く安心させたい。（70歳男性、一人暮らし、担当：長船、渡辺、浜本）

・地震から丸三年過ぎましたが、日が経つにつれて心の苛立ちと焦りが交互にやってきて、夜中眠れない時など、死を持って抗議したくなる時があります。三月初め、知事が「9月には仮設を閉鎖する」と県会で言っていました。仮設に居る者が早く公営住宅に入居出来てこそ、言うべき言葉と違いますか？。マスコミとか世間のメンツの為に言っているとしか思えません。私達をホームレスと同じように思っているのか！腹が立つ。政府も悪い事ばかりで、誰も信用出来なくなりました。兵庫県から出ている代議士の方、もっと私達の事を考えて下さるなら、明石海峡大橋とか神戸空港等作るより、高齢者が安心出来る政治をして欲しい。選挙前になって「お願いします」と言われても困ります。私達は政治の犠牲者だ。一時的にどこかの公営に入れると聞くと聞くと、被災者にあっちへ行け、こっちへ行けとは虫けらではないのですから出来ません。子供だましのような事は止めて下さい。仮設の中は精神不安定な人が多くなりました。私もその一人かも。（76歳女性、一人暮らし、本人自筆）

・なかなか住宅が当たらない。足腰が悪い。少しでも歩くと痛くなるので、買い物がおっくうになる。三宮まで病院通いをするのは大変だ。交通費がかかり、足の負担もつらい。（80歳女性、一人暮らし、担当：佐沢、亀井、仁井田）

・糖尿病・ノイローゼ（障害2級）。結婚してからひどくなり、まもなく離婚。精神病院に10年間（40歳頃）入院していた。身内がいないので、入院費は民生に世話になったが、その後は働いていた。今は81,000円の年金で生活し、神経科の医者にかかっている。気晴らしに住宅の回りを清掃し、体を動かしている。（担当者のコメント：身内もなく、寂しい思いをされているのかもしれない。私達の訪問後もわざわざお礼に出て来て下さった。転宅資金貸付制度の紹介をした。（70代女性、一人暮らし、担当：亀井、仁井田、佐沢）

・仮設は街と違って、夜はホンマに怖くて外に出られない。買い物は明るいうちに駅で済ます。私は仕事（パート）を持っているが、何もしないでここに居たら、気が変になる。（?歳女性、一人暮らし、担当：猪上、矢野、中屋敷）

・夫婦共に足・腰が悪く、何時どうなるか心配している。毎日が辛い。夫…障害4級。目・耳・手が不自由。白内障の手術をしたが、震災時目に砂が入って傷つき、治療不可となった。妻…骨粗鬆症で背骨が曲がり、歩行困難。公的資金や医療費についてもっとも不満を感じる。議員は積極的に動いて欲しい。（86歳、2人暮らし、担当：竹田、姫田）

・仮設に住んでいて不満な事は、たばこを買うのもお茶を飲みに行くのも遠い（付近に店がない）。敷地内は砂利道なので、よく足を取られる（震災で足を悪くした）。外食が多い。（担当者のコメント：私達の為に「花見」をキャンセルし、待っていて下さった。色々なお話をして下さった。）（87歳男性、一人暮らし、担当：荒地、竹田、浦口）

・妻…腰・心臓が悪い。夫…足が悪く、働けない。5月に引っ越し予定。でも荷物が多く、体が弱いので荷造りなどが不安←当日の荷造りは手伝えないが、段ボール箱が足りないとの事なので、スーパーで手に入れ届けた。（78歳、2人暮らし、担当：矢萩、福田、久保井）

・阪神大水害・空襲・大地震と経験したが、何もかも壊されて、また新しくスタートする事に苦痛を感じる。かつて住んでいた兵庫区に戻りたい。（担当者のコメント：姿勢の良い、歌の大好きな方で、若い頃の思い出・楽しい思い出を聞かせていただき、逆に教えてもらうことが多かった。）（73歳女性、一人暮らし、担当：白岩、藤丸、姫田）

・「話を聞いてどうなるというのか。お金や生活の事が解決出来る訳ではないし」「被災者関連の情報なら、仮設の人の方がよく知っている」「特に話す事もない」「今更、地震の時の話や泣き言を言っても始まらない」「若い人がそんな年寄りの話を我慢してよく聞く事が出来るもんだね」と言いながら…震災前から民生委員をされており、なかなか辞められない事や今は更地になっているが、いずれ家を再建する予定だ…等と話された。最後にはご苦労さんと声をかけてもらった。（73歳女性、一人暮らし、担当：盛本、幸福、村松）

・姉（88歳）と同じ県営住宅に当選した。仮設に続き、今回も同じ所で良かった。夫も子供もいないので助かる。腰が悪く、白内障。また腎臓と肝臓に水が溜まって、少し腫れているが治療法がない。震災後に比べ、かなり良くなってはいるが、長く生きてると病気でしんどい思いをしなければならない。いっそ死んでいた方が楽だと思ふ事がある。一人でいると病気の事ばかり考えてしまい、不眠症気味だ。（担当者のコメント：笑顔を絶やさず、話の内容に反して明るい方だ。訪問の最後に足のマッサージをした←自分一人でも出来るやり方を伝え、後日足のツボの図解や、不眠に効く漢方のコピーを渡す約束をした。きっと引っ越しすれば、気持ち落ち着いて身体の方も良くなるのではと3人で言葉をかけた事に、随分と喜んでおられた。）（72歳女性、一人暮らし、担当：幸福、盛本、村松）

・孤独死が多いので、夜電気がついていない部屋があるとつい気になり、覗いたりしている。市は裏の戸は絶対に破らないようにと言うが、もし中で人が倒れているような時は指をくわえて見ている訳にはいかない。以前は隣の壁をトントントンと三つ叩いて、次の部屋、その次という具合に安否確認をしたりしていた。また錠を中に入れたまま、外からドアを閉めてしまい困る事がある。転居予定11月。（74歳、2人暮らし、担当：亀井、仁井田、佐沢）

・心臓病・胆石・高血圧・緑内障・白内障。足静脈瘤。今一番困っているのが座骨神経痛。点滴・電気・和漢薬など試してみても、少しも良くなるらない。仮設は湿気がひどく、昼はカビだ

らけ。神経痛はそのせいと思うが、年のせいもありますよね……。もう諦めている。辛くてもまだ一人で何でも出来るので…頑張っています。住宅が当たらないので、少しも気が落ち着かない。(80歳女性、一人暮らし、本人自筆)

・母子家庭なので、今回住宅は絶対当たるものと思いこんでいたのに…落選。子供3人の内、下の子が腎臓を悪くし面倒を見なくてはならないので仕事を辞めた。現在は生活保護。こうした現状(自分達の生活、今だに仮設が多い事など)を放置したままで、復興など出来るわけがない。上の方は金儲けだけで、私達の事を考えていない。貝原(知事)も笹山(市長)も何してくれた?。でも上の人を選んでいるのは日本人だ。私は韓国人だから参政権がない。こんなナアナアな事をしている日本人に歯がゆい思いをしている。もう3年が限度。このままの現状ではアカン。(担当者のコメント:かなりの怒りを持っておられた。思いのすべてをぶつけられたという感じでした。)(30代、4人暮らし、担当:亀井、仁井田、佐沢)

・「戦争で死んで済んで、地震で生き延びたのに、仮設でこんな目に遭うとは…市長を殺してやりたい、とさえ思う」。震災前は病院にすぐ行けたから、喘息の発作もなかったのに、今はすぐ発作が起きる。三宮より東に住めたらどうってことないのに……。いつ発作が起こってもいいように、息子から携帯電話を渡されているので少しは安心だが……。犬を飼っているので、心が安らぐ。(74歳女性、?人暮らし、担当:長船)

・車椅子で、あまり家の中のことが出来ない(←クーラーのフィルターを清掃した)。週に一度ヘルパーの人が来て、車椅子を押しながら買い物に連れて行ってくれる。またデイサービスも利用している。通院にタクシーを使わなければならず不便。市から半額券をもらっているが、それでもお金はかかる。仮設は地元(長田なら長田)に入れてくれたら孤独死はなかった。全く知らない人達が多い中で、仲良くするのは限度がある。内向的な人は友人が出来ない。仲のいい人は決まってくる。(66歳、?人暮らし、担当:渡辺、浜本、長船)

・肺に水が溜まる。体が思うように動かないのでヘルパーを希望(←資料を渡す)。家を再建したが、区画整理で手狭になり5人では暮らせなくなった。その為、一人で仮設に入った。話し相手がない。(79歳女性、一人暮らし、担当:毛綱、藤村)

・身体障害者(松葉杖使用)で、一人住まいの為、高い所の物の出し入れが困る。早く住宅が当たって落ち着きたいと思う。(本人自筆) タンスが開かなくなったので助けて欲しい(←抽斗にかんなをかけ、開け閉めがスムーズになる)。腰が痛くて長く立ってられない。掃除まで出来ないから散らかっている。ヘルパーは気を遣うのでまだ頼んでいない。来てもらいたいが……。 (←頼むように勧めた)。夫の父と震災に遭った(夫はすでに死去)。父は「長田か須磨の方に帰りたい」と言いつつ、無念のうちに去年100歳で亡くなった。99歳の時自分でトイレにも行けたのに……。今でも住宅に当たらない。「今度当たらなかつたらショック。死んでた方が楽みたいや」。(66歳女性、一人暮らし、担当:荒地、長船、浦口、藤丸、白岩)

・気分の上下が激しい。鬱の時、3日程食べ物が喉を通らない事もあった。そんな時は、台所やその周辺は洗っていない食器で埋め尽くされ、部屋の中は洗濯物等でぐちゃぐちゃになる。楽しみにしているテレビも消し、外を歩く足音さえもうとうとうしく感じ、カーテンを閉め切る。冗談抜きで自殺の事を考えてしまう。近所との交流はほとんどなく、昔からの友人と駅などで別れ、また一人ぼっちの家に戻るのがたまらなく嫌で落ち込む事もある。電話はない。あると長電話になり、お金が払えなくなるから……。手続き上の署名や工作中など、大事な時に手が

震えて字が書けなくなる。また胸が苦しくなり病院に運ばれた事も何度かあるが、いずれも精密検査では異常なしだった。何時また手が震えたり、倒れるかと不安で怖い。仕事も思うように出来なくなった（無職？）。酒が原因かと思い、止めてみたが体調は変わらなかった。（担当者のコメント：一人で色々なことを背負ってしまい、それがストレスにつながっているようだ。お会いした時、私達を警戒していたが、そのうち家の中に入れていただき、お話をたくさん伺った。「時間は大丈夫なの？」と言いながら漬物を出してくれたり、「肉を料理をしようか？」（さすがにこれはお断りした）と私達に長く居てもらいたさそうだった。厳しい表情だったが、最後には笑顔も見られた。一人暮らしの方が多く、話し相手の必要さを感じた。）（56歳男性、一人暮らし、担当：原田、石橋、島原）

4月18日

・妻と細々自営業（油絞り）をしている。最近頭にくるのは住宅が当たらんことや。何回出しても当たらん。西神南なら倍率が低いと思って、募集開始一番に出したが外れた。初めての公営住宅募集（被災者用）の時、借金があった。所得証明が必要と言われ持っていったら、収入があるからと保険料を他の被災者の6倍にされた！！借金の事を全く考慮してくれず、抗議したら分割でもいいと…！以前向かいから異臭がするので、警察を呼んだら死後1週間経っていた。区役所の職員を呼んで「お前んところ、きちんとやらなかったらまた死ぬ人間が出るで！お前も首飛ぶで！」と本気で叱りつけた事もある。（65歳、2人暮らし、担当：猪上、川口、白戸）

・胃の周囲に痛みがあり、2週間に一度通院している。自転車で通いたいのが、危ないと医者から止められた。徒歩で往復1時間かかる。今一番気がかりなのは住宅。で、4月中、5月中、5月末の通知を待っている。仕事（大工）もないし、死にたくなる…時もある。医者に「注射して死なせて欲しい」と言った事もあった。（89歳男性、一人暮らし、担当：野中、武内）

・3階建ての鉄骨モルタルのアパートが全壊、九死に一生を得た。半年間公園でのテント暮らしをしていたが、ここと同じで夏暑く冬寒かった。ガス代1万円、電気代7～8千円、水道代2ヶ月で7千円。福祉（生活保護）を受けているが生活は苦しい。妻は身障者4級で、兵庫区まで通院している。玉津の住宅に仮当選したが、妻の通院に不便（8時以後バスは1時間1本）なので、どうしようか迷っている。車がある人はいいが…。（60歳、2人暮らし、担当：野中、武内）

・兵庫区の喫茶店でパート勤務（2～3時間）。あとは主人の遺族年金で生活している。震災前から喘息持ち。仮設に来て胃潰瘍になった（ポリープが2つある）。ここでのストレスからだと思う。人付き合いは苦手なので、ふれあいセンターには行かない。住宅が当たって欲しい。それが望み。（62歳女性、一人暮らし、担当：野中、武内）

・仮設内で自転車走行中に倒れ、左肩骨折。健康保険に入っていなかったのが医者に行かなかった。後遺症か、今でも重い物を持つと痛む。こんな身体だし、年なので仕事もない。妻が寿司屋の店長をして、生計を立てている。10月頃転居予定（←引っ越しボランティアの案内チラシを渡す）。（56歳、2人暮らし、担当：野中、武内）

・公営住宅は5回申し込んだが、全て外れた。ここは「自然が多く、空気もいい」が…かつて住んでいた長田にある公営住宅に申し込む事を親子で相談中だ。息子（46歳）は失業中。（74歳、2人暮らし、担当：中野、木原）

・高血圧・心臓・腰等を患い、毎日通院している。若い頃仕事（左官業）で無理をし、腰を痛めていたが、震災時ベッドから床に放り出され、仕事も出来ないほどに悪化した。生きているのが嫌になり、自殺しようとした事もあった。今は何とかやっている。（48歳、2人暮らし、担当：猪上、川口、白戸）

・震災で両親を失い、焼け出されて兄弟2人でここに来た。兄は仕事をしているが、私は喘息で通院中。仕事が出来ない。（40歳、2人暮らし、担当：猪上、白戸）

・95年8月から息子の妻と娘は里へ帰ったままで、離婚届を送ってきた。息子は96年夏、借金を残し失踪。全く連絡なし。自営業だったため、年金など一切ない。妻が契約社員で働き、その給料で生活している。夫…腰痛・ヘルニア・高血圧で働けない。2週間に1回の通院代（2,600円）が辛い。4月に引っ越し予定。だが金に余裕がない（←「市民版ひっこし」に相談するよう勧めた）。孫（兄）を引き取り、育てている。（60歳、3人暮らし、担当：東條）

・話し相手が欲しくて仕方がない。5月2日、名谷駅近くの公営住宅に転居するが、訪ねに来て欲しい。また転居が決まった事は良いが、照明・寝具等に費用がかかるので、とにかく公的補償が早く出る事を切望している。生活保護を受けている。（担当者のコメント：戸口で「ボランティアです」と言ったとたん、「中に入って」とすぐに声をかけられた。今日を楽しみにしていたそうです（昨年2月の訪問を覚えていたとの事）。とてもお話好きで明るく前向きな方ですが、仮設内ではあまり人付き合いはないそうです。しかし「一人暮らしは寂しく、話し相手が欲しい」と言われたのがとても印象に残りました。またダンスやカラオケ等の集いの場があれば本人の充実した生活の助けになるのではと感じた。）（76歳男性、一人暮らし、担当：清重（智）、三浦）

・保育専門学校に通っている孫と一緒に暮らしている。口では「年代が違うので話が合わないし、テレビも取り合いになる」と言っているが、うまくいっているようだ。来週名谷に転居する予定との事。（73歳、2人暮らし、担当：盛本、大前、藤丸）

・週2回人工透析する為、川崎病院まで通っている。ただ病院が遠い為、娘に頼らざるを得ない。顔色はとても良かったが、足が非常に悪く、杖をつかれての歩行であった。（78歳、2人暮らし、担当：矢野、新野、藤村）

・胃潰瘍・十二指腸潰瘍。酒と煙草が止められず、食欲がほとんどない。食べる努力はしているが……。一緒に食事をする相手がいないので、酒と牛乳そして病院からもらう栄養剤で毎日過ごしている（体重36kg）。長い間親しくしていた友人が昨年9月に亡くなった。それまでお互いに体が弱いので、安否確認をしあっていた。彼が亡くなり、がっくりきた。せめて彼の一周忌までは生きたいと思う。24日に公営住宅に転居する。近所に仕事の後輩が住んでいるので、落ち着けば連絡を取るつもり。一人でいると気が滅入る。話し相手さえいれば、元気が出るのだが。（60代男性、一人暮らし、担当：原田、清重（直））

・1月に腰を痛め入院。今日退院してきた。でも完治した訳ではない。住宅は次回の抽選に申し込む予定。ケアライン119は取り付けていない（←仮設支援ニュースを使って説明し、申し込んでみるように勧めた）。買い物は仮設に来る移動販売車を利用していた（←今も来ているか調べたところ、月・水・金と来ているとの事。しかし、人数の少なくなった仮設（50人を切ると）には来なくなっているという）。（80代女性、一人暮らし、担当：大前、盛本）

・月1回の寄り合いに参加。近所付き合いはあまりないが、以前住んでいた中央区の友達が遊

びに来てくれる。膝痛と眼科（中央区）に通院中。前にいたところに戻りたいが、なかなか当たらない。（70歳、一人暮らし？、担当：横野、松宮）

・前回…糖尿病・ノイローゼ（障害2級）。現在も神経科の医者にかかっている。身内もなく、寂しい思いをされている様子。

先週訪問時、連絡先を伝えておいたところ、17日電話が入った。訪問すると現在も2カ所の病院に通院中に出費大。年金は8万円。死にたい…と言われた。自分も一人暮らしなので、色々話し勇気づけた。また区役所へ相談に2人で行く事にした。（69歳女性、一人暮らし、担当：仁井田）

・《経過報告》4月4日留守訪問（藤村、竹北、中）…痴呆症でご近所の方々が面倒を見られているが、耳が遠く横になっている事が多い。また電気調理器にやかんをかけっ放しの事が多く、壁には大きく焦げた跡が残っていた。4月16日区役所に連絡…支援シートを送り、状況を説明したところ、ご近所からも苦情が出ていたので訪問したが会えなかったとの事。再度、ご近所で詳しく話を聞いて欲しいと依頼する。4月20日訪問予定との事。4月22日区役所より連絡有り…姪・甥が来られ、4月20日に大阪の病院へ入院となりました。下血もあるようです。今後の対応については甥と検討する事になっています。犬の対応も致しました。ありがとうございました。

4月25日

・夫が脳卒中で倒れ、入院していた事があるが、やはり2人だと気が紛れるし、夫婦で居るのはいい。眠れない。朝4時頃目が覚めると家の事を考えてしまう（ノイローゼになる）。仮設にいと精神的・肉体的に参ってしまい、もうボロボロだ。ここは夜で歩くのも怖いくらい真っ暗。今回、東灘区の（住宅）募集が少ない。帰りたいのに……。（67歳、2人暮らし、担当：坂口、盛本、加藤）

・公営住宅の抽選をテレビで見たが、とりあえず目隠しをし行っているようだが、抽選前に封を開けてしまうのはおかしい！事前に対象者をハネているのでは？。それが証拠に、仮設に市職員やOBがおらへんやん！おかしい！市職員は頭から「元の所には帰れません！」と言い切る。以前住んでいた所に住みたい。突飛なところに行ったら不安だ。最近も自殺者が出たし……。市の職員にいろんな疑問をぶつけても、答えは返ってこない。「実際こういう経験をしてないから分からへんのやろ！」（72歳、2人暮らし、担当：三浦、長船、壺見）

・靴関係の仕事をしていたが、いじめにあって辞めた。震災直後は人の温かみを感じたが、その後冷たくなったと思う。むしろ震災前の方が人の優しさがあったのでは……。（?歳、2人暮らし、担当：林、益子、青木）

・膝と腰が悪い上、骨が脆くなっているのでアルバイト（大学教員の宿泊施設）を辞めるように言われている。でも人と接する事が出来るから辞めたくない。土・日と仕事を休んただけで気持ちが沈んでしまう。これが毎日になったら気が狂いそうだ。友達から「いつまで仮設におけるの？」と言われた。“ただ”で住んでいるからお金がたまると思っているらしい……。住宅が当たらず、先が見えないからイライラする。（担当者のコメント：土・日と家に居るだけで、気が滅入るそうなので、お話訪問の必要があると思う。）（67歳女性、一人暮らし、担当：林、益子、青木）

・被災時、かなり離れた南側が燃えており消防車が来たので、うちは大丈夫と貴重品だけ持つ

て避難していた。しばらくして戻ってみると家が燃えていたのはショックだった。次男は生きのまま焼けたり、亡くなった友達が多かったので、その後1ヶ月位かなり落ち込んでいた。自宅を再建したいが、区画整理地域になっており、また夫（トラックの運転手）の収入が一定しておらず、子供もこれから何年もお金がかかるので、現状では無理。公営住宅にはまだ当たらない。子供（2人）の通学費用（3万円）を考えると、これ以上遠い郊外の公営には移れない。このところ、夫の仕事そのものがかなり減ってきている。まして来月の仕事が全然決まっていないので、少し不安である。（担当者のコメント：震災直後の立ち直りの遅れと、3年間という期間の長さを思い知らされた気がした。）（40代、4人暮らし、担当：加藤（純）、坂口、盛本）

・避難所で転び脊髄を痛めた為、左足が悪くなり立てない。リハビリと電気治療に行っている。医者は治ると言うが、急には良くなる。胃潰瘍で胃を全部摘出し、震災当日は入院中だった。胃ガンの方が良かった。楽な所（死ぬ）に行けるから……。体重は49kg。骨の上に皮膚が乗っているようなもの。ヘルパー（買い物・通院・介助・掃除・洗濯）・配食サービス・デイサービスを受けている。住宅は長田を申し込んでいるが当たらない。（担当者のコメント：「今は死ぬのを待っているようなもの」等と悲観的な事を口にされていたが「バチが当たるか、家が当たるか」と冗談も言われ、まだ何とか大丈夫かなという感じを受けた。酒・煙草を勧められたが…特に酒を一緒に飲んで欲しそうだった。）（75歳男性、一人暮らし、担当：山本（由）、赤西、矢萩）

・6匹のネコを飼っており、4匹の里親（餌代を出してもいい）を熱望！。公営住宅に当選しても6匹も連れていけないので、困っている（いまだ当選していないが…）。三宮でピラ配り（5千円）をしているが餌代で消える。（54歳女性、一人暮らし、担当：白岩、三浦、大前）

・ここは最寄りの駅まで徒歩25分（片道）もかかるのに、バスがないので不満。西代の病院に震災前より通院しており、遠くて大変だ。避難所で知り合った教会関係の2人の方が、週1回買い物と風呂に連れていってくれる事が、生活上の大きな助けになっている。公営住宅はまだ当選していない。（担当者のコメント：ふれあいセンターで切り抜き絵（月4回）と三角帽子（月1回）の趣味サークルに常時出でおられ、見事な作品（壁一面）で、ご本人も楽しんでいる様子でした。）（77歳女性、一人暮らし、担当：白岩、三浦、大前）

・来年5月に垂水の公営住宅に入居予定。だが「今度入居する所は、電車が通っていないので不便。バスはあるけど、車酔いするので嫌だ」と怒っておられた。また「この棟は私一人なので寂しい。あと1年も居るのは長い。とにかく早く仮設から出たい」と何度も話されていた。ふれあいセンターにはよく行く。第3月曜日には誕生会が開かれるらしい。また「貼り絵」をしていたが、最近目が見えにくくなってきたので控えているとの事。十二指腸を患っており『ストレスをためるな』と医者は言うが、神経使うことばかりだと怒り、嘆いていらした。（担当者のコメント：今日配られた応援の言葉付きの花の種を「あと一年育ててあげてください」と渡した。）（54歳女性、一人暮らし、担当：仁井田、砂田、藤丸）

・5月に引っ越し予定。まだ鍵はもらっていないので中を見ていないが、希望通りの場所なので満足している。元の場所に戻るの嬉しいが、住んでいた場所は駐車場になっており、仲間がバラバラになってしまった。でもスーパーは2つあるし、駅から歩いて10分。近所の人に聞いても希望通りの場所に当選しないそうである。幸運だ。今日は兵庫のリレーカーニバルに出席した。今も10kmぐらいなら走れる。毎日9時に起きて5時に寝る生活。年金生活。

(68歳男性、一人暮らし、担当：白岩、三浦、大前)

・ホンマに全壊になって公営住宅に入りたくて困っている人がおれば、要領をかまし実際は他に住居があるのに、公営に当選する。いろんな奴がいる。物資の横流しとかひどい事を、避難所でいくらでも見てきた。生活保護もらったら、人間終わりだ。年取ったり、病気でしゃあない人は別やけど……。10月入居予定。(47歳男性、一人暮らし、担当：長船、壺見、三浦、佐沢)

・字の読み書きが出来ない。住宅の申し込みを自分で書いたが、○をただけ。8月には板宿へ。駅から近く便利らしいが、板宿がどんな所かよく知らない。心臓病で中央区の病院へ月一回通っている。生活保護を受けている。(61歳男性、一人暮らし、担当：三浦、長船、壺見)

・夫は足・心臓が悪く、一日テレビを見て過ごしている。すぐ横になりたがり、それほど外出できない。病院に通うにも「足」がない。学園都市に住む息子が車で送ってくれる事もあるが、タクシーを使うと千円はかかる。公営住宅は夫の事もあり、エレベーターが必要。公営の入居マニュアルに地図(近くに商店があるか等…)を乗せた方が参考になる。(←前回各仮設ごとに、地図が配布されたが、印刷が悪く読み取りにくかった。)(74歳、2人暮らし、担当：清重(直)、高橋、岡田)

・血糖値が高く、食事に気をつけている。体調が悪いので今は働いていない。公営住宅に移り落ち着いたら、また働きたい。そうなったら、従兄弟の家にいる母と一緒に暮らすつもり。(40歳男性、一人暮らし、担当：清重(直)、高橋、岡田)

・足に石がたまり、手術をした(予約が一杯で、手術するまで6ヶ月待った)。毎週通院しているが、人が多くかなり時間がかかるので辛い。トイレと洗面(風呂は入らない)くらいしか使わないのに水道代が5千円もかかり、区役所の人と3回くらいケンカしたが、聞き入れてもらえなかった。一度、耳鳴りがして止まらなくなり、救急車で運んでもらった事がある。だが飲み薬をもらっただけで、家に帰っても耳鳴りがしていたが…耳からミミズのようなものが落ち、止まった。それ以来、新聞紙を畳の隙間に入れて、虫が上がってこないようにしている。一人でいると、3ヶ月くらい何も喋らない事がよくある。(？歳男性、一人暮らし、担当：林、益子、青木)

・「公営住宅、今度落選したらどうすればいいのか…」と、何度も言われていた(←ふれあいセンターでの住宅募集説明会の時に相談するよう伝えた)。年金65,000円。年金だけでは食べていけないから、アルバイトがしたい。でも、お金のかかるところまでは行きたくないと言われた。震災直後、避難所では寝る場所もなかった。家が気になり戻っている間に、居る場所もなくなり仕方なく壊れた家に柱を立て、そこで寝たとの事。「公営住宅に外れるごとに地獄に堕ちていく感じ……。人間誰しも入りたいたいところに行きたい。その都度落とされるから強風やで……。なんやったら、一生この仮設に居させてくれ」。冗談まじりに言われていたが目は真剣。大変辛そうだった。(67歳、2人暮らし、担当：仁井田、砂田、藤丸)

・前回訪問時(97年3月)…「アルコール依存症」で肝臓病と糖尿病を患い、断酒会に行っても帰って来てから飲むという具合だった。一時期かなり病状が進む。

震災で仕事も住む所もなくしたのをきっかけに、量が増え依存症になった。散歩中つい自販機のワンカップに手が出てしまい、コタツの中に隠しているのを友人に見つかり、注意される事も度々あった。昨年暮れアルコールと縁を切った。「友人からの再三の叱責と助言があつてこそだ」。今は週一回通院し、血糖値の自己管理(インシュリン使用)と断酒会に週3回通つ

ている。また毎日、お互いの家どちらかに通い合い、食事量を計算して料理を作っている。(担当者のコメント：友人は毎日数時間のリハビリに通わなければならないので、市街地を希望されている。本人は西神南に当選しており、距離が少し離れるのが気になるが、断酒会へ積極的に参加しているので、心配ないと思う。アルコールを止めるのは最終的に自分の意志力だろうが、真剣に自分の事を心配し、忠告してくれる人間の存在なしには決して実現しなかったと思う。改めて、本音で付き合える人間関係の素晴らしさが実感できた。)(59歳男性、一人暮らし、担当：加藤(純)、坂口、盛本)

(作成協力：羽田、丸笹、立花、亀井、青木、矢萩、赤西)

5月2日

・近所の老人と少々険悪な状態になっている。原因は老人が無断で仮設前の空き地を耕し、作物を植えた事から……。住宅局へ2回ほど苦情申告をしたが、老人は作物作りを止めないのでストレスが益々強くなっている。また住宅入居の見通しが立たないので、職探しもままならない。(担当者のコメント：早く仮設を出たいと思いつつ、色々な面で苛立ちを感じておられる様子。)(43歳男性、一人暮らし、担当：白岩、川口、浜本)

・家(半壊)は外装修理(260万円かかった)のみの状態で、ガス湯沸かし器は壊れているし、風呂がないので洗濯機を置いている所に風呂場を作るつもり。いくら位かかるだろうか?。仮設近くに150坪くらいの“畑”を作り、サツマイモ・ジャガイモ・ネギなどを植えている。収穫するとリュックに背負って板宿の近所の人に持って行く。仮設を出る時はその畑は放棄していくつもりだ。通院は2週間に1回で、朝夕薬を服用。三食自炊。予告ビラを見たので、背広を着てふれあいセンターで訪問を待っておられたとの事。(84歳男性、一人暮らし、担当：長船、小川、中野)

・非常緊急電話(ケアライン119)を付けたので万一の時心強い。以前はふれあいセンターでいろんな催し物があり楽しかったが、今は…余り行かなくなった。糖尿・高血圧である。外へ出る時は“杖”を使う。来年の6月、名谷の公営へ転居予定。(担当者のコメント：訪問するなり快く対応して下さった。室内は上手に工夫して使用されていて、手作りの動物の人形、折り鶴等飾っておられた。)(76歳女性、一人暮らし、担当：白岩、川口、浜本)

・被災時、マンションのエレベーター(暗闇)で缶詰状態になった。近所の方が大勢協力し、丸太等を利用して助けてくれたが、大ケガをしていた。母は幸いほとんどケガなし。雨の日の仮設は、周囲がヌカる。虫も怖い。また西区は光熱費・水道代が高つくので、頭が痛い。市役所に座り込んで要望を訴えたりしたが、何も通じない。公営も当たらず前途多難な状況です。(53歳、2人暮らし、担当：亀井、浦口、佐沢)

・市住の収入基準をわずかに超えていたので、公団に申し込んだらところすぐ当たった。5月半ば頃に契約。子供がウィルソン病(難病…治療費はかからない)で入院しているため、見舞いに行くのに交通費がかかる。昼間でも座れない地下鉄やし、ようけ儲けとるはずなのに、こんな高い地下鉄代では……。こんなことやから「株式会社神戸市」と言われるんや。(52歳、4人暮らし、担当：小川、長船、中野)

・胃ガンの手術をしたが後遺症か、年に数回腸閉塞になる。息子は避難所での食糧事情が悪かった事もあってか、震災後ずっと胃の調子が悪く、通院している。仕事もしていない為、収入

がない。私も国民年金を10年しか払えなかったので、年金がない。←(生活保護を勧めたが、「大丈夫」との事で、それ以上強く勧めなかった。)公営に当選(入居未定)。(担当者のコメント:悲観的な事を言いながら寂しそうに笑っていたのが印象的だった。「とにかく公営に当たってから出直す」と言っておられた。)(60代、2人暮らし、担当:川畑、猪上、矢萩)

・マンションを改修したが、地震でその時のローンは無駄になった。その上再建のローンである。板宿の方が物価が安いので買い物に行くことが多いが、重い物を持つと歩くのがきつい。年金証書がないので、中央区役所へ送ってもらうよう依頼したが、まだ届いていない。(76歳、2人暮らし、担当:小川、長船、中野)

・近所にまともな対応が出来ない人がいて困っている。自治会には協力せず、家の前で草抜きをしていると言いがかりをつけたり、夜中に壁を叩き、近所迷惑も甚だしい。あまりにもひどいので、警察・保健所・市にも相談したが、どうにもならない。来年10月に名谷のシルバーハイツに入居予定。(69歳女性、一人暮らし、担当:早田、小田(千)、盛本)

・子供の頃から耳が不自由で、補聴器をつけている。昔は耳が聞こえないのでよくいじめられたが、今は都合の悪い事を聞かなくてすむから楽天的でいられる。収入は年金で10万ほど。仕事をしたいが、この年では雇ってくれる所がない。←(「被災地仕事開発事業」に問い合わせた所、最高で64歳までとの事で断念する。)この地域が気に入っているので、公営は学園都市、名谷地域のみを希望している。引っ越しの際の荷造りを手伝ってくれるボランティアが欲しい。作業が結構しんどいので……。運送はあてがある。「かみひこうき」に手紙を書いたら、先日返事が来てとても嬉しかった。(68歳女性、一人暮らし、担当:赤西、小口、福井、矢萩)

・来年2月頃、転居予定。45歳の息子(独身)が元住んでいた長田で、住宅を再建し暮らしている。今の悩みは、独身の息子と同居するか、当たった公営に住むか……。息子が将来結婚する事を考えると、別に住んだ方がいいのではと遠慮してしまう。(61歳、2人暮らし、担当:小山、矢田、三浦)

・わずかな年金で生計を立てているので、震災まで楽しみであったテレビも買えない。今は読書とラジオで一日過ごしている。昨年兄を亡くし、兄弟もない一人ぼっちになった。とにかく住宅に当たって落ち着きたい。(69歳女性、一人暮らし、担当:西畑(稔)、矢野、田中)

・震災時、喫茶店を経営していたが、高齢で再建出来ず、更地のまま駐車場に貸している。元住んでいた灘区に兄弟・友人がいるので帰りたいと願っているが、なかなか当たらない。今まで自分の名で応募していたが、今回から息子の名で応募する。隣の人は、希望していない灘区に当選した。望んでいる人が当選しないで、市の選び方はどうなっているのかと思う。近所付き合いはない。息子の給与で生計を立てている。(74歳、2人暮らし、担当:西畑(稔)、矢野、田中)

・市営住宅に当選したが、「お金がなかったら何にも出来ん。家賃が2万円~もするからどうしようもない」。「連帯保証人がいないとお金は出せない」と言われたが、「誰も助けてくれないから自分でするしかない」。市役所に行って、何とかお金を出してもらえないか、今一度聞いてみる。県が出す仕事を明石の方でしている。しかし月に7~10日程の仕事で、3万5千~5万円にしかならず、収入に困っている。←県能力開発課の資料(再就職のための特別訓練…電気設備、自動車運転等、基礎的な技能の習得…園芸・ビルクリーニング等=全て無料)を次回訪問の時渡す。(52歳男性、一人暮らし、担当:武内、原口、藤丸)

・震災で一人娘を亡くす。しばらくは娘婿や孫と同居していたが、3回忌を待つて仮設に入居（今年2月）した。同居していた時は気を使い、精神的に窮屈な生活をしていたので痩せてしまったが、仮設に来て体重も増え、気分的にも楽になった。足が悪いのでバスに乗らない（ステップを上がるのが大変）。日に一回は近所の方と散歩している。（担当者のコメント：「子供は1人でなく、2～3人産んどけばよかった」としみじみ言われていたのが印象的だった。常に笑顔を絶やさず、同時に人に面倒をかけずに生きていくという意志の強さも言葉の端々から感じられた。）（73歳女性、一人暮らし、担当：早田、小田（千）、盛本）

・めまい・心筋梗塞で通院中。夫の遺族年金と働いていた時の厚生年金で生活している。公営は市街地ばかり申し込んで外れ続けている。昭和21年に高知で南海地震も経験した。二度も大地震に遭うなんて……。東京で大地震が起きたらすぐに公的援助をしていたはず。今回の法案も…100万円位もらって何が出来る！引っ越して必要な物品を買い揃えたらすぐなくなってしまう！（74歳女性、一人暮らし、担当：猪上、川畑、矢萩）

・中国人の母子家庭。娘（小学生）は、学校でいじめ（外国人という事で）にあたりしたが、強く生きている。私は震災前まで勤めていた会社がなくなり、また今も病弱な為、今は働いていない。公営には当選したが、入居は来年の5月。ここも空き家が多くなり、怖い（夜は真っ暗）。また、自分が倒れた時の事を考えると、大変不安だ。これから夏に向かい、毛虫が増えるので駆除の方法を教えて欲しい。←（駆除の器具と薬剤を西区が貸し出しているの、仮設毎に一斉散布する方法しかないです。）（担当者のコメント：娘さんが強い気持ちで、時にはお母さんをサポートしているところがあって、頼もしかった。）（29歳、2人暮らし、担当：祝、丸笹、井上、柳田、石田）

・何もかもなくしているのに、ローンだけが残った。おまけに利子が積まれていくから大変。返済のため週4回「洗い場」の仕事をしているが、月10万にもならない。一人暮らしだから自分が倒れたら収入の口がなくなるので、健康には気を使っている。しんどい時は駅から仮設までタクシーを使うが、運転手に「一区間だけだから歩いて行けよ！」とか「また仮設？」等と言われたので、「もう乗ったらへん！」と言い返した。特に冬になると、朝も晩も暗いし怖いからタクシーを使うのに、なんでそんなに言われなあかんねん！近頃では一つ手前の駅（名谷）で降りてタクシーに乗っている。（67歳女性、一人暮らし、担当：武内、原口、藤丸）

・震災の時、人を助け出せなかった事が歯がゆくて仕方なかった。何も出来なかった自分が辛い。ようやく公営に入る目途がついたから、この際震災の事はもう忘れたい。根掘り葉掘り聞くのは止めてくれ。これから住宅に移り、ゼロからの出発をしたいんや。神戸市に言いたい事は沢山あるが、言ってもどうにもならん。仮設は…みんなずるい考え方をしている。閉じこもっていたら、誰かが助けてくれるやろうと思って甘えてる。ボランティアも何年かしたら「ほんの少し、ボランティアしてたなあ」で終わってしまうだろう。人間は誰も救ってくれない。自分の尻を拭くのは自分なんやから……。本当に必要としている人には、表面上の救援ではなく、自立出来るような支援をして欲しい。（58歳、2人暮らし、担当：ワイシャリ、丸山、青木）

・今週月曜から弟の所におり、金曜に帰ってきたら自転車被盗まれていた。中古自転車（5,000円まで）があれば欲しいので情報を教えて！仮設内の人間関係に嫌気がさしている。誰がどこの公営に当たったかを言いふらす人や、仮当選している私に「まだ出ていかないの」などと言う人もいる。震災前は人間関係の煩わしさが無いマンションだったので余計に神経が参

っている。(担当者のコメント:ポストから郵便物が盗まれたりするので、局留めをしているとの事。治安等の問題でかなりピリピリされていた。)(69歳女性、一人暮らし、担当:藤村、益子、小田)

・震災直後、炊き出しをしていた頃の自分が一番元気だったと思う。それでも全壊した家を解体する時、大切にしていたものがもう帰って来ないと思い、体を悪くした事があった。ここに来た頃、野良ネコがカラスにつつかれ、怪我していた。誰も病院に連れていかず、カンパもしてくれなかったので主人が面倒を見たが、ネコは2日間涙を流していた。何につけみんな自分の事しか考えず、誰も協力してくれない。皆、震災に遭ってから人間不信になり、心の病に罹ってしまっている。若い人が来てくれると孫と接しているようで心が安らぐ。月1回でもいいから、どんどんボランティアに来て欲しい。(7歳、2人暮らし、担当:藤村、青木)

・前回訪問時…夫婦で自営業(油絞り)をしている。何回申し込んでも住宅が当たらず頭に来ている。

住宅抽選の時、市は封筒を事前に開けているのでは…市議員が手を回して当落を決めているんじゃないか?。露天で椿油を売っている為、定収入がない。月4、5回決まった場所に店を出すのが車の免許がないので、公営は遠い所だと困る。仮設内でいろいろな事があったが、言い合いをした人も、引っ越す時は挨拶をして出ていく。震災以来、集団生活の中で人と人とのつながりを学んだ。そう思わないとやっていられない……。だが仮設では周囲の人と協力していかなければ何も出来ないし、一人ではどうにもならないのも事実だ。(65歳、2人暮らし、担当:藤井、小田、小林)

・前回訪問時…自転車で通院をと思ったが、医者から転ぶからだめだと言われた。医者に注射で死なせて欲しいと言った事がある。

月2回かかりつけの医者(湊川)に通院している。娘もその近くの公営住宅に居り、ここまで毎週おかずを持って来てくれる。湊川に帰りたい。買い物に行くのもここは遠い。隣は朝早く出て帰るも遅いのでほとんど顔を合わすこともなく、仮設には親しい人がいない。部屋の隅から雨漏りがし雨音もひどい。ドアからすき間風も入ってくる。冬はコタツの上に布団を被せてもぐり込むが、それでも寒い。一刻も早く恒久住宅が欲しい。(88歳男性、一人暮らし、担当:藤井、小田、小林)

・前回訪問時…震災前から喘息持ちで、仮設でのストレスから胃潰瘍に。人付き合いが苦手。

不眠の時があり、精神安定剤を服用している。ノイローゼでは…と思う事もある。仮設は湿気が多くカビだらけ。「息を引き取る時は、虫がわかんうちに見つけてくれ」とだけ思う。毎朝4時半に起き、5時半の電車に乗って、湊川まで勤めに行っている(2~3時間のパート)。(62歳女性、一人暮らし、担当:小田、益子)

・前回訪問時…高血圧・心臓・腰を患い毎日通院。自殺しようと思った事も。

コルセットをはめての生活。寝る時は外すが、起きる時がしんどい。血圧は薬で抑えているが、以前薬を止めた時、息が出来なくなり救急車で運ばれた事も……。また手のひらと足の裏に斑点状のできもの(薬の副作用?)があり痛い。4つの病院に通い、薬漬けの状態。前の仕事(左官)への情熱はあるが…今の体ではどんな仕事も出来ない。知り合いもなく寂しい。左官の仲間がいる元の場所に戻りたいが、当選しやすい場所を申し込むつもりだ……。内縁の妻はビル清掃をしているが、仕事は週3日程度しかない。(48歳、2人暮らし、担当:小山、三浦、矢田)

(作成協力：岡本、亀井、丸笹、青木、赤西、矢萩)

5月9日

・全壊・半壊だけで物事が進められている。私達のように一部損壊の証明しかもらえない者は、住宅にしても思うように申し込みも出来ず、大変困りました。(注：被災者向け公営は全半壊のみ。一部損壊は一般向けしか申し込めない)。実際は全壊なのに、余りの矛盾に生きるのも嫌になる時があったが、子供の事を思うとそうも言っておれず今日まで頑張ってきました。しかし仮設では体調も優れず、去年の10月からは仕事もなく困っている日々……。若ければそれなりの仕事もあるのですが……。50半ばで世間の厳しさを思い知らされました。この不安を消す為、また時間もあるので少しでも役に立てばと思い、4月からボランティアに参加しています。国民年金を20歳からかけてきたが、何年かければ支給されるのか教えて下さい。(本人自筆)

震災前はパーマ店と喫茶店を経営していた。実際は全壊なのだが、証明する物がなく、一部損壊と判定される。今はボランティアで仮設住民の散髪をしたり、老人宅(煙草の消し忘れ等が怖い)を日に何度も訪問している。息子(高校生)の通学を考慮して住宅を申し込んでいるが、なかなか当たらない。5月30日の週末ボランティアに参加希望(←東條氏の携帯に電話するよう伝える。その時、国民年金についての説明をする予定)。(56歳、2人暮らし、担当：小波本、堀)

・爪に火を灯すようにして…退職金でようやく家を建てたのに、全壊になってしまい家からは何も取り出す事さえ出来なかった。年をとっているから、お金も貸してもらえない。借家と持ち家と区別したらあかんのかもしれないけど、少しは区別をして補償して欲しい。同じ境遇の人がここにいるので、心は紛れるが、震災を通して、人というものを知った。自分自身もひがんだり、イライラしたりして情けなく……友人を失ったりもした。余計助け合わないといけないのに……。この仮設から移転した人が、時折またここへ遊びに来て、なんだか人間関係が変になる事がある。夫婦でケンカする事もあるが、しかしこれからも永いので、2人でゆっくり生きていきたい。(71歳、2人暮らし、担当：小波本、堀)

・肝臓・目が悪い。時々、低血糖になって動けなくなったりする。兄弟が広島にいるが、滅多に帰れない。子供もいたが、離婚しているので連絡はない。10月、上沢の市住に引越予定。

(担当者のコメント：想像してたよりも、現実にさらされている被災者の方達を見て、私の考えは甘かったなあと思った。)(72歳、2人暮らし、担当：藤丸、大倉)

・戦争中、空襲で背中におんぶしていた子供を亡くしたのが忘れられない。戦争や震災でたくさんの方の身内を失った。だから…生きているものを大切にしたい。(？歳、2人暮らし、担当：金田、岡本)

元住んでいた大田町(須磨区)の病院まで通っている。先日帰り道で転び、顔にケガをした(とても痛そうだった)。住宅は大田町か名谷に申し込んでいるが、まだ当たっていない。昨年夫が亡くなり、今は一人暮らし。(担当者のコメント：「いつでもコーヒー入れたるから、あそびにおいで！みんな出ていってしまうからさみしいねん」と……。またあそびにいきたいです。)

(81歳女性、一人暮らし、担当：金田、岡本)

・震災当時(長田で被災)は、1時間以上生き埋めになり、必死に声を出して助けてもらった。現在はハリハリに通う毎日(足に水が溜まったりして)。仮設での対人関係は難しい。だが、

近所（仮設内）で葬儀が続いた時は辛かった。特に2軒隣の気に掛けていたおじいさんが亡くなっているのを見つけた時は、涙が止まらなかった。人は一人では生きていけないものだ。（?歳男性、一人暮らし、担当：藤村、益子）

・今最も希望するのは福祉の充実と公的支援金の一刻も早い支給だ。「この事はぜひ声を大にして訴えて欲しい」。喘息の持病があり、約4ヶ月入院した事がある。仮設で発作を起こし、救急車で運ばれた事も。発作止めの薬（3種類）を常備しているが効かない時がある。見掛けはどこも悪くないと言われるが……。住宅はあくまでも兵庫区（知り合いが多いので）を希望。今度兵庫区の自治会での会合で、3年間の仮設生活について話す予定。隣家とは気まずいことがあり仲違いしている。他の人とはうまくやっているが……。（69歳男性、一人暮らし、担当：井手上、矢萩）

・前回訪問…歩くのに杖が必要。

脳梗塞で週2回、湊川の病院に通っている。住宅は新築を応募しているので、なかなか当たらない。自分の好きな便利な所へ行きたいのだが。近所はもうたったの2軒だけ。安否確認の電話はあるが、民生委員も来なくなってしまった。だが、テレビの音を遠慮なく大きくかけられるのが、唯一いい事だ。（79歳女性、一人暮らし、担当：町野、矢野）

・前回訪問…日が経つにつれ、心の苛立ちと焦りが交互にやってきて、夜中眠れない時など、死を持って抗議したくなる時がある。

住宅は一部損壊（大家が立て替える予定のところへ震災。いい機会とばかりに取り壊された）。5次募集は本当に行きたい所ではないが申し込んだ。いい加減妥協しないと。市の職員は回ってくるが、本当に親身になって考えてくれているとは思わない。行政は信用出来ない。一部損壊では被災者扱いされず、元に戻れなくなった人も多いはず。今後の教訓として生かして欲しい。子供はいるが、気を使ってまで世話になりたくない。一人の方が気楽……。 （76歳女性、一人暮らし、担当：井手上、矢萩）

・前回訪問…心臓が悪い。

足が関節炎で歩きにくい。震災1年前にペースメーカーを入れた。PHSや携帯電話のある所には行かない。それでも近所の草取りには参加している。ペースメーカーの電池を7年に一度交換する為、あと一年したら手術しなければならない。ちょっと怖いが仕方ない。ケアラインあり。（67歳女性、一人暮らし、担当：町野、矢野）

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。

4月の住宅募集は、役所の人間に新築は無理と言われ、名谷～西神中央の空き家を勧められた。それも当たるか分からない。福祉を受給。ギックリ腰・脱腸。力を入れると脱腸するので、車を引いて買い物している。昼の隙間からナメクジが出てくる。頭がボケないように、思い出した事をノートに書いている。（71歳男性、一人暮らし、担当：町野、矢野）

・前回訪問…足・腰・脳と悪い。3回も被災した。新しくスタートするには体力的・精神的に限界だ。

政治が悪い！。銀行に金やって、被災者に100万なんてひどい。大正生まれの我々は、水害・戦災・震災と3回も被害を受けてきた。戦後、今日の繁栄を我々が作ってきたのに、我々をほっぽり出している。若い人達がしっかりしていないので、こんなに政治が悪くなるのだ。近くに孫が住んでいるが、仮設へは全然来ない。新しい住宅は決まっていない。（73歳女性、一人暮らし、担当：町野、矢野）

・前回訪問…目・心臓が悪く、糖尿・高血圧。3回死にそうになった事がある。長崎での被爆。高血圧で意識不明。震災で焼け出された。

震災時の後遺症（やけど）で下半身の血行が悪く、いつも厚手の靴下をはいている。左目を失明し、人の顔は輪郭が分かる程度。震災直後はベッドの空きがなく、須磨区の病院にかつぎ込まれたが、薬が合わず待遇も悪かった。今は震災前から通院してる病院なので安心している。老後は年金で好きなように暮らすつもりが、震災で台無しになり、目が見えなくなるわ、病気に色々かかるわで、いっそ地震で死んだ方が良かったと思う事がある。自殺も考えたが、娘等の事を考えるとそれは出来ない。仮設では家の中の様々な音で気分が落ち着かない。長崎での被爆が元で夫と2人の息子を亡くす。今までは夢の中で夫や息子が出てきたが、最近は起きている時でも姿を見るようになった。たぶん自分を見守っていてくれるのだろう。西明石にいる長女が勤め帰りに寄って家事をしてくれる。（担当者のコメント：ケアライン119を勧めたが、目が不自由なので誤操作するおそれがあり必要ないとの事。）（77歳女性、一人暮らし、担当：浜本、盛本）

・今回訪問すると、工事の車がたくさん止まっていた。仮設の方にお話を伺うと、2～3日前から住んでいない住宅の取り壊しを始めたとの事。早く分解して中国等へ送る為だそうです。

（担当：堀内、川端）

・前回訪問…解体証明書がないので、公営の入居資格がない。

市にありのままを話したら、判ってもらえた。桜ヶ丘の空き家に入居が決定し、5月には引っ越せる予定。とても嬉しい。（72歳、2人暮らし、担当：田中、吉田、川端、竹森）

・前回訪問…働いていないとの事。生活が苦しい。

以前は造船の仕事をしていたが、辞めて8ヶ月間家に居る。預金で生活している。←生活保護の説明をした。アルコール中毒の様。引き続きのケアをする予定。（54歳男性、一人暮らし、担当：川端、田中、吉田、竹森、高山）

（作成協力：羽田・岡本・亀井・青木・赤西・矢菽）

5月16日

・大学生の息子は、アルバイト・就職活動・勉強と大変である。私は高血圧・十二指腸潰瘍の持病があるが、2～3時間のパートに出ている。これ以上悪くなる事はないだろう。暖かくなってくると、このあたりでシンナーを吸うグループ（5～6人）がたむろするので怖い。また近所の犬が、花や外に置いてある洗車用スポンジをかみ切ったりして困っているが、苦情も言えず、人間関係の難しさを感じる。笹山市長は何もしない。神戸空港など作らずに、被災者にお金を回して欲しい。（?歳、2人暮らし、担当：瀬戸、金平、木原、中澤）

・公営住宅は、地元への申し込みをしなかった。当時の恐怖を思い出すのと…震災時の物資配給の際、人間の「きたなさ」にうんざりしたから……。会長などが不在だったので、お餅配り（年末、仮設内で）を進んでやったところ、別の人から「出しゃばりすぎ」と言われた。人間関係の難しさを感じ、以後そういう役には参加しないようにしている。孤独死など出ないように、声掛けをするようにしている。今困っている事は「お金」。公営住宅が当たっても、家具を揃えたりするのに100万ほど必要になるのでは…と思う。（39歳、3人暮らし、担当：瀬戸、金平、木原、中澤）

・96年8月訪問…金をもらおうと酒とボートに使ってしまう。市が「生活保護を打ち切る」というので、「ここで死ぬだけや」と言ってやった。その後、金を何度かに分けて渡される。仕事がないから飲むんや。仕事さえあったら……。

仮設に来て1年くらいは土木作業の仕事に出ていたが、腰を悪くし、現場から直接病院へ運ばれた。重機の免許はあるが自動車の免許がなく、仕事場へ通えないので兵庫区の住宅を希望している。ここに居たら苦しい。医者に行くと「酒を飲んでくるな」と言われる。(担当者のコメント:「今日は5時までだな」と言いながら、お茶や煎餅でもてなしてくれた。血液・尿・便の検査を受けているらしいが、飲酒が過ぎる。酔っぱらっていて、話は支離滅裂。訪問中、酒を買いに行かされたりもした。その割に部屋はきちんと整理してある。掃除は2, 3日に1回やっているそうだ。)(49歳男性、一人暮らし、担当:町野、藤村、小林)

・内職で服の仕立てをして暮らしていたが、震災で足を痛めた為、やめてしまった。娘や息子が近くに住んでいて、色々世話を焼いてくれる。またコープや婦人会のボランティアの人達が、月に1, 2回程度顔を見せてくれる。公営住宅は一度当選したが、人を介して応募した為エレベーターのない所になってしまい、キャンセルした。今回は伊川谷地区(有瀬)に申し込んだ。「長田区に戻りたいが、昔からの知人もみんなバラバラになり、帰っても寂しい。一人では病気の時にも困るから……」。(91歳女性、一人暮らし、担当:藤丸、川口、井手上)

・13歳の娘と2人暮らし。震災半年前に胃ガンの手術をしたが、仮設住宅に移転してから、買い物途中で何度も発作を起こし倒れた。物価が高いし、自転車での移動も坂が多くて辛い。またバスの便が少なく、タクシーで移動するのもお金がかかる。ムカデやナメクジ、ゴキブリ、色々なものが部屋の中に出てくる。虫の駆除をするのにも薬代がかかるので困っている。夏の暑さ、冬の寒さも非常に厳しい。少しでも住宅に工夫してくれれば、光熱費もかからなくて済むと思うのだが……。(?歳、2人暮らし、担当:亀井、佐沢)

・身障者5級。子供の頃から両手親指が不自由。幼年時(戦争中)、栄養が十分でなかったせいもあるだろうと思う。調理の仕事をしていたが、震災後上司から辞めるように言われ、嫌気がさして辞めた。その後、市福祉課から紹介があり、県の障害者高等技術学院に通ったが…出来る仕事なかった。今は生活保護を受けている。民生委員はほとんど来ないし、電話も滅多にかかって来ない。公営は垂水に当選(近日中に書類を持っていく)。一人でいると酒を飲み過ぎてしまうので、気を付けているつもりだが……。もうこの年では…仕事もない。(担当者のコメント:働く気を失っているようなので、「住宅に入居したら気分を変えて出直せますよ」と励ましたが……。)(56歳男性、一人暮らし、担当:杉岡、矢萩)

・エレベーターのある公営は家賃が高くなる為、ないところを申し込んだら、当たった。だが5階で、86歳の母にはどうも無理だったので辞退した。今回は東灘区の、1, 2階が空く見込みがあるという住宅を申し込んだ。初め仮設に来た時は辛かったが、今は西区にも慣れた。今度当たらなかつたら、この辺に住もうと思っている。でも東灘に帰れるものなら帰りたいのだが……。(50歳、2人暮らし、担当:長船、佐藤(由))

・夫は建設会社で現場監督をしていたが、突然解雇された。失業保険のみで、他は何も保障がない(退職金もなし)。今は仕事探しをする毎日。年齢制限が就労を厳しくしている。免許はたくさんあるけど、なかなか仕事に就けない。「働けるうちは仕事をしたい。だから生活保護は受けたくない」と言っているが……。私は灘区まで、縫製関係のパート(時給720円)に行っている。若い同僚達との関係が難しくしんどいが、夫が失業中なのでがんばるしかない。

食べていくのが精一杯。気が焦るばかり。家が当たったら当たったでどうしようと思うし……。住宅は申し込み中。子供なし。(46歳、2人暮らし、担当：長船、佐藤(由))

・難聴。ノックされても分からないので、人影に注意するようにしている。4月から入退院の繰り返し(週末になると必ず熱が40度ぐらまで上がる)。昨年までは畑で物を作っていたが、今はそんな元気もない。とにかく仮設を出たい。どこでもいいから公営に入りたい……。住民が少なくなって、ボランティアも以前ほど来てくれなくなった。話し相手がなくて寂しい。今日は来てくれて嬉しかった。(69歳女性、一人暮らし、担当：矢野、青木)

・公営は震災前に住んでいた魚崎(東灘区)を申し込んでいるが、当たらない。たとえ今回申し込んだ所が当たっても、平成12年3月まで入居を待たねばならない。週3回、老人会のお世話に魚崎へ出掛けるが、バス・地下鉄等乗り継いで片道2~3時間かかる。地下鉄は無料乗車証で安上がりになるが、連絡が悪いとJR利用になるので交通費が高つく。仮設からでは墓参りも大変だ。生活の拠点に、とにかく早く帰りたい。(75歳女性、一人暮らし、担当：矢野、青木)

・5月下旬に元住んでいた三宮へ引っ越すので、親戚と荷造り中だった。”脳卒中の恐れがある”ので近所や三宮の病院に通院している。今迄は昼間ボランティア(地元婦人会)の訪問があり毎晩長男も来てくれたが、引っ越すと昼は一人になるので不安(いつ発作が起きるかわからない)。洗濯をしていないと近所の人気が遣ってくれるし、近くの幼稚園児が「おばあちゃん！」と声を掛けてくれたので、仮設の暮らしは快適だった。(80代女性、一人暮らし、担当：藤丸、川口)

・足を悪くした為、鳶の仕事が出来ず、日雇いで土木工事をしている。今はなかなか仕事がない。明石まで朝早く行かなければ、仕事をもらえない。ここからは朝早いバスがないので、自転車を買って通っている。近ければもっと仕事が回ってくると思うのだが……。帰りは飲んで風呂に入って帰ってくる。昨年来肝臓を悪くしたので、飲酒を控えた(ほぼ完治)。気管支が悪く、少し喘息の気もあるので、タバコも止めた。年金・貯金がないので、健康には気を配っている。震災直後、働く人間を優先するような措置が必要だった。仮設入居も、仕事に便利な所へ住めるようにすれば、市にとってもっと活力になったと思うし、税収だって増えている。住民が本当に困っているのは何か、よく調査しないと……。 (62歳男性、?人暮らし、担当：猪上、遠山、盛本、岩崎)

・来年5月、ベルデ名谷(市営)に入居予定。仮設入居時は、毎朝10人くらい集まって近くの公園でラジオ体操し、その足で第二神明の方まで歩き回っていた。でも今ではみんな出ってしまったから、一人でラジオ体操だけしてるねん。やっぱり一人は寂しいからね。毎週水・土にカラオケをしにふれあいセンターへ行き、ストレスを発散させている。(72歳女性、一人暮らし、担当：藤丸、川口)

・仮設に入る時、もめた。「補充」という通知(1,000人の中から500人を選ぶ)が来たので、抽選と思ったら先着順だった。どこにもそんな事書いてないし、説明もなかった。市や県は仮設への移転の時もそうだったが、公営住宅への移転も単なる数あわせをしているだけで、住民の事を考えていない。ましてや復興住宅に空き室があるのに「一般用だから」とか「もう鍵渡しは済んでいるんだが……」とか言われる。神陵台の復興住宅などは7月入居可能なのに、5月15日締切の募集に載っていた。去年の10月募集に載せていいはずなのに……。私達を振り回している！。喜ばしたり、あわてさせたり、放り出したりと……。もうあきらめの

気持ちが強。「貸付制度があります」と公報に出してはいるが、実際借りに行ってみるとややこしい。行政は言う事とする事が全然違う。ええかっこばかり。(49歳、2人暮らし、担当：亀井)

・第4次募集で西区の公営住宅に当選した。部屋の下見に行ったところ、壁はボコボコ、汚いし、シャワーも付いていないなどひどい状態だった為、辞退した(築13年位)。第5次募集では垂水区の住宅を申し込んだ。(担当者のコメント：「仮設が狭いので……」と、ご主人は玄関前の道に車を止め、車内で雑誌を読んでおられた。)(40代、3人暮らし、担当：杉岡、矢萩)

・最近、室内でマットにつまずいて転倒し、2週間入院した。耳が遠く、足も痛いので何かと不自由している。入居当初はヘルパーさんを頼んでいたが、仕事ぶりに不満があり、その後申し込んでいない。今は隣家の方が掃除に来てくれているが、今夏引っ越される予定。私はいまだ公営住宅に当選していない。網戸が壊れている←ガムテープで応急処置をする。ケアライン119の説明をし、連絡するよう勧めた。：淡路島で被災した息子さんとは余り行き来がない様子。(80代女性、一人暮らし、担当：盛本、浜本)

★作成協力：羽田・亀井・岡・岡本・青木・赤西・寺野・盛本・矢萩

5月23日

・前回訪問…共同マンションを再建中。震災前にマンションを改修したローンがムダになった。梅雨の時期になると、虫がたくさん上がってきて困る。例年、害虫駆除を行っているが、今年は転出してしまった人が多く駆除を行える男手がないので、どうしたら良いのかわからない。(73歳女性、2人暮らし、担当：藤丸、柳田、留田)

・前回訪問…骨粗鬆症で足腰が痛む。

左目はほとんど見えない。最初の頃バランス感覚がなく苦労したが、今は大分慣れてきた。左耳が聞こえない(かなり大きな声でないとな内容を理解できない)。10月に転居予定。それまでに荷造りを手伝って下さる方がいれればと思う。自分でもボチボチやっていくが、足腰が悪いのでしゃがんだりの作業が出来ない。(78歳女性、一人暮らし、担当：天野、林、矢萩)

・前回訪問…耳が不自由・4月に退院(腰の骨折)したばかり。

波瀾万丈の人生だ。郷里(和歌山)に従弟がいたが、この間亡くなっただけ。いつでも帰ってこいと言ってくれ、いい人だったが……。自分は長生きしすぎた。戸口に人が来ても分からない。電話がかかってきても分からない。何とかして欲しい。←聴覚障害者信号装置の説明と、医者に書類を書いてもらい、区役所へ障害認定の申請をするよう話す予定。(担当者のコメント：耳元でゆっくり話せば通じるが、親族・近所とはつきあう気がないようだ。退院したばかりだというのに、脚立に立って豆球を替えようとするほど、気丈な方だ。←豆球の交換・クーラーの掃除をする。)(92歳女性、一人暮らし、担当：白岩、小林)

・前回訪問…喘息。

地震の瞬間、体が飛ばされたと思い…気がつくまで潰れた家の下敷きになっていた。全く身体は動かさず、あたりは真っ暗で何も見えない中、余震の地響きが聞こえていた。一緒にいた犬が鳴き続けたので助けられたが、その時の怖さは今でも忘れていない。戦争中戦闘機に狙い撃ちされそうになった事もあるが、この度の地震の方が怖かった。戦争の時はみんながあらかじめ

め危険と分かっている中での出来事だが、地震は何の前触れもなく、のんびりしているところにやってきた……。 (74歳女性、一人暮らし、担当：浦口、矢田、盛本)

・前回訪問…夫は高血圧・心臓が悪い。

夫は鬱病で、腰の手術をすれば、車椅子の生活になるのではと……。精神的に参っている。夜は安定剤を飲ませている。夫が自殺をしかけた事があるので、家を空ける事が出来ず、働きに行くのもままならない。地震さえなければ……。 (48歳、2人暮らし、担当：小波本、八木)

5月30日

・高血圧・心臓病。三宮に友人が多いので、よく出歩いている。それが体に良いのだろう。酒が好きで、家にいる時もかなり飲む。三宮に出ても又よく飲む。(担当者のコメント：お酒をよく飲まれるようで心配だ。しかし、お話しを大変喜ばれ「ぜひとも又来て下さい」と言われていた。)(69歳男性、一人暮らし、担当：中野、盛本、島原)

・住宅が当たった。一番苦しい所をくぐり抜けた今となっては、何も言うことはない。ただ引越にあたって、カーテン・網戸・エアコン・ガスコンロなどを新たに買い揃えなければならず、大変お金もかかる。公的支援を早く実行して欲しい。催し物をする度に「いい記念になる」と思って写真を撮り続けたので、今ではたくさん溜まった。(70歳女性、一人暮らし、担当：井上、矢野、青木)

・震災で奇跡的に命が助かり、その大切さを知った。だからこの仮設からは孤独死を出さないように、みんなで夜回りをしています。切るも言葉、つなぐも言葉。言葉が一番大切。いくら機嫌が悪くても、相手を良く思えなくても、たった一言挨拶をするだけで気持ちがほぐれるし、それだけで上手くやっていける。励ましのメッセージをもらったのがきっかけで、長野・千葉・横須賀の小学・高校生と交流しています。物ではなく、大事なものは心の財産です。(担当者のコメント：再度、言葉と挨拶の大切さを学びました。)(?歳、2人暮らし、担当：白岩、遠山、藤丸)

・何度も住宅を申し込んでいるけど、当たりません。今度外れたら、区役所に泣きついてでも何とかしたい。(73歳女性、1人暮らし、担当：猪上、岡本、西村)

・震災前に、業務上の災害により右足首を骨折。良くなったと思っただが、冷えると激痛が走り、歩けなくなる。鎮静剤や座薬を使うが…冬は辛い。まさかこんなに痛むとは思わず、労災を示談にしてしまった。重機の資格を持っているが、就職の条件が40歳以下などと、年齢的に難しく仕事が見つからない。重い荷物を運んだり、一日中立っている仕事などは、翌日足が動かなくなるので出来ない。事務職は能力的に無理。公営住宅に当選し、来年入居予定。それまでに就職したい。国民健康保険に入っているが、最近収入がないので滞納している。打ち切られるのではないかと心配だ。←(事情を説明して打ち切らないよう話してみるよう助言した。来週、雇用の資料と生活保護の書類を持って訪問予定。)(45歳男性、一人暮らし、担当：佐沢、亀井、瀬戸)

・42歳の時離婚。娘・息子を引き取り育てた。若い時から土木関係の作業員として働き、手に職はない。年金なし、預金なし、失業保険のないまま、10万円の「解散」手当をもらって失業。1ヶ月前の10万円で食いつないでいる。生活保護を受けるよう勧められているが、自分は働ける限り受けたくない。公営に入居が決まったら(今は当たっていない)家賃を支払わ

なければならぬので、早く仕事が欲しい。テレビで100万円もらえるようなニュースがあったので、大変楽しみにしている。そのお金があったら、半年はゆっくと仕事探しができる。気持ちも落ち着く。(65歳男性、一人暮らし、担当：佐沢、亀井、瀬戸)

・前回訪問…夫・寝たり起きたりの生活。妻・糖尿病。目が悪く足も腫れ気味。心臓も弱っている。だがヘルパーはいらない。子供が世話してくれるから。

ここへ来てから、いっぺんに年をとってしもうた。はよあの世に行きたいわ。初めは別荘に入れてもうたと喜んでたけど、3年も経つとくたびれてもうたわ。公営は息子の近くに当選。

(担当者のコメント：お母さんは「聞こえへんから」と無愛想な顔してたけど、だんだんひたすら喋り出して(私はただうなずいてただけ)、ニコッと笑ってくれた。その瞬間があるから、私は訪問を続けている。その人に合わせたコミュニケーションの取り方が必要だと痛感した。)

(84歳、2人暮らし、担当：猪上、西村、岡本)

・前回訪問…夫・心臓が悪い。妻・右半身がしびれる。

ここは駅から遠く、坂道があって大変。駅の近くの仮設に入りたい。バスも通っておらず…店屋も近くにない。どうせ空いてるから入れてくれと頼んだが、認めてくれなかった。(74歳、2人暮らし、担当：谷川、井上、小林)

・前回訪問…子供の頃から両耳が不自由。近くの仮設に住む孫と同居予定。

かみひこうきに2回手紙を出したところ、奈良の女性からちぎり絵を送ってもらい、手紙のやり取りを始めた(担当者のコメント：とても嬉しそうでした。再度出せるようにかみひこうきの用紙を置いてきた。)(68歳女性、一人暮らし、担当：白岩、藤丸、遠藤)

6月6日

・約3時間の訪問中、震災前の事やご自身の人生と話は広がり、止まらない様でした。一人暮らしの寂しさの為か、まだまだ話を聞いて欲しい…という感じでした。(70歳女性、一人暮らし、担当：清重(智)、関戸)

・区画整理が進まないの、家を再建することが出来ずに困っている。(61歳、3人暮らし、担当：小野、毛綱、佐沢)

・建設現場でトラックの運転手をしているが、ここ10日程仕事がない。不景気だから今年中の再就職は、もう無理かもしれない。厚生年金をかけてなかったの収入なし。生活再建資金の情報が欲しい←後日資料を渡す予定。(健康で働く気持ちを持っておられても、年齢的に仕事が来る事は難しいかもしれない。どうしてもという時は、ぜひ公的な援助を求めて欲しい。国民の権利なのだから…と話す、ポロポロ涙を流され「出来るだけ世話にはなりたくないが…でも本当に有り難うございます」と言われた。←生活保護の書類と週末ボランティアへの連絡先を渡し、困ったら、ともかく誰かに連絡して欲しいと重ねて伝えた。)(70歳男性、一人暮らし、担当：西畑(稔)、貝沼)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。高血圧・心臓病(不整脈)。

野犬が多くなっている。ムカデ・ナメクジが出て困る(救急車で運ばれた人達もいる)。これから雨期に入るが、裏山が崩れてこないか心配だ。転居予定7月。(77歳女性、一人暮らし、担当：赤西、中村)

・前回訪問…25年間通院している。

今年の台風で仮設が壊れないか心配だ。助け合って乗り切るにしても、こんなに人が少なく

ては……。 (66歳、一人暮らし?、担当：長船、天野)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。

狭心症一季節の変わり目になるとしんどくなる。防犯ブザーを持っているが、両隣は空室。鳴らしても誰が来てくれるのだろうか?←ケアライン119の資料を渡し、設置を勧めた。大衆演劇で照明係をしていたが、病気の為辞めた。その一座が、来月新開地で興業をする。久しぶりに、皆に再会出来るのが楽しみだ。(70歳女性、一人暮らし、担当：矢萩、八木、荒井)

・前回訪問…脳梗塞で右半身が不自由。マンションを再建中。

右半身マヒのため字を書けなかったが、看護婦さんの勧めもあって、左手で書く練習をした(見せてもらったが非常にきれいな字でした)。みんなにワープロを勧められるが、手で書く事の大切さを考え、あえて手紙など左手で書いている。(担当者のコメント：非常に素晴らしい事だと思い、日頃ワープロでレポートを書いている自分を反省した。)(68歳男性、一人暮らし、担当：白岩、藤澤(武))

・前回訪問…C型肝炎・糖尿病・ヘルニア。歩くのが辛い。何とか働いている(クレーンやガス技術の免許を持っている)。

足・腰がひどく痛む。同じ姿勢を長時間保つことが出来ず、仕事も出来なくなった。もう十分生きてきた……。←再度訪問し、経済状態やヘルパーを必要とするかの確認をする。(60歳男性、一人暮らし、担当：竹田、藤丸(妹))

・前回訪問…年金少ないが、腹八分目の生活をしている。

ボランティアの人に親切にしてもらえたとし、群馬の小学生が手紙や花の種を送ってくれた。たくさんの人にいろいろしてもらって、どうお礼をしたらいいのか……。 (85歳、2人暮らし、担当：天野、長船)

・前回訪問…脳梗塞で左半身が不自由。年金は十分あるので、生活は大丈夫。

バス停で立ち話を聞いていると、自分の都合ばかり言っているのが目立つ。金が欲しい、元の所へ帰りたいetc……。自分の事ばかり言っていたらキリがない。市も県も金がないのだから仕方ないではないか……。 (58歳男性、一人暮らし、担当：八木、荒井、矢萩)

・前回訪問…腰が悪く、重たい物が持てない。仕事を探しているが、見つからない。

40代の時に背中の中の神経を痛めた。現在は自分の日常生活をするのが精一杯。社会保険が今月で切れ国保になるが、今後の医療費が心配だ。生活保護を申請中だが、どうも難しいようだ。つい、不安を酒で紛らわしている。生活再建支援金は、どのように支払われるのか?←後日資料を渡す予定。(担当者のコメント：明るい顔、大きな声で話される方です。しかし、とても苦しい状況を軽く話す事で、何とか耐えておられる様子に心が重く痛んだ。人生の中の一番エネルギーに過ごしたい時期を、健康を害し仕事も家族もなく暮らしておられる。その中で唯一、土・日に訪ねてくれる息子さんの存在が大きいと感じました。)(55歳男性、一人暮らし、担当：西畑(稔)、貝沼)

・前回訪問…心臓が悪く、血圧が高い。ヘルニアでコルセットをしている。

現在生活保護を受給しているが、11月に転居後(西神南)は、働くよう指導されている。腰を痛め、2年前から仕事が出来ずにいる。腰・心臓・呼吸器で通院しているが、医者に身体の事を訴えても、しっかり聞いてもらえず、気のせいと言われる。通院も嫌になってきた。先々の事を考えると気ばかり焦る。今は酒を受けつけない体だが、どうしようもない気持ちになった時、口にして苦しむこともある。(担当者のコメント：今はご近所の方と同じ悩みを分か

ち合っておられるが、引っ越し後は新しい人間関係を作っていけるか、心配だ。)(54歳男性、一人暮らし、担当：西畑(稔)、貝沼)

・再訪問…半身不随。腰・目が悪い(書き物が出来ない)。

足が変形して歩くのが困難。ヘルパーさんが時々見に来てくれる。娘が週1回買い物してくれるので、調理は自分です。6月に公営へ転居予定。娘の近くになるので安心だ。(79歳女性、一人暮らし、担当：川端、寺沢、吉田)

・前回訪問…頂き物の冷蔵庫だが、霜取りを釘でしていたら穴をあけてしまい、ガス漏れで使えなくなった。冷蔵庫がないでしょうか？。6月5日、冷蔵庫を本人に届けた。(66歳女性、一人暮らし、担当：久玉、高山、合田)

6月13日

・前回訪問…知り合いが引っ越ししてしまい、近所に何でも話せる人が居なくなった。

3日に一度ぐらいしか外に出ない。とにかく孤独で寂しい。病院以外に行く所はなく、また知り合いもおらず、自殺者が出たりして心細くて仕方ない。今日は何週間ぶりに喋っただろう。なんだか、とても気が晴れた。10月移転予定。(68歳女性、一人暮らし、担当：浦口、岡本、竹田、鬼原、松下)

・前回訪問…妻に先立たれ食事に困っている。腰が悪いので買い物にも困っている。←ホームヘルパーの資料を渡した。

約2ヶ月入院していて、今日帰ってきた。肝臓も悪く、糖尿病も抱えている。入院している間は、食事療法が出来るからいいのだが、ここへ戻ってくると料理に困る。つつい偏った食事(外食多い)になりがちで、また体調が悪くなってしまう。(67歳男性、一人暮らし、担当：浦口、岡本)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。耳が聞こえにくい。

一人でここにいると、ちょっとした揺れでも、地震が来たと思って怯えてしまう。時々青山台に住んでいる娘がのぞきに来てくれるのが楽しみだ。(担当者のコメント：春の『リメンバー被災地』で、公営住宅に飾って欲しいという願いを込めて、住民の方達と一緒に作ったネームプレートが、部屋に飾られていた。「公営にも持っていくよ。死ぬまで飾ってとくわ」と言ってもらい、とても感動的だった。)(87歳女性、一人暮らし、担当：浦口、岡本)

・前回訪問…ペースメーカーを入れる手術をしたばかり。

ここに引っ越す時、一人なので荷物はタクシーと自分で運んだ。13年前から心臓が悪い。震災の時は、薬(特殊な)を手に入らず、もらえなかったので、船で大阪の国立病院まで5回程通った。今の楽しみは太極拳をする事。(68歳女性、一人暮らし、担当：荒尾、大村)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。

プライバシーがないのが辛い。また一人になりたいけどなれない(さみしい)。孫と子供が神戸に来たいと言っていたが、来たところで住める場所も、仕事も…何もない。ましてや孫は喘息だから、こんな空気の悪い所に来たら発作を起こし、診てもらおう先生もいないので止めさせた。本当は来て欲しかったのだが……。 (担当者のコメント：震災の事を話してくれている時、辛そうに目に涙を溜めていた。私達(名古屋の高校生)が来る事を知ってらして、とても楽しみにしていたとの事です。)(71歳女性、一人暮らし、担当：河内、岩浪、秋田、加賀、那須)

・前回訪問…夫・半身不随（気力があり、心が強い）。

6畳と4畳の部屋が一つずつ。下は畳だったけど、天井にはすき間が空いていて、冬は寒そうだった。病死や自殺で亡くなった人が6人もいると聞いて、正直辛かった。でも家具などを必死の思いで運び出して持ってきたと笑って話してくれる姿がとても印象的だった。楽しい事、勉強になる事と色々な話をして下さって嬉しかったです。（69歳、2人暮らし、担当：重光、江口）

・前回訪問…身障者用の復興住宅に当選。書類審査に付き添って欲しいとの依頼があり、車椅子を車に乗せ同行した。

3月に書類審査を受けたが、まだ通知来ず。あるおばあさんは、不安から問い合わせの電話をしたが、怒られたと……。電話一本・ハガキ一枚でもくれればいいのに。これからの季節、床の下は水溜まりになる。湿気が多いと高齢者は足・腰・神経痛にこたえる。自分はベッドを使用しているので、他の方にも勧めたが、やはり畳の上の方がいいと言っていた。（担当者のコメント：週ボラが来るというので、訪問を楽しみに待っていました。「話が出来るととても嬉しい」と言われ、私達も嬉しくなりました。）（65歳男性、一人暮らし、担当：亀井、森下）

・4月に会社が倒産し、現在失業保険で生活している。住宅を申し込んでいるが、失業中の為、家賃が心配。仕事がなかなか見つからない。でも生活保護を受ける年代ではないし……。 （担当者のコメント：今日は、良く来てくれたと喜んでいました。）（52歳男性、？人暮らし、担当：船戸、堀部、中村）

・地震に備え、日頃から水（ミネラルウォーター）・懐中電灯・ラジオ・カセットコンロ・食料を常備しておくよう忠告を頂いた。特に水は必要と強調されていた。（62歳男性、一人暮らし、担当：佐々木、伊藤、矢萩）

・白内障の手術後、目がよく見えるようになって生活が楽しい。現在向学心が出てきて、新聞などを始めから終わりまで読んでいる。最近『いきいき仕事塾』にも行き始めている。（担当者のコメント：考えがプラス思考で、こちらが元気づけられることが多かった。）（68歳女性、一人暮らし、担当：柳谷、前田、藤村）

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。

息子夫婦に気兼ねして、年金（一人）で生活しているとの事。名古屋に子供・孫がいるので、高校生ボランティアの訪問をととても喜んでいました。来年名古屋に移転するが、ボランティアの方にぜひ来て欲しいと、電話を控えてらした。（72歳女性、一人暮らし、担当：船戸、堀部、中村）

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。

娘が近くにいて、日曜毎に来てくれる。今日こんな元気でも、明日の事はわからない。だから娘の近くのシルバーハイツに入りたいのだが……。 （84歳女性、一人暮らし、担当：野々目、松尾、長船）

・前回訪問…内臓が弱ってきたので、心細さを感じる。

震災時、両方向から炎が襲ってきて、壊れた家の中からはうめき声が聞こえ、不気味だったと話されていた。仮設内の撮影は拒否されたが、「復興住宅を写したら」と提案された。（50代女性、一人暮らし、担当：矢野、喜多、福井）

・前回訪問…住宅に当たったが保証人がいない。←なしでもOKと電話済み。

避難所で人間の浅ましきを見た。人間てホンマに怖いなあ……。娘は震災で亡くなった。最

初の頃はショックで立ち直れなかったが、動いているうちに何とか生きなあかんと思うようになった。息子の仕事がなかなか見つからず困っている。(72歳、2人暮らし、担当：猪上、木村、村山)

・前回訪問…妻・脳梗塞と糖尿病。片目・片耳が不自由。

視力が落ちて、物が二重に見える。家の周りを歩くようにしているが、夜になると足がつる。昨年9月から医療費が上がり、以前の2倍の出費に泣かされている。被災直後に支援金をもらっていたら、アパートを借りて住めたのに。そしたら家財道具を家ごと解体しなかった……。

(68歳、2人暮らし、担当：西、大里、小林)

6月20日

・前回訪問…仕事をしたいが、毎日というのは体が辛い。生活保護を受けたい。←被災者連絡会に電話済み。

生活保護は連絡会に相談にのってもらっていたが、同居人の問題があり取り下げた。6月から「被災地しごと開発事業」の仕事(清掃10:00~14:00)に行き始めた。一緒に仕事する人が親切に教えてくれる。家に帰るとグロッキー状態だが、でも気晴らしになる。←「1日仕事塾」のチラシも渡しておいた。公営に当選したら、民間を借りてでもすぐに出たい。←公営住宅入居待機者支援制度・市民版引っ越しプロジェクトのチラシを渡した。(56歳、2人暮らし、担当：八木、矢萩)

・前回訪問…妻が筋萎縮症と判り、介護のため喫茶店を閉めた。妻を横に乗せ配送の仕事が始めたが、高血圧なので時々フラツとなる。

今の若い人間がダメだというのは間違い。こうやってボランティア活動をしている人が多い。そういう事を言う前に、もっと政治・経済を厳しい目で監視しないとダメだ！若い人と話すのは楽しい。〈大工さんからもらった廃材で、垣割を洋風に作っていた。それを家の中に飾ってつる植物を這わせるとの事。「妻が外に出られないので、家の中で楽しめるように」と言われていた。かなり本格的な腕前です。こんな作業も公営に行ったら出来なくなるので、今のうちにやっておいて、公営で完成させるとの事。出来上がったから見においでと言われていた。〉(55歳、2人暮らし、担当：西、立花、遠山)

・前回訪問…高血圧・狭心症・膝が痛む。10月引越予定。

入居予定日には必ず引っ越していなければいけないと聞いている。短い間にいろいろする事がありそうだが、緑内障の手術もあるので、余計大変かも……。今回の公的支援には不満を感じる。〈署名用紙とかみひこうきを渡しました。〉(65歳女性、一人暮らし、担当：亀井、佐沢)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。ホームヘルパーが週1回来る。

エアコンは子供が来ないと使えない。長い事フィルターの掃除もしていない。←フィルターを洗い、リモコンの使い方を説明し「取扱説明書」もすぐ見れるようしおりを挟んでおいた。

(83歳女性、一人暮らし、担当：赤西、木戸、吉川)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。病院から他種類の薬をもらっており、2時間おきに飲む。

ここは、複数のボランティアが来てくれるので嬉しい。移転先の住宅には、ここの仮設から7軒入るのである程度心強い。(72歳男性、一人暮らし、担当：赤西、木戸、吉川)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。膝に人工関節を入れている。

震災時、柱が足に倒れ動けなかったが、「何とかやるよ」と前向きに考えていた……。15分後、息子に助けられた。仮設に入る時の引っ越しは息子2人が手伝ってくれたが、しんどかったようで、公営の引っ越しは「業者に頼んで…」と言っていた。(担当者のコメント: コーヒーを出して下さり、「お茶を飲みたくても相手がいなくて…」と言われ、歓迎して下さった。)(75歳女性、一人暮らし、担当: 竹田、松宮、塚原)

・前回訪問…首のリンパ腺が腫れ、去年の暮れまで入院していた。手術後、右肩が痛む。足も弱ってきて、骨も脆くなった。

今は何とか自分のペースで歩いたり出来るようになった。髪の毛も元に戻って嬉しい。大阪の友達がやってきてカラオケに、神戸の友達は『しあわせの村』に連れて行ってくれる。姫路の友達も…とにかく心配してくれる友達がいるから幸せ。唯一不安な事は、この棟に自分一人しか住んで居らず、防犯上心配だ。(担当者のコメント: そこらへんに咲いている花を上手に生けられており、その話で盛り上がりました。)(61歳女性、一人暮らし、担当: 矢野、中野、小田)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。足が悪く、左のあばら骨が2本しかないので、右肺のみで呼吸。ホームヘルパーが週2回、洗濯とゴミ捨てに来てくれる。

体調悪いわ!。この年になったら、いつお迎えが来てもおかしいけど、なかなか来てくれん。困ったもんですわ。週2回ヘルパーに来てもらっているが、1日2時間では、あつと言う間に終わってしまい、頼みたい事も言えへん。〈軍隊時代の話や政治・経済の批判を熱っぽく語られ、何時間でも喋りたいといった感じでした。突然「記念写真を撮ろう!」と言い出し、女子高校生2人と共に撮られていました。〉(79歳男性、一人暮らし、担当: 赤西、木戸、吉川)

・前回訪問…高齢者の一人暮らし。

誰とも話したくない。年寄りのはのけ者にされているから……。仮設住宅から出ていくよう言われているが、もう移転する力が残っていない。だが仮設から出なければ、100万円(被災者自立支援金)も貰われへん。年寄りはここで死んでくれて……。戦争中、腰から下は泥水につかり、上からは土砂降りの雨。そんな苦勞をし、戦争に生き残っても、こんな状態では辛い。自伝(戦争体験)を手作りしたが、震災で消失した部分があるので、作り直している。〈手作りされた本を、ワープロ打ちするという事になり、一冊お預かりした。〉(81歳男性、一人暮らし、担当: 長船、川北、石政)

・前回訪問…腰痛が足まで来て、同じ姿勢を長時間保つことが出来ず、仕事も出来ない。

親戚の人に頼んで、家事一切をしてもらっている。20m歩いただけで息切れしてしまう(寝てばかりだと足が弱るので、歩くようにしている。)生活保護の申請をしたが、まだ返事は来ていない。2ヶ月食いつないできた貯金も底をついてきた。でも福祉から病院に渡すよう言われた書類を持っていくと、その日から治療費が不要になったので、その分は助かった。溶接・ガス・電気・4トンの運転免許など持っているが、仕事に行けないのが辛い。人の金で生活するのは心苦しいので、早く働けるようになりたい。公営に当たったら引っ越しの時、手伝いが欲しい。←「引っ越しボランティア」の資料を渡した。また、福祉(生活保護)受給になったら、そちらの方で引っ越しの手配がある旨説明した。(60歳男性、一人暮らし、担当: 立花、矢萩、遠山)

6月27日

・元の敷地に2世帯住宅（3階建て）を計画しているが、建築許可が下りない。震災前頑張っ
て、自分の家や子供達の家を建ててきたから……回りの人に「まだ仮設にいるの？」と思われ
るのが辛い。とりあえず、民間の借り上げ住宅入居だけは決まったが……。仮設の心のケアは
重要だ。私は体の続く限り仕事をやるけど、皆さんも訪問を続けて欲しい。（67歳、2人暮
らし、担当：早田、小林）

・ここに来て2年目に足が痛みだし（静脈瘤）、医者に行ったら冷えから来ていると言われた。
毎日痛み止めの注射と電気を当ててもらっているが、その時だけだ、痛みが引くのは。バス停
まで歩くのが辛いし、寝る時はうずく。あちこち動けず、一人で寂しい。（担当者のコメント
：「足が治ったらなー。ほんま、なんでこんななったのかな」と涙ながら言われていた。何
もしてあげられない私も辛かったです。）（73歳女性、一人暮らし、担当：祝、木原、猪上）

・希望していた公営に当選され、ものすごく喜んでおられた。震災や戦争の話をして、「今は
命があれば、何もいらなくらい欲がない」と言われた。私達の訪問を感謝して下さい、公営
にもぜひ訪ねてきて下さいとの事です。（71歳女性、一人暮らし、担当：猪上、祝、木原）

・糖尿・肝臓が悪いので、食事療法と運動をするように心掛けている。周囲でただ1人公営に
落選してしまった。「これも運だ」。（担当者のコメント：こちらの気分が明るくなるような、
笑顔のすてきな方でした。）（73歳男性、一人暮らし、担当：祝、猪上、木原）

・市街地を申し込んだが、今回も落選。自転車のライトや虫ゴムを取られる等のいたずらを、
ひんぱんにされて困っている。（?歳、2人暮らし、担当：佐沢、亀井）

・溶接の仕事をしている。各地を短期・中期の契約で回っているが、最近神戸に帰ってきてか
ら仕事が全然ない。失業保険も入っていないので困る。会社は暇になると年齢を理由に辞めさ
せる……。冬に湯沸かし器が壊れてしまい、水風呂に入っている。←区役所に申し出るようア
ドバイスした。8月公営に転居予定。（62歳男性、一人暮らし、担当：小林）

・夫はタクシーの仕事がなくなり、三木の方へ勤めに行きだした。私も一人で部屋にいるとク
ヨクヨ、イライラするので、更年期障害でしんどいがパートに行っている。公営は年齢が中途
半端で当たらない。気長に当たるまで待つつもり。（50歳、2人暮らし、担当：早田、小林）

・内臓が悪く、医者通いをしているので仕事が出来ない。9月入居予定（公営）も延期になっ
た。市街地に戻れても、文化住宅やアパートが皆壊されて、街が変わってしまった……。（7
0代、一人暮らし、担当：井上、長船）

・シルバー住宅を申し込んでいたが落選。障害2級だが、歩けるからダメなんやろ。弱視・難
聴（補聴器使用）ぐらいでは入れへんねん。市街地の地元に戻ったら、みんなが「世話した
げる」と言うてくれる。でも、どこも当たらない。私は耳が悪いので情報が入らん。今までは
近所の人が手助けしてくれたが、その人達が順次出ていくので、これからどうすればいいの
か？。話をしたらスツとした。また、来て下さい。（64歳女性、一人暮らし、担当：井上、
長船）

・奥尻の地震の時には、心を痛めていたが遠い所の出来事だった。神戸もよその人が現状をわ
からなかったり忘れてしまっても、しょうがない事だ。神戸空港は市の発展に役立つのかもし
れないが…時期が悪いと思う。被災者の心を逆撫でしている。私ら素人にはよくわからないけ
れど、そんなにいるものだろうか？。〈こうして来てくれたのがうれしいし、気が紛れて楽し
いと喜んで頂けた。記念にと何枚か写真を撮ったので、後日郵送する予定。〉（76歳女性、

一人暮らし、担当：矢野、遠山)

・自分は震災で命を拾った。肋間神経痛と言われていたが、震災の為、大阪の病院で診てもらったら、体半分が化膿している事が分かり、大手術をした。転院がなければ、死んでいたかもしれない。現在、体操や散歩をしており、肩こりもなくなった。(60歳女性、一人暮らし、担当：矢野、遠山)

・7月に転居予定。家が決まってほっとし、やっと疲れがとれた。決まらない時は眠れず苦しかった。これで本格的に仕事(大工)を探せる。被災者自立支援金はどうなっているのか?←資料を渡す。「仕事をしていて、休日にボランティアで来るなんて大変だろう、疲れるだろう。でも、近所の人よりボランティアの方がいい…リラックスするね。話しているだけで情報が入ってくるし、また言いたい事を話せて、スツとした。ありがとう。疲れたか…余り遅くなると親御さんが心配するから…」と私達に気を遣いながらも、なごり惜しいようでした。(40歳男性、?人暮らし、担当：立花、中澤、矢野、遠山)

・足の血管が細くなっている為、医者から「両足を切断した方が良い」と言われた。一日おきに点滴を受けている。食事は時々自分で作るが、ほとんど出来合いの総菜です。7月には仮設間移転で引っ越しをするが、転居後の仮設にも来て欲しい。(60歳男性、一人暮らし、担当：中澤、立花)

・平日は警備会社に勤務。7月に公営に移転するが、誰か手伝って頂けるのなら、お願いしたい。←引っ越しボランティアのチラシを渡し、説明した。(50歳男性、一人暮らし、担当：川口、八木)

・7月公営へ転居予定。回りに話をする人がいないので寂しい。転居後も訪問してもらいたい。←詳しい住所をお聞きした。10年以上軍隊にいたが、その時死んでしまった方が良かった。〈年齢から考えるととてもお元気。今でも掃除の仕事をされているとの事。〉(80歳、2人暮らし、担当：立花、中澤)

・骨が飛び出る病気。痛みがひどい。手術しても同じと言われており、痛み止めの治療のみ。体を壊してから人のやさしさが良くわかった。普段は家にこもってテレビや音楽を楽しんでいる。人とは余り話さず、付き合いもない。自殺する気はないけれど、いつ死んでも良いと思っている。今日はこんなに話したから、痛みを忘れていた。(担当者のコメント：自分に厳しく、人に迷惑を掛けたくないという、強い気持ちが感じられた。2時間半、ドアの外で話を伺ったが、だんだんドアを開けて下さり、最後は全開にして下さった。心のドアを開けて下さるよう感じ、とても嬉しかった。)(58歳男性、一人暮らし、担当：西、井手上、柳田)

・今月末に他の仮設へ転居予定。体調が悪く、引っ越しも思うように準備できず、最後まで残ってしまい、非常に気持ちが焦る(赤帽に頼む予定)。こんな調子で、来年3月の公営移転まで待てるか、自信がない。仮設を出る時に、犬やネコを放置したままで出て行くので、野良犬(猫)になってしまい不用心だ。(66歳男性、一人暮らし、担当：川口、八木)

7月4日

・2ヶ月前まで、動脈血溜で入院していた。今は息子の所におり、ほとんど仮設にいない。〈今回、私達の訪問があるという事を知って、わざわざ帰っておられた。しかし時間がなく、ゆっくりお話を聞く事が出来ずに残念でした。〉←後日、再訪問の予定日を書いてポストに入れる。(75歳女性、一人暮らし、担当：八木、藤村)

・脳性マヒの子供さんと2人暮らし。近々公営住宅に引っ越す時（未定）は、是非お手伝いをお願いしたい。←引っ越しボランティアの説明と状況確認をし、対応を考える。〈子供さんが1人で歩いて作業所に行かれるのを、いつも見ている近所の方達は「自分も頑張らないといけないと勇気づけられる」と言われていた。〉（78歳、2人暮らし、担当：八木、藤村）

・骨折してから歩きにくい。仮設内を歩くのなら不自由はないが、外を歩くまでの勇気がない。ネコが8匹いるので誰かにもらって欲しい。←猫の情報誌に投稿し、里親探しをするアイデアを伝えると共にその資料を渡す。〈出来るだけ早く、また来て欲しいと言っておられた。〉（66歳、2人暮らし、担当：八木、藤村）

・震災で勤めていたゴム工場が潰れ、働く所がない。毎日、テレビを見ている生活。何か働き口があれば良いが。←次回訪問の際、雇用の資料を渡す。〈ボランティアに参加してみたいとのお話でした。←週末ボランティアの資料を渡す。〉（67歳男性、？人暮らし、担当：八木、藤村）

・土地はあるが、商業地域。もう年なので再建する能力がない。姫路の仮設にいたが仕事がなく、神戸に戻ったがやはり仕事はなかった。土地を貸している金で生活している（20万程）。その為公営にも当選しにくい。行政から「それで当たらなかつたら、自分で探すしかない」と言われている。そう言われても当てはないし…当たってもらわんと困る。（57歳女性、一人暮らし、担当：白岩、長船）

・仮設に入ってから病気続き。夫はガンで手術をし、現在療養中。私も白内障やのどにポリープが出来、いい事がない。でも震災前に住んでいた家主さんが、再建したアパートに戻ってくるよう言ってくれた。近くには娘の家や病院があり、10月が待ち遠しい。（担当者のコメント：外は暑いだろうと言われ、部屋の中（玄関口）に入れてもらったが、家の中も暑かった。）（？歳、2人暮らし、担当：原田、井上）

・母（97歳）は動脈瘤で、入退院の繰り返し。連日暑さが厳しいので、また入院するかもしれない。あと1年はここにいる。待つのは長いけど、先が目途が立ったから……。 （57歳、2人暮らし、担当：白岩、長船）

・眠れないので眠剤を飲んでいる。神経内科にも通院しているが、この事を言うと奇異の目で見られるのが辛い。洗濯機の水道を出しっ放しにされ、水道代が6000円かかった月もあった。誰がこんな事するんやろ……。来年7月入居予定。（69歳女性、一人暮らし、担当：上野、矢萩）

・公営に当たりはしたが、いいやら悪いやら。仮設で仲良くしていた皆と別れるのは寂しい。8月転居予定。〈公営の方にも訪問してよろしいですかとお聞きしたところ快諾を頂き、移転先住所をお聞きした（西区内）。近所のダンスの先生（87歳、一人暮らし）が、昨年倒れられ、現在は淡路島の老人ホームにおられるとの事。昨日こちらに来られたので、皆でお別れ会をしたが、回復され元気な様子だったと伝えて下さった。〉（63歳女性、一人暮らし、担当：上野、矢萩）

・人は”言葉にして言う事”、”お腹の中で思う事”、”行動”がちぐはぐやから、よう分からへんわ……。若い時にたくさんの思い出を作っておいた方がいい。病気等で動けなくなった時、その思い出が大切になってくるから……。 （担当者のコメント：「体に投資しとけよ。体は財産だから…金はなくても体が丈夫なら何とかなる」。22～55歳頃までほとんど病気ばかりしていた体験からくる言葉に重みを感じた。）（75歳、2人暮らし、担当：上野、矢萩）

・今回も落選。不安で、夜も落ち着いて寝られない。自分はペースメーカー入れてるし（障害1級）、高齢者の一人住まいだ。（74歳女性、一人暮らし、本人自筆）

〈エアコンのフィルターを3年間洗っていないとの事で、洗浄し操作方法を説明した。ビデオの時刻合わせもする。〉（担当：赤西、矢野）

・ここも入居から3年が過ぎ、いい加減ガタがきている。天井の隅が欠けて落ちてきたり、熱でトタン板が膨張して大きな音を立てる。また、ミシミシきしむ音もする。〈上がり込んで話してる最中にも「ドン!」という大きな音がしていた〉（64歳、2人暮らし、担当：猪上、杉谷）

・〈酸素吸入器をつけておられた。〉買い物や病院への送迎ボランティアが来てくれていたが、最近音沙汰なし。病院からは、炊事・洗濯・買い物など人に頼んだ方がいいと言われていたが……。←再度訪問し、状況を確認後、必要であれば区役所へ問い合わせをし、対応してもらう予定。（?歳女性、一人暮らし、担当：赤西、矢野）

・脳梗塞で長患いだったが、お互いに支え合ってきた妻が…2月に死去。身寄りがなく寂しい。長年妻の介護をしていたので、ある程度の事は出来る。今は何とか元気にしています。（76歳男性、一人暮らし、担当：赤西、矢野）

・今回も落選。体調もあまりすぐれず、去年は2回入院した。毎月主婦ボランティアの訪問があり、「買い物とか行ってあげますよ」と声を掛けてくれるが、断っている。（72歳女性、一人暮らし、担当：赤西、矢野）

・ここに来たのは震災の年の5月13日。カギを渡されたのは5月10日。忘れません！。ホンマにえらい目にあった。昭和19年に愛知（弥富）で地震にあっているが、その時よりも遙かに大きな地震だった。空襲や神戸の山津波にもあってるけど、これほど大きな災害は初めてだ。10月に転居予定。市街地（地元）をあきらめたので、何とかかなりました。（69歳、2人暮らし、担当：猪上、杉谷）

・勤めていた会社（鉄工所）が倒産し、職探しをしている最中に震災にあった。景気が悪いので、現在に至るまで仕事が見つからない。預金と母親の年金で暮らしているが、来年2月転居予定の家賃が心配だ。母親（82歳）は病院通いをしているが、動けるので大丈夫。（担当者のコメント：職人タイプの人なので、いい仕事があればいいなあと思います。不景気な話ばかりで盛り上がりすぎてしまいました。半分あきらめの心境のようなので、何とか働く気力を出して欲しいと思った。）（52歳、2人暮らし、担当：猪上、杉谷）

・市街地の公営に当選したが、来年3月完成予定。いつ入れるんやろか？。何回も引っ越しするのはしんどいなー。ここの仮設は10月頃出ていく者が多い。残される者の心境は『島流しにあった者が、御赦免船（不定期に江戸から来る許しの迎え船）に乗れず、すがる思いをこらえ、船を見送るようだ』。公営に当選したからと大げさに喜んだりするのは良くない。また、マスコミや訪問者が大げさに喜んだり、拍手をしたりするのも良くないと思う。（71歳、2人暮らし、担当：赤西、矢野）

・夫は震災後、病気がち。私は仮設間移転で体調を崩しています。前の仮設に比べて暑い。風がきつい。（担当者のコメント：隣の方と2人で「疲れたなー」と言われていました。でも、知り合いがそばにいる事で、心強い事が見ていて分かりました。今後の公営住宅では、見知らぬ方ばかりで精神的にも、体力面でも大変だと感じました。）（71歳、2人暮らし、担当：清重（智）、林）

・去年12月、胃を全部摘出。腸管と食道を直結した為、食事がごく少量となり、体力の回復が困難です。術後経過は良好であったが、2月末頃より腹水が腸・下肢全般にたまりだした。今は毎週腹水吸引、点滴の為通院中です。立ち上がる時も横から…歩行は非常に困難で困っている。何しろ年齢が年齢なので……。妻も年来の心臓病・他諸病の為、健康状態が思わしく無いが、2人で何とか生活しています。西区の公営に10月転居予定。だが2人とも全く体力がないので、移転時の荷物搬出・搬入・運送をボランティアの方達にお願い出来ないでしょうか？（有料で結構です）。←引っ越しボランティアの説明と状況確認をし、対応を考える。移転先にもボランティア訪問を希望します。（81歳、2人暮らし、本人自筆）

・〈息子さんが車でおかずを持って来ておられた。〉（担当：中野、新井）
現在、年金8万円で生活。これでもギリギリ。いつそ福祉もらってる方がまし。住宅も優先、医療費もタダだし……。←生活保護の資料を持っていき、説明をする。（70代女性、一人暮らし、担当：亀井、西）

7月11日

・警備会社に勤めて2年半だが、若い人が多く、時給も男女差がないので気に入っている。建設現場の警備でしんどいが、何とか頑張っている。しかし、息子2人（土木作業員）は不景気で仕事が余りない。公営の入居予定は来年8月。転居するときは、お婆の家にいる母（目がほとんど見えず、足も悪い）を呼んで、一緒に住むつもり。（64歳、3人暮らし、担当：佐沢、原田、矢萩）

・待つて待つて待つて…待ち遠しいくらい待つて、やっと公営に当たって、やれやれ。（67歳女性、一人暮らし、担当：小林、遠山）

・以前、福祉（生活保護）を受けながら酒を飲み暴れる者が数人いて、ここに住んでいる皆が迷惑していた。どれだけ悩まされたか……。もう早く出たい。一部の悪質な人間のせいで、仮設全体の評価が下がっているのではないか……。（72歳、2人暮らし、担当：遠山、小林）

・これだけは言いたい。一人暮らしで身寄りもなくこんな年なのに…自分は住宅がなかなか当たらず、元気で若く福祉に頼っている人が市街地の公営（当選確率が低い所）にスツと決まっていた。腹が立つ。来年1月の転居予定地は、倉庫や工場ばかりなので不便だと思う。ましてや9階だし…不安だ。←ヘルパーの資料と引っ越しボランティアの資料を渡す。〈転居地の事を心配されていたので、「見晴らしもいい・風も通る・蚊も出ないし、いい事ありますよ…」と励ますと、少しホッとされた様子でした。〉（82歳女性、一人暮らし、担当：遠山、小林）

・民間アパートを借りて、引っ越す予定。全壊だが、年金の他に収入があり、復興住宅に入居出来ない。この年までまじめに働いてきて、その結果として得ている収入なのに腹が立つ。住宅に関してだけでも被災者は、一律にして欲しい。家賃は収入に応じて差があるのは当然だと思うが、入居させて欲しい。民間アパートも家賃補助が出るらしいが、手続きしてみないと何とも言えない。（69歳、2人暮らし、担当：小林、遠山）

・10月に公営入居が決まっているが、以前の所が民間地の為閉鎖されるので、移転してきた。ここはものすごく暑い。むーつとする。朝炊いたご飯が夕方には腐っていて捨てる。造船関係の仕事で、日本全国いろいろな所を巡ったが、最近の仕事がない。（62歳男性、一人暮らし、担当：小林、遠山）

- ・大人4人、子供1人で生活されているので、もう一部屋使えるように交渉を勧めた。しかし、以前市に荷物置き場にと一部屋頼んだところ断られたので、もう話すのも嫌と言われていた。公営は決まっているが、入居予定は2年先の事。(69歳、5人暮らし、担当：遠山、小林)
- ・尼崎に勤めている(通勤に1時間半)ので、公営も勤め先に近い所に行きたいが、なかなか当たらない。震災時、子供がまだ10ヶ月だったので実家においてもらったが、その為仮設入居が遅くなってしまった。その子も3歳を過ぎ、公営の当選率がますます不利になっていく…。(7歳、3人暮らし、担当：白岩、井上)
- ・今年の4月、肺の手術(水が溜まる)で20日程入院した。入院希望者が多い為、抜糸しない状態で退院させられたが、今もまだ痛むので、毎日座薬を使用している。自営業だったので年金がなく、仕事も去年3月頃からなかった。生活保護の申請を今年6月にして、給付される見込み(申請の仕方が分からなかった)。それまでは友達に借金をして、食いつないでいた。体が良くなれば、少し働きたい。公営には9月転居予定。(60代男性、一人暮らし、担当：白岩、井上)
- ・内臓が悪く、2週間に一度通院する。子供が交代で訪ねてくれる。家がなかなか当たらない。(87歳男性、一人暮らし、担当：毛綱、武内)
- ・家が当たらない事や体調不安が悩みの種。家族との交流はある。←エアコンの掃除と調整を行った。(76歳女性、一人暮らし、担当：毛綱、武内)
- ・住宅を早く当てて欲しいです。(72歳、2人暮らし、本人自筆)
とにかく当たらない。3次募集からは、ずっと西区を申し込んでいるのに、どうして当たらないのか?。申込書の書き方が悪いのか…神経が参ってしまう。主人も心臓が悪いので、余計悪化するのではと心配だ。7月10日頃再募集があると聞いているが……。最近腸を悪くし、40日間入院した。糖尿にもなっている。2人とも病気だし、家も当たらず、何の楽しみもない。年金生活、医療費は福祉から扶助を受けている。(担当：佐沢、矢萩)
- ・平成8年、長年介護してきた母(108歳)が亡くなった。最後まで歩けたが、介護は結構大変だった。最近のご近所の方をお世話している。公営はまだ未定。仮設に入って4年になるが、初めてボランティアの人と話をした。(60代女性、一人暮らし、担当：佐沢、矢萩)
- ・腰が悪く、耳が遠い。だが買い物や食事の支度は一人でしている。月に2回、静岡からボランティアが来てくれる。公営に当選。(84歳、一人暮らし、担当：川口(千)、藤村)
7月に転居予定。交通の便は悪いが、やむを得ない。←転居後の訪問について了承していただき、住所をお聞きした。(75歳、2人暮らし、担当：矢萩、佐沢)
- ・血圧が200もあって、医者が驚いている。これからの事をあれこれ考えたら眠れない。そこへ空き部屋になっているはずの隣から、木槌で叩いているような音がする。市に相談したが「鍵は返してもらってるし、誰もいないから大丈夫」と言われた。あちこちすき間が出来て、風が通ると変な音がするし…眠れない。公営は当たっていない。今日はいろいろ話を聞いてもらったので、少しは気が楽になった。(65歳女性、一人暮らし、担当：川口、小田)
- ・妻は高血圧から糖尿・左半身不随となり、痴呆症状も出てきている(仮設に来てひどくなった)。24時間目が話せない。ストレスから来る飲酒と介護疲れで、肝臓を悪くしてしまった。この頃はショートステイに2週間毎に行ってもらっている。訪問看護や福祉の人も手助けしてくれるので、もう一度自分の体を治して、また2人で暮らしたい。子供もいないし、今まで2人でやってきたのだから……。転居したら、ベッドや電動車椅子を利用し、介護を楽に出来る

ようにしようと思う。(66歳、2人暮らし、担当：川口、小田)

7月18日

・来年6月公営へ入居予定。先日、仮設住宅入居延長の発表があり、安心した。これで放り出されずに済む。(60代、?人暮らし、担当：長船、松宮、赤松)

・仮設では部屋が狭くなった分、プライバシーがなくなり、苦勞している(家族でケンカが増えた)。早く公営に当たって欲しいが、メドが立っていない。(20代、2人暮らし、担当：長船、松宮、赤松)

・9月に公営へ移転が決まり、安心している。「夫が亡くなったり仮設では嫌な事ばかりだったが、心機一転し新居では自分のペースで生活していきたい」との事。〈私達がボランティアである事を言うと、仮設での辛い生活を振り返るように話し始めた。〉(57歳女性、一人暮らし、担当：清重(智)、川北、矢野)

・古い文化住宅の1階に住んでいたが、震災時山歩きをしていたので命拾いした。仮設にいると気が滅入るので、今でも六甲山へ登山に行く。だが最近食欲がなく、寝ていると胸が苦しい(検査を受け、結果を待っている)。公営に当選。店舗付き住宅なので便利だ。だが引っ越し費用はかかるし、生活再建支援金がもらえるのか、仮設にいつまでいられるのか分からない等々、不安だらけ……。再来年(平成12年5月)の公営入居は、今日初めて気がついた。←当選しているのももらえます。確認のハガキが来る旨伝える。(73歳男性、一人暮らし、担当：佐沢、亀井、小林)

・元の場所に土地はあるが、金がないので家が建てられない。ましてやその地区は傾斜地が多く、住民で土地改良してから市に譲渡するしかない。肺気腫で通院中。10月公営へ入居予定。〈訪問しても良いか訪ねたら「来てもいいよ」との事。〉(61歳男性、一人暮らし、担当：亀井、佐沢、小林)

・夫はガンを患っている(別居中)。私も娘も借金があり、生活保護を受けている。膝・心臓が悪く・高血圧・ストレスがたまっている。クヨクヨしても仕方がない、人に頼らず自分で解決しないと。本当に困った時に人は助けてくれないから。10月公営へ入居予定。(担当者のコメント：明るくたくましく生きておられる姿に感心した。)(60代、2人暮らし、担当：原田、井内、武内)

・今でも物音がすると地震かと思い、ビクツとする。公営入居(来年5月)に保証人が必要だが、市内に知人がいないので悩んでいる。←保証人なしでも大丈夫です。当選通知に書いてある電話番号に連絡し、必要書類を聞くように再訪時伝える。(60代、2人暮らし、担当：原田、井内、武内)

・前住んでいた家は半壊なのに、家主に「全壊や」と言われ追い出された。友人の仮設と一緒に住まわせてもらったが、彼が住宅に当たったので、この仮設に来た。去年暮れから無職。(48歳、一人暮らし、担当：小川、堀、小田)

・地震後すぐ中学校に避難し、その後湊川公園で浮浪者生活をしていた。去年ようやく仮設に入居した。クーラーをかけると電気代がかかるので、昼間は暑さを我慢している。(担当者のコメント：一見恐そうな人だったが、話をすると人の良さが感じられた。また「こんなにじっくり話を聞いてくれたのは、生まれて初めてだ」と感謝された。)(58歳男性、一人暮らし、担当：西、嶋田、藤村)

・子供は横浜に住んでおり、ほとんどここに来ることはない。耳が聞こえにくく、心臓が悪い。買い物や身の回りの事は自分で行っている。〈手・足がむくんでいて、言葉と言葉の間でかなり苦しうに息をされていた。心臓も悪いという事なので要注意。〉（83歳女性、一人暮らし、担当：西、嶋田、藤村）

・まだ住宅は決まっていない。いくら申し込んでも当たらないので疲れた。西区ばかり申し込んでいるのだが……。〈震災後、いろんなボランティアの人達にお世話になった。特に街頭で募金をしてくれた子供の姿が忘れられないと涙されていました。〉（担当者のコメント：「感謝の気持ちを絶対忘れない」とキツパリ言われ、私達の方が感銘を受けました。）（67歳女性、一人暮らし、担当：小川、堀、小田）

・ムチ打ちの為、首や足に痛みがあるが、何とか大丈夫。〈歩き方が脳梗塞の方のようで、危なく見える。〉市から個別の公営案内は来ているが、なかなかいい所がない。地元（市街地）を希望。〈余り話したくなさそうだったので、早目に切り上げたが、他を訪問中に「台風の時アンテナが倒れるのでは…修理して欲しい」と言われた。屋根に上がり、支えている針金の補修・アンテナ位置調整を行った。針金がかなり痛んでいた為、県住宅供給公社の電話番号を伝え、取り替えてもらうよう勧めた。〉（61歳男性、一人暮らし、担当：中野、瀬戸、矢萩）

・今後共、抜本的な支援が欲しい。もっとお金が欲しい。医者代が高くつく。消費税が重荷。せめて3%にして欲しい。生活が苦しい。（73歳女性、一人暮らし、本人自筆）

来年5月に転居予定。耳が遠く、骨粗鬆症。日々転ばないように気をつけている。（担当：中澤、岩崎、小林（好））

・震災の時、右半身（鎖骨・肋骨・腰部圧迫・脛部）を骨折、9ヶ月入院していた。1階の端部屋に住んでいた為、外壁と梁に挟まれた。私は助かったが、反対の端部屋の方は2階部分に押し潰され、亡くなった。後遺症で正座が出来ず、椅子がないと座れない。寒い日・梅雨時になると痛む（障害4級）。来年11月公営入居予定。（担当者のコメント：震災で倒壊したご自宅の写真を見せて頂き、身につまされる思いだった。）（65歳女性、一人暮らし、担当：中野、瀬戸、矢萩）

・住宅の特別斡旋申込書が来ているが、よく分からないので記入・投函して欲しい。←シルバーハウジングで市場に近く、エレベーターのある3カ所を記入し、後日投函すると約束した。〈水道代の督促状が来ているが、無視している（最初から契約していないらしい）。息子が2人いるが、交流はないとの事。スーパーの袋やトレイを大量に集めている。トイレが汚れており、天井には缶コーヒーを温めていて破裂したときのシミがついていた。〉（担当者のコメント：行政がしっかり面倒見て欲しいと思った。）（81歳男性、一人暮らし、担当：中野、瀬戸、矢萩）

・身内がいないので、一人で呑気に暮らしている。80歳になるまで働いていたが、今は福祉（生活保護）を受けている。昔、受ける事は恥ずかしいと思っていたので、自分が受ける身になるとは思わなかった。今は家賃がいらぬが、公営に入居後が心配だ。当選したが通知書も見あたらぬ、いつ入居かも分からない。←生活保護を受けている場合、家賃補助が出るので、福祉事務所に相談するよう再訪時、伝える。（86歳女性、一人暮らし、担当：原田、井上、武内）

・公営に入ったら、寂しいので…不安です。ボランティアが全然来てくれない。愚痴だけ聞いても何も変わらない。役所まで一緒に行って手続きしてくれるボランティアが必要。←被災者

連絡会や週ボラの活動内容を説明し、生活保護関連の付き添いは出来ないと返答した。(78歳男性、一人暮らし、担当：清重(智)、川北、矢野)

・前回…引っ越しを手伝って欲しい。

再度お話を伺うと8月に転居予定だが、小物をダンボールに詰め込む手伝いをして欲しいとの事です。引っ越し用のダンボール空き箱は20箱程用意されていました。←次週人手を確保して、その時詰め込める物だけでもお手伝いする。(70代女性、一人暮らし、担当：瀬戸、中野)

・前回…高齢者の一人暮らし

〈引っ越しをどのようにされるか確認に伺った。〉静岡のボランティアに世話になってれた。避難所から仮設への引っ越しや、今度入居する公営の下見にも連れて行ってくれた。たぶん公営への引っ越し作業もしてくれると思う。夫や子供と死別し兄弟もなく、天涯孤独で寂しい。ここも空き家が増えたので、とにかく早くここを出たい。(84歳女性、一人暮らし、担当：中澤、矢萩)

・どこも大変なので、家賃無料でここに住まわせてもらっているだけで、私達は幸せです。ただ夫と息子は鉄鋼関係の仕事をしており、月に10日程しか働けないので、先行きが心配です。まして嫁が妊娠しているので、経済的に大変です。(60代、2人暮らし、担当：松宮、赤松)

・前回訪問…引っ越しを手伝って欲しい。転居後の家賃が心配。

引っ越しボランティアの資料を渡す。転居後の家賃について説明したが、5年後震災減免措置が終了した時のはっきりした家賃金額を知りたがっていた。←ご高齢で行政との対応もおぼつかないと言われるので、納税番号をお聞きし、私が調べる事にした。(82歳、2人暮らし、担当：立花、白岩)

・前回訪問…年金8万円。これでもギリギリ。

生活保護の書類を持参し、受給する事によって、医療補助や家賃補助がある事を説明した。子供さんと相談されるとの事。(70代女性、一人暮らし、担当：立花、白岩)

7月25日

・〈婚約者が留守番をされており、本人は出勤中〉。垂水区の公営住宅に当たった。しかし空き家があるのに、入居日程の連絡がまだない。入居日に合わせ、結婚式の日取りを決めたいのに……。←神戸市営住宅募集係(392-2381)に相談する事を勧める〈1.いつ申し込んだか 2.公営住宅名 3.申込者氏名・住所…募集時 4.入居時期を伝える必要有り〉。

(?歳男性、一人暮らし、担当：瀬戸、山本(由)、矢野、檜尾)

・来年3月にマンション完成予定。全焼した家(28世帯)が寄り集まってマンションを建設する事になったものの、なかなか話し合いがうまくいかず大変だった(35年ローン)。「戦争では皆平等であったが、震災では被災した者としなかった者との間に不平等がある」という人がいるが、このようにいろんな援助を頂いているので、戦争に比べれば幸せだと思う。(74歳、2人暮らし、担当：瀬戸、山本(由)、矢野、檜尾)

・前回訪問…足が痛くて辛い。寝るとき疼くし、あちこち動けない。

公営住宅当たらず。足は手術すれば治るとの事だが、怖くて手術を拒否。しかし最近指先も痛み出し、お風呂で体が洗えない。月・水・金とヘルパーさんに買い物と調理をお願いして、大変助かっている。週に一度の通院は近所に住む姉(75歳)が付き添ってくれるので、それ

が楽しみ（姉は足腰達者）。（73歳女性、一人暮らし、担当：瀬戸、山本（由）、矢野、樫尾）
・前回訪問…弱視・難聴（補聴器使用、障害2級）。情報を教えてくれた人達が転居していき、これからどうしてゆけばいいのか？。シルバーハイツは落選。

補聴器を付けておられるが、電話が鳴っても聞こえない事が多いので、フラッシュ式に替えている。息子は結婚して、仮設を出ていった。〈本当は、息子さんの世話になりたいようだ。〉
目・耳が不自由な者にとって、隣近所が空き家になってしまった仮設で暮らすのは不安が大きい。（64歳女性、一人暮らし、担当：瀬戸、山本（由）、矢野、樫尾）

・前回訪問…なかなか公営に当たらない。パートに行っている。

一人住まいだから、いろいろ不安はあるが、週ボラとコンタクトを取りながら頑張ります。公営に当選したら、住所を知らせます。←「かみひこうき」の用紙を改めて渡した。（65歳女性、一人暮らし、担当：白岩）

・前回訪問…年金8万円。生活保護の書類を持参し、医療補助や家賃補助がある事を説明した。子供さんと相談されるとの事。

生活保護を申請したいが、田舎に土地があるのでダメだ。それを処分したくても出来ず……。この状態でもし公営に当たったら、生活していく事が出来ない。とても不安だ。←被災者連絡会に訪問依頼をした。（70代女性、一人暮らし、担当：西、井上）

・前回訪問…ネコが8匹いて、誰かにもらって欲しい。また出来るだけ早く来て欲しい。

結婚をしたが子供が出来なかったので、猫には産ませてやりたいと思い…今では10匹にもなってしまった。←里親募集の資料を渡した。弟が自分を頼って一緒に住んでいるが、風呂から出て着替える場所がない等…本当は一緒に住みたくない（公営も一緒に住む予定）。（66歳、2人暮らし、担当：赤西、渋谷、柳田）

・前回訪問…妻…糖尿病で右足を切断。ペースメーカーを入れている。週に5日、子供が病院へ連れて行ってくれる。10月転居予定。

手術から1年経過したが、腎臓も悪化し人工透析の必要があるかもしれない。病院に連れて行ってくれる娘も糖尿病になっており、あまり無理させられない。夫は腰痛に耐え、生活を支える為仕事に行っている。（担当者のコメント：偶然、1年ぶりの訪問となったが、以前に比べ病状が悪化しているのに驚いた。少しでも快方に向かってくれればと思う。）（68歳、2人暮らし、担当：西畑、堀、山本）

・前回訪問…脳梗塞で長患いだったが、お互い支え合ってきた妻を2月に亡くした。寂しい。

公営に当選しているが、仮当選の状態でも5ヶ月以上も市から連絡がない。不安だ…調べて欲しい。←住宅募集係に電話し御本人の不安を伝えたところ、直接御本人へ入居時期など詳しい事や安心して下さいという旨を伝えてくれた。（76歳男性、一人暮らし、担当：西畑、堀、山本）

・前回訪問…夫…胃を摘出後、食が細くなり体力回復が困難。手術経過が良くない。10月転居予定だが、2人とも体力がないので手伝って欲しい。

7月11日に夫が亡くなった。再入院して3日目だった。シルバー住宅に入居予定だったが、とても一人では行けない。ここにいられるだけいたい（いずれは息子の家に世話になると思う…）のだが、どうなるか分からない。心臓が弱いので、夏は息苦しい。また、耳が遠く、ドアホンや電話も聞こえない（補聴器を買ったが、不調で使えない）。←ベルボックス、ケアラインの申込みと福祉事務所へ相談する事を勧めた。（76歳男性、一人暮らし、担当：高木、小

林)

・リウマチで両膝が悪く座れない。血圧高く、耳も悪い。夫は肝臓が悪い。それを押して日雇いの仕事に行っていたが、今では月に4～5日しか仕事がない。貯金もなく、病院に行けない。生活費は娘や知り合いに借りているが、それも限界。←生活保護のチラシを渡し説明したが、再度被災者連絡会から話をしてもらおう予定。公営はまだ当たっていない。(48歳、2人暮らし、担当：西畑、堀、山本)

・足が悪く、長く立ってられない(週2回通院)。ホームヘルパーが週2回来てくれる。住宅は何回申し込んでも当たらない。(担当者のコメント：足がむくんでいて、かなり悪いようだった。身の回りの事は自分でされていると言うが、高齢なので心配だ。公営に当たらないので思い詰めている様子。)(86歳男性、一人暮らし、担当：早田、塩原、藤村)

・夫はアルバイトで清掃の仕事に行っているが、会社から辞めるように言われている。年寄りにはあかんのやろか！。仮設に来てから空気がいいので気に入っているが、周囲の仮設を見る目は冷たい。「同じ市民なのに」と思うと腹が立つ。11月に公営へ転居予定。今日は話を聞いてくれて嬉しかった。私はなるべく他人に震災の事を話すようにしている。また来て欲しい。(70歳、2人暮らし、担当：高木、留木、小林)

・公営は須磨に申し込んだが当たらなかった。先日市の人に来て「須磨は当たりにくいよ。長田に家賃半額補助で手頃な単身者向けがあるから」と勧められた(公営移転前の民間賃貸一時入居の事か?)。でも知らない所は嫌だ。(84歳女性、一人暮らし、担当：高木、留木、小林)

・30代で左半身不随になったが、今は回復して動けるようになった。でも、時々自律神経失調症でクラツとなる事も。昨年「被災地しごと開発事業」に月10日ほど行き、ゴミ回収の仕事をしている。来年、公営へ転居予定。(担当者のコメント：口は達者で、言いたい事があれば行政に掛け合う。「若いもんがもっと頑張らないと」と言っておられた。)(50代女性、一人暮らし、担当：柳田、矢萩)

・真っ直ぐに歩けないので、外では側溝の近くなど歩かないよう気を付けているが、家の中でコケる事も。月1回りハビリに行く。医者によると脳から来ているようだ。(ケアライン等勧めようと思ったが、電話前に娘さんの連絡先を控えており、また隣のご夫婦や娘さんがよく見ておられるようなので、それ以上勧めなかった)。来年3月公営へ入居予定。駅に近く、買い物も便利そうなので楽しみにしている。(82歳女性、一人暮らし、担当：柳田、矢萩)

・来年8月公営へ入居予定。だが来年3月頃には、ここの住民はほとんどいなくなるので、仮設統廃合でどこかに“仮住まい”させられるのではと心配。あと2回も引っ越すのは、80歳の年寄りにはシンドイ!!。(80歳、?人暮らし、担当：赤西、渋谷)

・いろいろチラシを入れてくれるのは有り難いが、大正生まれの韓国人なので、ひらがなしか読めない。また行政の情報などどうなっているのか、分からない。(担当者のコメント：行政関係・住宅関係で、ハングルの説明書はないだろうか?(漢字よりは読めるとの事))。(74歳女性、一人暮らし、担当：赤西、渋谷)

・前回訪問…8月に転居予定なので、小物をダンボールに詰め込む手伝いをして欲しい。

お手伝いの為訪問すると、引っ越し予定は8月末で、詰め込み作業はまだしないとの事。再度引っ越しボランティアの説明と、8月末にお手伝いに伺えるか、お約束できない旨伝えた。

〈相談すると、その都度すぐ対応してくれるので嬉しいと喜んでおられました。〉(70代女

性、一人暮らし、担当：佐沢、林、亀井)

8月1日

・輸血による感染でC型肝炎になり、肝臓が悪い。毎日、長田まで通院している。妻は高血圧。年金は14～15年しか掛けてなかった為、現在なし。無収入で貯金を食いつぶしているが、それももう底をつく。〈生活保護の資料を渡し、申請するよう勧めた〉。生活保護を受けたいが、通院に必要な車（軽乗用車）を手放さなければならず困っている。←被災者連絡会に訪問依頼をした。2人共足が悪く、エレベーター設置駅周辺で、近くに市場がある（物価が安い）公営を希望しているが、なかなか当たらない。（68歳、2人暮らし、担当：土橋、猪上、長船）

・耳が不自由（補聴器を使用している）。右手は神経痛（肩から指先まで痛む）で、お米も洗えない。以前週末ボランティアの人が、車で市長選に連れて行ってくれた事があり、うれしかった。移転しても、また来て欲しい。〈その時の新聞の切り抜きを、大切に飾っていた。また、そのメンバーの住所も大切に持っていた〉。（84歳女性、一人暮らし、担当：土橋、猪上、長船）

・前回…隣の空き家から何かをたたく音が聞こえ、怖い。眠れない。

まだ音が続いていて、気がおかしくなる。（担当者のコメント：日頃、人と話す機会がないようです。出来れば、何度かの訪問が必要と思います。）（65歳女性、一人暮らし、担当：メシア、林、橋本）

・前回…妻は高血圧から糖尿・半身不随となり、痴呆症状も出てきている。妻の介護疲れと肝臓を悪くした為、2週おきにショートステイへ行ってもらっている。

現在、妻にショートステイへ1ヶ月ほど行ってもらっている。酒を完全に止める事が出来、調子が良くなってきた。〈元気そうでした〉。 （66歳、

2人暮らし、担当：メシア、林、橋本）

・前回…父の名前で申し込んだ（単身）公営が当選した。同居出来るだろうか？。

〈同居について、収入基準が父・息子合算してオーバーしなければ大丈夫ですと説明した。8月3日に入居説明会があるので確認してみるとの事〉。父（72歳）は脳梗塞で倒れ（今度で3回目）、入院中。退院許可は出たが、今の季節仮設に戻ってきて再発されても困るので、しばらく入院してもらおうつもり。自分では大丈夫と言っているが、一人では放っとかれんし……。今の父を考えると、来年7月入居まで仮設にいられない。〈公営入居待機者支援制度（公営に移るまでの民間賃貸住宅入居に補助金が出る）の資料をお渡ししたが、「希望の民間に行けるのか？」の問い。県住宅供給公社（326-7494）に相談するよう勧めた。←希望の民間に行けます〉。昨年まで不動産の仕事（自営）をしていたが、倒産した。知人の紹介で、建設作業員（臨時）になったが、ヘルニアになってしまい仕事が出来なくなった。「被災地しごと開発事業」で働きたいが、罹災証明がないとダメなようだ（罹災証明持参と書いてある）。〈案内に記載された問い合わせ先に確認するよう勧めた。生活保護の書類もお渡しした。←罹災証明が必要です。被災者連絡会に訪問依頼をした〉。親父は最近「75万円もらえる」と隣のベッドの人とそんな話ばかりしているようや……。恒久住宅で落ち着いて、金もらうまでは死ねんようや…〈と笑っておられた〉。（41歳男性、一人暮らし、担当：小泉、山本（紀）、矢萩）

・前回…平成12年5月入居だが、支援金はもらえるのか不安。

〈公営に当選したか確認のハガキが全戸一斉に届きます。入居予定を書き込み返信すれば、転居時期に書類が届きますと説明をした。8月5日に公営の説明会があるので確認してみるとの事〉。震災前に大腸にポリープができ切除。それ以来、夏は調子が悪くなる。年寄りの一人暮らしは、話し相手もおらへんし…あきらめている。来年3月に、この仮設がつぶされるかもしれないと聞いたが、また引っ越さなあかんのか…不安や。(73歳男性、一人暮らし、担当：小県、矢萩、山本(紀))

・前回…公営に入居後、訪問されても良いとの事。息子さんは長距離トラックの運転手で、ほとんど家にいない。

息子は最近仕事が少なく、仮設に10日間いた事もあった。収入は不安定(正社員でない為)。(72歳、2人暮らし、担当：小県、山本(紀)、矢萩)

・前回…高齢者の一人暮らし。

骨粗鬆症で毎日病院通い。「長生きが大切」なんて言わないで欲しい。公営が決まったのはうれしいが、仮設にやっと慣れたのに……。独り身なので、引っ越しが大変。〈引っ越しボランティアの資料を渡す〉。(78歳女性、一人暮らし、担当：西、竹田、山中)

・前回…手や足がむくんでいる。言葉と言葉の間でかなり苦しそうに息をされていた。心臓も悪いという事なので要注意。

血圧が上がっていたが、今は下がっている。3～5月まで息子の所にいたが、やっぱり神戸がいい。公営は来年5月転居予定。昔住んでいた近くで、甥や姪がいる。〈保健婦さんは良く回ってきてくれる。ヘルパーは今のところ必要ないとの事。引っ越しサービスの資料を渡した〉。(83歳女性、一人暮らし、担当：赤西、赤松、堀)

・前回…高齢者の一人暮らし。

今月引越予定だが、その費用がない。〈転宅資金貸付制度を勧めた〉。4年間飼っていた猫が最近いなくなり、精神的に参っている。(75歳女性、一人暮らし、担当：矢野、白倉、佐々木)

・前回…高齢者の一人暮らし。身内がない。転居後の家賃が心配。福祉を受けている。

〈引っ越しや家賃の事等について、福祉事務所に相談するよう勧めた。全て民生委員に任せている(書類も持っている)ので、電話してみると言われていた〉。胃腸・耳とも大丈夫。何でも自分で出来る。貧乏やけど気楽やわ。(86歳女性、一人暮らし、担当：矢萩、山本(紀)、小県)

・隣の方は「年をとっているので長田以外は行けず、他は申し込んでいない」と言われている。まだ当たっていない。今までお世話してきたが、私も8月に転居予定です。その後、どうされるのか心配です。(？歳、？人暮らし、担当：メシア、林、橋本)

・前回…人工骨を入れているので、立ち上がりにくい。足を去年骨折。公営に外れ、精神的に落ち込んでいる。

骨折は完全に治らないが、通院は終わりそう。元住んでいた所ばかり申し込むので当たらないやろね。(担当者のコメント：「私は運が悪いから」なんて言いながらも、前向きに頑張っておられる姿が印象的でした。)(？歳女性、？人暮らし、担当：メシア、林、橋本)

・前回…福祉(生活保護)を受けている。

30年前に背中(脊髄)と足を痛めた。「被災地しごと開発事業」に、10日(1ヶ月)程

行く事になった。困っているのは、話し相手がいない事。先日、心のケアセンターに電話すると、訪問もしてくれた。(担当者のコメント：普段話し相手がおられないとの事だが、仕事に行く事で話し相手が出来、気晴らしが出来ればと思った。)(59歳男性、一人暮らし、担当：矢萩、小県、山本(紀))

8月8日

・雑草が多いので草抜きを3月から始めたが、今月までかかってしまった。それでも夕方になると蚊が多く、外に出られない。仮設に来てから病院通い(遠い)が続き、精神的・肉体的にボロボロ…。『普通の生活をするのが夢』だが、公営はいまだ当たらない。先日、生活支援金(仮設居住者には支給されない)の件で座り込みに行った時、「支援金もらえないまま、仮設で死んだらどないすんねん」と抗議の声が県職員に上がったところ、「死んだら仕方がない」との答え。これが人間の言う事か！。今度の震災でいろいろな人に出会い、教えられた事が多い。それが自分にとっての財産・宝物になっている。(67歳女性、一人暮らし、担当：川口、祝、矢萩)

・支援金下りるのが私の場合75万円と聞いていますが、本当でしょうか？。出ますでしょうか？。←再訪問をし、資料にて説明する予定。私も年ですから健康ではありません。腎臓の持病がありますし、一人暮らしなので、自分をいたわりながら暮らしています。(81歳女性、一人暮らし、本人自筆)

被災3日後に親戚の家へ避難したが、アパートの解体に立ち会う事も出来ず、荷物もほとんど持ち出せなかった。踊りの着物がたくさんあったのだが……。その後4ヶ月の入院を経て息子夫婦と同居したが、折り合いが悪く単身で仮設へ来た。公営は10月転居予定。腎臓が悪い為、尿量が低下しているが、これ以上悪化すると、透析の可能性もあると言われた。今は塩分を控えているので落ち着いている。〈引っ越しボランティアの資料を渡す。公営への訪問依頼を受けた〉。(担当者のコメント：今日の訪問を待っておられたご様子。これまで心に溜めておられた思いを一気にお話しされていた。最後に「話をして、すっきりした」と言われたのが印象的でした。)(担当：清重(智)、小林、長沼)

・高血圧だが、薬を飲んでいるので落ち着いている。現在、自治会の運営に携わっているが、今まで人の世話をしてきたので苦にならない。これから先もいい事があると思って生きている。公営は10月転居予定。(81歳女性、一人暮らし、担当：小野、矢野、小田)

・心臓が悪く、1日数回は脈を計る。胆石も溜まっている。今まで、入退院の繰り返しだ。まだ公営に当たらず。(？歳女性、一人暮らし、担当：佐沢、赤西、小川)

・息子(20代)と2人暮らし。親子とも病気。行政(おざなり)も、ボランティア(要望を言っても結果が返ってこない)にも失望し、誰も信用していない。公営は当たらず。(70代、2人暮らし、担当：川口、桜田)

・ここに来て3年になるが、今だに住宅が当たらない。特別斡旋住宅を申し込んでいるが、今度もまた当たらないと思う。どうしたものかと…途方に暮れている。(50歳男性、一人暮らし、本人自筆)

肝臓が悪く血圧も高いので、アルコール・辛い物は控えている。体の調子が悪く、仕事をしていない。福祉を受給。(担当：小野、矢野、小田)

・住んでいたマンションは全壊。二重ローンを出来ないので、権利を公団に売った。公営は1

1月転居予定。(70歳男性、一人暮らし、担当：小野、矢野、小田)

・草刈りをする人が減り(住民の減少)、雑草がすごい。その為、蚊やハチが発生して困っている(マムシが出た所もある)。また、草が生えてない所は人が住んでいると分かり、防犯上からも良くない。公営は10月転居予定。(?歳?、?人暮らし、担当：赤西、佐沢、小川)

・身体障害者(心臓病)。最近は消化器・ヘルニアも患っており、体調は今一つだ。しかし、まだまだ若いので、生きて行くつもりである。公営は来年5月転居予定。(48歳男性、一人暮らし、担当：川口、桜田)

・同じ敷地内に息子と自分の家(2軒)が建っていたが、全壊。今は息子家族が家を再建し、住んでいる。ここにも良く来てくれる。公営はまだ当たっていない。隣の方が引っ越しで犬を飼えなくなり、1匹は私が引き取った。しかし、残り3匹は住んでいた部屋に置きざり……。結局その世話もしている。時々様子を見に来ているようだが……。 (72歳男性、一人暮らし、担当：祝、矢萩、小田)

・C型肝炎の為、週1回長田まで通院している。JRだと交通費が高いため、西神中央までバスで行き(40分)、地下鉄を利用する。ワシはヤクザの上役で、社会的にも迷惑を掛けたが、家族・親戚にも見放され、仕方がない人生だ。公営メドなし。社会に迷惑を掛けたから、後の後で構わん。〈若い頃から文学に卓見で、司馬遼太郎の作品を読みあさったとの事。史観的な文学のお話が続々と出たが、わからなかった。ご自分も原稿用紙にエッセイ(実に達筆)を書き始めておられ、ほんの少し読ませてもらったが、文章は華麗かつ修辞を凝らされていて、気韻と信念の凄さに驚きました。文学の話しに”花が咲いた”時間でした〉。(62歳男性、?人暮らし、担当：白岩)

・変形性関節症による膝関節障害で、長く歩く事が出来ない。昨年11月、左膝に人工関節を入れる手術をし、大変痛い思い(リハビリの曲げ伸ばし)をされたようです。続いて右膝の手術もしなければならぬが、住宅が当たってからにしたいと言われていた。通院に不自由しているので、診断書を添付し申し込んだが(公営は治療医に近い所を)、全くダメとの事。お隣の方が「こんなに不自由な人を、行政は何で面倒見れんや!!」と声を大きくして言われていた。(担当者のコメント：お隣同志、仲良くされているので嬉しく思う。)(66歳男性、一人暮らし、担当：白岩)

・前回訪問…肺の手術をしたが、今もまだ痛む。

体調がすぐれない。最近、不安になる……。精神不安定な事が多く、2週間ほど眠れない日が続いた。魔が差して…自殺してしまうような気がするので、外出していない。生活保護の申請に区役所へ行ったが、対応が悪いし、何より返答が遅い。申請日のタイミングが悪かった為、せつかくお金が下りてもそれ以前に行政から借りていたお金と相殺されてしまい、その他公共料金の支払い・病院の交通費等で、手元に残ったのはわずかだった。(65歳男性、一人暮らし、担当：小川、小林(好))

8月15日

・4年前の交通事故で頭と腕(複雑骨折)を打ち、その後遺症が今も出る。また地震の際足を強く打った為、うまく座れなくなった。ここは捨て猫が多く、それを防ぐ為に玄関に網戸を入れた。三宮近くに住んでいて楽に暮らせると思っていたのに…年いってから、こんな事になるうとは思わなかった。11月転居予定。(83歳、2人暮らし、担当：白岩、赤松、青木)

・胃腸が悪い。西市民病院まで通っていたが、ここから遠いので止めた。仕事も辞め（通勤が大変）、福祉（生活保護）を受けている。住宅はまだ当たっていない。ここは交通が不便なので、自転車を利用する人が多い。また、その盗難も多い。（60代男性、一人暮らし、担当：西、原田、武内）

・慢性C型肝炎で、入退院の繰り返し。睡眠薬を飲んでも寝られない……。自営業をしていたが、全壊し廃業となった。今だ借金が2,000万ほど残っており…自己破産を考えている（息子・娘に迷惑を掛けられない）。いつまでも震災と言って甘える事は出来ないが、借金返済は無理。友人も酒による肝硬変で次々と死んでいる。震災直後に支援金を支給して欲しかった。この仮設に住み慣れると、孤独感と無気力を乗り越え、考える事が出来なくなる。（50歳男性、一人暮らし、担当：中野、瀬戸、小野、佐沢）

・鉄工所を営んでいる。震災前、5トンもある新型機械を購入した（借金）。被災時その機械が設置場所から1mほど移動し、その上に住居部分の2階が落ちた。機械が命を救ってくれ、仕事も与えてくれている。被災後、鉄工所を駒ヶ林（長田区の仮設工場地域）へ移転し、一人で操業している。公営はまだ当たっていない。（55歳、2人暮らし、担当：中野、瀬戸、小野、佐沢）

・目下、職探し中……。それだけが問題。〈雇用・就業の資料をお渡ししたところ、真剣に読んでおられた〉。11月転居予定。（60代男性、一人暮らし、担当：赤西、永田、芳松）

・半壊なので支援金がもらえない。←解体証明があればもらえます。再訪問をし、状況確認をする予定。公営住宅は申し込んでいない。（46歳男性、一人暮らし、担当：渋谷、竹村、藤村）

・電気工事の会社を営んでいる。仕事が3ヶ月ほどなかったが、最近やっと受注が入った。こんな不況下で、仕事があるだけ有り難い。若い人達に仕事を教え込もうとすると、逃げてしまうので下手にいろいろ言えない。それで、つい細かい事などは自分でしてしまう。（61歳男性、一人暮らし、担当：赤松、青木、白岩）

・仕事（勤務地）が大阪なので、出来るだけ市街地の住宅に移りたい。他に望む事はない。（?歳男性、一人暮らし、担当：赤西、永田、芳松）

・3万円の交通費の内、会社からの補助は15,000円しか出ず、残り半額は自腹。隣のご主人が亡くなられ、最近はお奥さんも見かけない。植木や畑をほったらかしにされているので、蚊がわいて困る。来年5月転居予定。（31歳女性、一人暮らし、担当：瀬戸、中野、小野、佐沢）

・くも膜下出血の後遺症があり、イライラすると体調が悪くなる。公営は、かつて住んでいた中央区ばかり申し込むので、当たらない。ここの生活も2年半になり…もう慣れたわ。ただおとなしく、住宅が当たるのを待つのみやね。（44歳男性、一人暮らし、担当：赤西、永田、芳松）

・前回訪問…10月転居予定。支援金が75万と聞いていますが、本当でしょうか？。出ますでしょうか？。←状況を確認し、資料にて説明する予定。

〈罹災証明を持っているとの事なので支援金は出ますと伝える。金額については所得税・住民税が非課税との事なので、90万円（65歳以上・単身者）+30万円（被災時の住所から見て、公営住所がブロック外になる為。※ブロックは5つに分かれています）になる事を説明

し、市に相談するよう勧めた。「今まで市から30万ほど支給されているが、その分を支援金から差し引かれるのか」と聞かれたので、義援金から支給された分と今回の支援金は別なので、引かれる事はないと説明した。支援金が出たら、今まで世話になった身内にお返しをするつもり。息子夫婦にいくら、あの人にいくらと”捕らぬ狸の皮算用”をしていますくと笑っておられた。両隣・向かいが引っ越してしまい、用心が悪い。若い女性の一人暮らしの方は、寝ているところをのぞかれたとの話。物騒なので早く出たい。(81歳女性、一人暮らし、担当：川北、縣、矢萩)

・前回訪問…今月18日に鍵渡し。飼い犬を何とかしたい。引き取り手を探している。←ペット情報誌資料(里親探し)を持っていく予定。

〈資料をお渡ししたが、友人達に頼んで資料や情報を集めているとの事〉。夫は体を悪くし定職に就いていないが、友達の紹介で時々アルバイトに行っている。公営に落ち着いたら私も仕事を探すつもり。夫婦2人だけだから…何とかやっている。(38歳、2人暮らし、担当：川北、縣、矢萩)

8月22日

(記録なし)

8月29日

・仮設での近所付き合いは、苦勞した。社会で働いた経験がなく、人との付き合い方も余り知らなかったのが、大変だった。〈「転居時、冷蔵庫・洗濯機を買い替えるつもり。今使っているのは、どう処分したらよいか」との質問に、市環境局計画課の電話番号を伝え、相談するよう勧めた。換気扇のフード交換の依頼を受けたので、交換した。〉(80歳女性、一人暮らし、担当：澤、下窪、矢萩)

・仮設の人員は減る一方で、寂しい思いを毎日のように感じる。部屋の外は雑草が生い茂り草刈りをしたいが、腰が痛むから無理だ。ここに来てから病気ばかりしていたが、食事をきちんと取り散歩するようになってから、健康状態は良好。しかし、この年では今年の冬を越せるか心配だ。老人ホームの下見もしたが、姫路は病気になると退去させられ、西脇は山奥なので入居を断念。娘3人が同居しようと言ってくれる。でも身の回りの事は一通り出来るし、一人の方が気楽だ。来年春の公営入居までまだ相当の日数があるが、老骨に鞭打って一日一日を大切に生きていこうと思う。(88歳男性、一人暮らし、担当：澤、下窪、矢萩)

・足が悪いので、立ったり座ったりに時間がかかり、物も持てない。こんな調子なので、買い物はいつも隣の方に頼み、掃除は週に1回ボランティアが来てくれる。とにかく暑がりの私にとって、今年は大変です。来年7月に転居予定。(83歳女性、一人暮らし、担当：猪上、田中(母)(娘))

・今年3月まで働いていたが、「年なので休んでくれ」と会社から言われ辞めた。ここにいると苦しいですわ……。「もう、いややー！」と叫んだ事が何度かある。年金をもらっていないので、仕事を探している。シルバーセンターへ行き「1日だけでもいいから、働かせて」と言うが無理(70歳以上は、職安で仕事をもらえない)。まだ働けるので、仕事が欲しい。←高齢者無料職業紹介所の資料を渡す予定。(74歳女性、一人暮らし、担当：田中(母)(娘)、猪上)

・耳が遠い。体がかなり震えていて、歩くのもままならない。部屋も掃除されていないようで汚れていた。お風呂にも入っていないとの事。一人で生活するのが、困難な様子。(担当者のコメント:このまま放って置いたら、孤独死しそうな感じがした。)(80代女性、一人暮らし、担当:田中(母)(娘)、猪上)

〈保健所に電話にて確認。パーキンソン病の為、体に震えがある。人との接触を嫌っておられ、用事はないといつも追い返される。親類の方へ連絡はついているが、本人が何も受け入れようとしないので、手のつけようがない(強制出来ない)との事。食事の買い物を頼まれている方が11月に転居予定なので、それがきっかけになるのではと…、今後も見守っていく予定ですと言われていた。〉(担当:若菜)

・毎日一人で生活していて、話し相手がいない。血圧が高く、精神安定剤を飲まないで寝られない。公営にはまだ当選していないが、出来るなら…以前住んでいた地区に戻りたい。:タクシーの運転手をしていたので、話し好きとの事。3時間程話し込んでしまった。(67歳男性、一人暮らし、担当:西、鈴木、藤村)

・夫・余り体力がない。妻・腰・足・目・耳・鼻が悪く通院中。腰はちょっとうつむくだけでも痛む。ゴミを運ぶのがしんどく手助けをして欲しいが…誰もいない。来年引っ越す時は、ボランティアに頼もうかと思っている。ここに来た頃は、ボランティアがよく来てくれたけど、最近は余り来てくれない。(70代、3人暮らし、担当:山崎、佐藤、青木)

・公営が当たらない。市の住宅斡旋は、垂水の奥など不便な所ばかりだ。(7歳女性、一人暮らし、担当:山崎、佐藤、青木)

・3DK・4DKの申込者は少ないので、一度空きの調査をしてみて…公営の建て方が間違っているのが解る筈。もっと2DKの公営住宅を建てて欲しい。そうすれば、一人暮らしの者が入れ、仮設が解消する。公営の申込み書を書いている時“抽選のはず”なのに、そこは駄目と言われた。なんで?。物価は高く(市場で買い物が出来ない)、公営に転居しないと自立支援金がおりにない。これでは仮設に住む人は、復興へ力の入れようがない。(73歳女性、一人暮らし、担当:西野、仁井田、芳松、赤松(由))

・前回訪問・高齢者の一人暮らし。肝臓が悪い。平成12年5月転居予定。

3年間毎日通院していたが、やっと隔日通院になった。住人は同じ棟の人がおらず、向かいの棟も11月と来年5月に引っ越す。一人でその後1年間暮らしていけるか、とても不安だ。夜は怖くてドアを開けられなくなるだろう。電気も回りについていないし……。 (75歳女性、一人暮らし、担当:山崎、佐藤、青木)

9月5日

・膝が悪く、甲状腺ホルモン低下の為ずっと注射を打っている。行政の人に勧められた県住に当たったが、エレベーターがなく、坂もある所なので困っている。締め切り間際だったので、下見もせずに申し込んでしまった。←足や体調が悪いということなので、断る事も出来る旨伝える予定。〈「かみひこうき」にいつ手紙を出しても返事を頂けるのがうれしい。今日も千日紅の種をもらったと言われ、感謝されていた。〉(76歳女性、一人暮らし、担当:赤松(由)、瀧川、小林(弘))

・夫は去年ここで亡くなった。息子は、仕事(工務店)がなくなり失業。40歳なのでなかなか仕事がない。〈ご自分の半生を一気に話して下さった。〉公営は西神南に当たって喜んでい

るが、保証人がいない。←説明会の時、保証人がいないと言えば、相談にのってくれます。その旨書いた資料を再訪時渡す予定。(70歳女性、一人暮らし、担当：赤松(由)、瀧川、小林(弘))

・私共も当仮設住宅に来て早いもので3年余り過ぎましたが、復興住宅・旧居住地への転居などで、各棟に空き家が目立つようになり寂しくなりました。これから先、近隣との話し相手も少なくなり、後に残された人達の精神的な不安は計り知れないものがあります。今まで以上に心身のケアが必要と思われますので、今後共皆様のご支援とご協力をお願い致します。公営へ10月転居予定。〈要望〉仮設に居住していても、恒久住宅に当選している者へ自立支援金を支給するよう実現に努力して下さい。(65歳、3人暮らし、本人自筆)

・長男は身体障害者の施設に入居中。震災の2日前まで帰宅していたが、もしその日いたら、長男を助ける余裕はなかったと思う。私自身心臓が悪く、高血圧・白内障・前立腺肥大・耳が遠いと諸病を抱えています。娘が生活を支え、面倒を見てくれるので暮らしていけます。今回玉津の公営へ当選したが、向こうでは自転車が必要品になるというので、リハビリも兼ね乗る練習をしています。(82歳、2人暮らし、担当：猪上、貝沼、青木)

・震災時、隣のマンションの屋上にあった貯水タンクが、家の屋根を突き抜けて落ちてきた。幸い家族にケガはなかったが、何もかも水浸しになり使いものにならなくなってしまった。公営に当選したが、何の通知もなく不安。家賃や敷金などいくらになるかわからないし……。←神戸市住宅募集係(392-2381)に相談する事を勧める予定。(67歳、2人暮らし、担当：白岩、原、小田)

・家の裏手で野菜を作り、皆に配っている。3年間毎年作ってきたが、もう最後。公営に当たったので。夫婦共に元気(よく歩くようにしている)。お金はないけど、心だけは朗らかにと心掛けている。(担当者のコメント：とても元気な方で、私達も元気づけられました。)(81歳、2人暮らし、担当：白岩、原、小田)

・来年7月に転居予定だが、仮設の閉鎖が3月というので、どうしようと思っている。病人がいるし、何度も引っ越しするのは大変。(82歳、2人暮らし、担当：白岩、原、小田)

・臨時福祉給付金を出すなら差別しないで全員に出して欲しい。厚生年金受給者はもらえないなど条件が多すぎ、何年も働いて税金を納めてきた者にとっては、納得がいけない。以前、病気の時に知り合いがいなくて大変な思いをしたので、短期間(1日だけや2,3日)のヘルパーがあればと思う。(65歳女性、一人暮らし、担当：清重(智)、亀井、祝)

・震災後、住宅がなくて困っていた時に仮設に入れただけでも良かった。仮設も3年経って限界か…と思った時に、公営(西神中央)が当たり喜んでいて。市には本当に良くしてもらい、感謝している。でも転居先は住んだことがない所なので、対人関係が不安。(担当者のコメント：公営も訪問しますとお伝えしたら、「心強い。寂しい気持ちがなくなる」と言っておられた。)(84歳、2人暮らし、担当：長船、木原、沼田)

・昨年、腸が腐って2m位切る手術をした(障害3級)。肝硬変の一步手前だった。今も週1回通院し、薬は精神安定剤等10種類位飲んでいて。公営に11月転居予定。生活保護と医療保護を受給中だが、役所からは公営に移転後1日4~5時間でも仕事をするように言われている。「仕事を探せ」言うても、今時あらへん。それにこの体では仕事はでけへん。役所がもうちょっと情ある言い方だったら話す気にもなるけど…あいつらと話すのも嫌やくと泣きながら言っておられた。読書やファミコンなど楽しみは作っているが、それまでの生活(離婚歴あ

り)が辛すぎる。(担当者のコメント:ドアを開けた時に酒の臭いがして、飲まずにはやりきれないのでと思った。何とか生活保護が打ち切られないよう、または適職が見つかることを願う。再訪問を約束。)←役所が勧めている仕事は、被災地仕事開発事業の軽易な仕事(月10日程度、月収3~5万円でチラシ配り等)だと思うので、1日でも行ってみよう話す予定。また、本人が今後どのような経過で生活を立て直していくか、行政に説明すれば理解してくれる旨伝える。(39歳男性、一人暮らし、担当:長船、木原、沼田)

・荷物が多く市営の1DKでは収まりきれないので、古い公団を申し込んだ。住人は仮設に住んでいた経験がないし皆と家賃も違うので、気分的に重い。また新しい関係を作らないといけない……。(70代女性、一人暮らし、担当:猪上、青木、貝沼)

・妻は被災時に足を骨折し車椅子の生活だったが、現在はようやく少々の歩行が可能になった。また手がリュウマチで、L字形のまま曲がらない。<ご主人はしきりに、自分達で何とかやっけていこうと言われていた。しかし疲労の為、歯茎の膿が喉に入りリンパ腺が腫れたり腰が悪いなど、日常の介護に疲れている様子。ホームヘルパーの説明をし、資料を手渡した。>(61歳、2人暮らし、担当:西、山村、藤村)

・住宅はまだ当たっていない。次回の申込みは9月中旬から、個別に相談があるらしい。何とかかならうと思っている。<来年3月以降どうするのか、一緒に考えていきましょうと名刺を渡した。当たりもしない住宅を、苦勞して自分なりに下見されていたとの事。住宅の下見をする必要があれば一緒に行こうと言った事が、一番安心されたようです。>(74歳女性、一人暮らし、担当:藤沢)

・どうしても市街地に戻りたくて何回も申し込んだ結果、今回ようやく当選し、10月に引越す予定。以前『市長への手紙』に“若い人ばかり抽選に当たって、私達のような年寄りが当たらない”と書いて出したら、秘書から電話があり「そんなもの出すな」と言われた。(78歳女性、一人暮らし、担当:鹿島)

・前回訪問…一人で生活するのが困難な様子。保健所の説明では、本人がサービスを何も受け入れてくれず、見守っていくしかないとの事。

通っていた病院は市街地なので、今は行っていない。<身体は震えているが、本人は元気で言う。(買い物をしてくれる)近所の方もいなくなるねと言うと、それには答えない。ボランティアとしては、元気かどうか確かめる事ぐらいしか出来ないと思う。>(80代女性、一人暮らし、担当:藤沢)

9月12日

・公営はようやく当選。今まで公営に住んだ事がないので、皆さんどうまくやっけていけるのか、どこまで責任を持たないかのか、一抹の不安がある……。弟は心筋梗塞に罹り、腕がマヒしている。西神医療センターに入院してもすぐ退院させられるが、仮設では養生出来ない……。医者は専門化しているせいか、自分の診ている事しか話してくれない。昔のかかりつけ医のような親切さが無いのが寂しい。また病院でのリハビリの説明はわかりにくく、介護もどうしていいのやら……。←保健婦さんにリハビリ・介護の説明をしてもらう方法があるので、訪問の必要があるか、確認を取る予定。(68歳、2人暮らし、担当:山本、本邑、長船)

・心臓が悪く、ペースメーカーを入れている。人生良い事ばかりでなく、悪い時の方が多いものだ。人間欲を出さないで過ごせば、何の心配もない。公営は11月に転居予定。(68歳、

3人暮らし、担当：長船、山本、本邑)

・腰が悪く、荷物を両手に持つのが大変。朝5時に起きて散歩をしラジオ体操をするのが、日課となっています。また、出来るだけ若い人と一緒に過ごすようにしています。自分自身が前向きになれるから……。わずかな事に喜びを感じる事が出来るのは、幸せだと思う。来年3月公営へ転居予定。(70歳女性、一人暮らし、担当：八橋、齊藤、青木)

・それぞれ違う仮設に当選していたが、病人同士離れて暮らすよりはと…同居する事になった。兄は目・腰が悪く、毎日外科へ通院している。私は保険証がないので腰痛があっても、兄の薬や買った薬で済ませている。出来れば医療扶助を受けたい。〈医療扶助を受けるなら、今住んでいる所へ住民票を移しておかないと、いざ病院の時に医療券を貰いに行くのが大変ですよと話した〉。これまで市街地の公営にいつか戻れると思って移していなかった。とにかく来週にでも役所に行って、福祉の事を相談してみる。公営にはまだ当選していない。(72歳、2人暮らし、担当：白倉、西、亀井)

・来年の8月公営へ入居予定。説明会で“入居まで仮設に居れる”と言われ安心した。現在生活保護を受けているが、8万ぐらいの金額では、光熱費等ですぐなくなる。ギリギリの生活だ。(64歳男性、一人暮らし、担当：白倉、西、亀井)

・いつもボランティアの皆様にも励まされ勇気づけられ、本当に心から喜んでおります。私共二人元気に暮らしており、来年の春には恒久住宅へ移ることも決まりました。明るく希望を持った毎日です。皆様には感謝しております。(74歳、2人暮らし、本人自筆)

・前回訪問…妻は昨年甲状腺を手術し、声が出にくい。来年5月名谷の公営に転居予定。

金婚式で神戸新聞社から表彰された(部屋に写真と賞状が飾られていた)事を嬉しそうに話されていた。移転の際、引っ越し費用が心配(近所で高い見積もりを出された人がいたので)。また引っ越しボランティアは、気を使うので頼みにくいと言われていた。〈兵庫県トラック協会と加盟業者の電話番号、料金の目安を伝え、業者選びの際は2~3社から見積もりを取るよう勧めた。〉クーラーを使うと本体から水漏れがする。〈フィルターを掃除したが止まらないので、住宅供給公社に電話するように伝えた。〉(担当：深川、小川(朗)、市山、矢萩)

・前回訪問…10月西神南の公営に転居予定。妻…被災時足を骨折。リュウマチで手が曲がらない。夫…妻の介護に疲れ、リンパ腺の腫れや腰痛等に。←経済状況を聞き、利用可能な福祉サービスを探す予定。

今のところ介護は何とか出来ているし、引っ越しの準備で忙しく福祉サービスの件は考えている余裕がない。妻は障害3級(両足に鉄板が入っている)。〈医師の診断書があればヘルパー派遣は可能である事と、窓口となる区役所保健部の電話番号を伝えた。〉介護や家事で忙しく、体調も悪いので仕事はしていない。公営に移転したら、仕事を探したい。(61歳、2人暮らし、担当：深川、小川(朗)、市山、矢萩)

・母と2人暮らし。会社はポーアイなので、毎朝5時半頃車で出勤している。早く市街地に戻りたい。20年程ポーアイに通っているのが…沈下しているのがよく分かる。神戸市は必要ないお金を、ものすごく使ってると思う。空港にしても…関空と伊丹があり、被災地のメドも立たないのに……。 (40代、2人暮らし、担当：白倉、西、亀井)

・ここから4~5軒、同じ公営へ来年5月移転するので安心してます。近所の方が移転先未定です。公営申込書にいつも第1希望しか記入されないのが、なかなか決まらないとの事。どうしても第1希望へ入れてくれ、第2・第3希望を記入するのはおかしいという事ですが…心配

です。(73歳、2人暮らし、担当：沼田、井上、赤松)

・週末ボランティアが来たら「何しに来たんや」といちゃもんつける人がいると思いますが、その人達の事は勘弁してあげて下さい。私達は来てくれて大変嬉しいです。あなた方が誠意を持って訪問して下さいるので……。どうぞまた来て下さい。：ご自分の人生を1時間ほど話され、私達に力と元気をくれました。とてもいい訪問でした。(71歳女性、一人暮らし、担当：岩崎、浜本、井上、沼田、赤松)

9月19日

・被災場所に共同住宅24戸(元の地権者12軒、残り12戸は公団に分譲)を建設中。12月には戻れる。土地の権利が複雑で大変だった。それに加え減歩率8%・道幅を6mにする案などあり(公園や道路拡張には賛成だが)、いざ自分の土地を減らすとなると、みんな“なんでや!”となった。また市の説明も言葉不足だ(道幅6mにすると3階建てが建てられること等…)。震災時、火災で家財一切なくしたが、意外にさっぱりしていた。命があればいいと思っていたんだろう。時間が経つと悔しかったが。(69歳、2人暮らし、担当：沼田、立花、小林(弘))

・妻は慢性肝炎の為、毎日注射を打ちに行く。私は慢性腎炎で…年と共にあちこち悪い所が出てくる。でも娘や息子が近くにおり、何かある時はすぐ来てくれるので助かる。公営は西神南に決まった。〈セイタカアワダチソウの茎で花瓶を、木材の余りで台を作り、引っ越し友達にプレゼントをされているとの事。せっかくの特技を生かせればと思ったが…趣味を仕事と考えたくないと言われていた。〉(70歳、2人暮らし、担当：谷川、矢萩、松宮)

・多勢人がおったら、いろいろあるけど…少なくなると寂しい。でも友達がたくさん電話くれたりするので元気よ。ここの裏は谷だし…台風が来たら怖い。また小さいアリアがよく入ってきてかまれたりもする。来年公営へ転居予定。(65歳女性、一人暮らし、担当：矢野、長船、丸笹)

・住宅は6回落選。(担当者のコメント：絶望感をひしひしと感じた)。体調が悪く、仕事も7月に辞めた。←以前、福祉(生活保護)を受給していたが断り朝刊の配達で生計(6万円程)を立てておられた。再訪をし、体を治すよう計画を立て福祉を受けることを勧める予定。(35歳女性、一人暮らし、担当：浦口、岡本)

・慢性肝炎。毎週往診してくれる先生が病気で入院中だが、看護婦さんが検診に来てくれ(薬も持参)、体調は良好。12月に元住んでいた地区へ転居予定。知っている人ばかりだから嬉しい。最高。(81歳女性、一人暮らし、担当：浦口、岡本)

・来年5月転居予定だが、仮設は3月閉鎖なので、1ヶ月間だけ民間アパート(公営住宅入居待機者制度)へ入居しようと思う。股関節の手術をしたが、歩きにくい(障害3級)。一人で暮らしてきたから…人に頼みたい事でも頼めない。〈1月に訪問した際、体がかがめるのが辛くベッドを買いきたいとの事だった。介護用品給付の資料を今回お渡したら、とても喜んでおられた。〉(68歳男性、一人暮らし、担当：多谷、浦口)

・輸血治療からC型肝炎になり、月～土まで毎日40ccの投薬を受けている。10月公営へ転居予定だが、今までのようにご近所とおかずのやり取りなどは出来なくなるだろう。〈引っ越し後の連絡先を知らせる事が出来るよう“かみひこうき”をお渡しした。〉(67歳女性、一人暮らし、担当：西、脇、白岩)

・私達は家が焼けてルンペンと同様なのに、西区の公営へ何度申し込んでも当たらない。どうなってるんや！！3年半頑張って今更空き家には行きたくない。一時待機の家賃補助に出す金があれば家を建てろ。市はどこでも入れたらいいと思っているが、我々には終の住処だ。年金暮らしなのに…市も考えて欲しい。今の状態はただ「仮設から出て行け」と言うてるだけや。8月にボランティアが草刈りに来てくれた。障害者の人もいたが一生懸命やってくれた。(63歳、2人暮らし、担当：沼田、立花、小林(弘))

・避難所で世話になった神戸元気村の人が、毎週電話してくれる。引っ越しの手伝い(10月)にも来てくれるそうだ。昨年公園で滑って骨折し、入院していた。今は週1回看護婦さんが検診に来て、買い物もしてくれる。また市役所の人やお巡りさんも来てくれるので安心だ。(83歳女性、一人暮らし、担当：立花、小林(弘))

・夫は軽い痴呆で昨年1月から三田市の病院に入院中。私は昨年うつ病で突然体が動かなくなり、2ヶ月ほど入院していた。薬を飲まないといけませんが…病院が遠く朝早く起きられないので、もらいに行けない。人が少なくなって心細いが、保健所の人も来てくれるし、デイサービスもあるので……。来年10月公営へ転居予定。〈「自立支援金はいつももらえるのやろ」との質問に、支給は恒久住宅に移ってからだが、申請は今からでも出来ますよと説明した。入居予定の場所を地図で見て、心細そうに「端の方やね」と言っておられた。〉(70歳女性、一人暮らし、担当：立花、小林(弘))

・震災以前から飼っている猫(2匹)は死ぬまで面倒みるつもり。公営ではゲージに入れ、ご近所に迷惑を掛けないようにしたい。10月転居予定。(66歳、2人暮らし、担当：松宮、谷川、矢萩)

・ガン治療の際、コバルト照射の副作用で右足の神経を痛め、長距離歩けない。5月に転居予定の公営は、空気が良く温泉も近くにある。もっと早く入居させてくれたらいいのに…以前住んでいた所には友人がいるが、ここではいなかった。公営に移って気の合う人がいたらいいのだが……。 (63歳女性、一人暮らし、担当：松宮、谷川、矢萩)

・ウソ・デマ・ネタミ・自分勝手・ルールを守らない人(特にゴミの問題)が多い。(65歳男性、一人暮らし、本人自筆)

・9月19日抽選分は、元住んでいた所を申し込んでいる。今まで、名谷なども申し込んだがダメだった。行政から9月27日に西区民センターにて公営の話があるので来るよう、通知を受けた(個別斡旋)。とりあえず…空いている所を聞いてみるしかないが、どうしても西区・北区へ行きなさいと言われるんやろか?。そう言われても困る。区民センターに行ってみないとわからないが…今出来る事は、待つことしかない。(64歳女性、一人暮らし、担当：矢野、長船、丸笹)

・母(95歳)は健康だが、私が家を空けるとすぐに探し回る。先日も外へ探しに出掛け、近くの溝にはまってしまった。余り目を離す事が出来ないので、公営へ移転後(10月に転居予定)は、ヘルパーさんを頼もうと考えている。〈お母さんは、お年にしては元気な様子でした。娘さんもお母さんの健康に気を使っておられ、出来るだけ長生きして欲しいといわれていた。〉(68歳、2人暮らし、担当：栗林、藤村)

9月26日

・市は言わんが、恒久住宅に移ってから自殺する年寄りが多い。初めて高層住宅に入る人が大半だし、住宅機器の使い方もわからん。それに鉄の扉を閉めたら、外の事はわからへんし……。市の復興センターへ「廃校（小学校）を高齢者向けのコミュニティ住宅に転用したら」と意見を出したが、聞き入れられなかった。建物はしっかりしているし、エレベーターをつけたらまだまだ使えるのに。（78歳、2人暮らし、担当：柳田、沼田、小林（弘））

・胃を全部取っているのに、食事は1日5回に分けて少しずつ食べている。息子や孫が近くにいるのでたまに遊びに行くが、気を使い…うのですぐ帰ってきてしまう。また電話もかかってこない。公営へ来年6月転居予定。（78歳女性、一人暮らし、担当：柳田、沼田、小林（弘））

・前回訪問…体調が悪く、7月に仕事を辞めた。公営は6回落選。←生活保護を再度受けるよう勧める予定。

今回当選し、公営へ5月転居予定。借金の保証人になった為土方仕事をしていたが、無理がたたり結核になってしまった。生活が出来ず生活保護を受けていたが、体調が回復しないうちに「働け」と言ってきたので、受給を止めた。良くなりかけた頃に言うならわかるが……。行政は生活保護を受けざるを得ない人の事など、何もわかっていない。新聞配達（朝・夕刊）で、何とか生計を立てている（月5～6万）。〈生活保護の資料を渡し、申込みの際被災者連絡会が協力する旨伝えた。しかし乗り気なさそうなので…職業訓練校（神戸高等技術専門学校）の資料を渡した。「通う時間があるかな…」と言われていたが、訓練科目の中に『大型自動車運転科』があるのを見て、関心を示されていた〉。（36歳男性、一人暮らし、担当：西、芳松、矢萩）

・脳血栓の後遺症で左足が不自由。また週3回人工透析を受けているが、透析後は目と頭がボーッと疲れれる。妻は肝臓が悪い為、週2回ボランティアの車で通院（兵庫区）している。また病院からも看護婦さんが、定期的に検診に来てくれる。年金で生活しているが、医療費に金がかかる。〈ご夫婦とも大変疲れている様子なので、配食やその他の福祉サービスを勧めたが、「金のかかる福祉サービスはいらん」と言っておられた。〉公営（兵庫区・10月入居予定）の仮入居手続きをしたが、書類やその後の説明がなく…いまだ詳しい事がわからない。夫婦2人病弱なので、引っ越しの時は何も出来ない。〈引っ越しボランティアのチラシを渡した。お隣の方が、色々面倒を見ておられるようで「引っ越しボランティアへの電話や荷造りの手伝いはしたるわ」と言われていた。〉（75歳、2人暮らし、担当：西、芳松、矢萩）

・腰痛。2カ所の病院で超音波治療をしているが、治らない。現状より悪くならないようにするだけだ。調子の悪い時、痛み止めの注射を打って欲しいが、薬がきついのか医者はなかなか打ってくれない。来年5月転居予定。仮設は3月で閉鎖との事だが、2ヶ月で2度の引っ越しなんて嫌や！。〈移転してからの近所付き合いの事を心配されていた。〉（49歳男性、一人暮らし、担当：西、芳松、矢萩）

・一人暮らしだが寂しくないし、その方が気楽。人と一緒に暮らすのはわずらわしく好きでない。来年7月公営へ入居予定。腎臓・膵臓が悪く糖尿病で手足もむくんでいる為、体がだるい日もある。西神の工場で働いていたが体調が悪くなり、最近退職した。でも生活していけないので、仕事を見つけない。←再訪時、雇用の資料を渡す予定。（担当者のコメント：一人暮らしがいいと言っておられたが体調が悪いようなので、いざという時のケアの必要性を感じた。）（58歳男性、一人暮らし、担当：関戸、藤村、青木）

・公営には7回申し込んだが、いまだに当たらない。トンネルの中を走り続けて出口が見えない状態だ。目が悪く、左耳が全く聴こえない。夏場で体重が減り、35kgしかない。一人で寂しくないと言ったら嘘になるが、人の世話になるのは死ぬ間際だけにしたい。←再訪時、ヘルパーの資料渡しと福祉サービスの説明をする予定。天井の雨漏りや網戸の修繕をしてもらいたいが、どうしたらいいのか？。←再訪時、住宅供給公社の電話番号（332-0252）を伝える予定。〈時事問題に詳しく、また短歌を作るのが趣味と言われたので、2、3首詠んでいただいた。地震や若い頃に満州で苦労された事を涙ながらに語っておられた。〉（77歳女性、一人暮らし、担当：関戸、藤村、青木）

・8月にお別れの盆踊り大会をしたが、仮設や近隣の方を含め、たくさんの方が集まってくれた。水道工事の仕事をしているが、新規はほとんどなく修理ばかり。（担当者のコメント：不況の波は社会全体に蔓延しているようで、経済環境の悪さを痛感させられた。）（63歳男性、一人暮らし、担当：川口、矢野、姫田）

・自治会の仕事が忙しく、低血圧で2、3回倒れた事がある。〈「今、仮設の住民に必要なのは、公営にいつ入居できるかという情報を渡す事」と強調しておられた。〉（55歳男性、一人暮らし、担当：川口、矢野、姫田）

10月3日

・自分の土地が区画整理の中に入っているが、行政に不満があり土地を売るつもりはない。最後まで戦うつもりだ。片足が義足の為（生活には不自由なし）重い物が持てず、入居した時からの新聞をため込んでしまった。引っ越しが決まっているので片付けたいが、どうしたらいいか？。〈市環境局のクリーン110番（331-9110）に相談するか、電話帳で民間の廃品回収業者を捜し問い合わせよう伝えた。〉（77歳男性、一人暮らし、担当：沼田、白岩、三上）

・妻は脳梗塞の為、手足が不自由で寝たきりの生活をしていたが…去年の暮れ西宮の病院へ入院してもらった。食事の世話等を看護婦さんに頼んでいるが、毎日見舞いに行っている。平成12年3月に公営へ入居予定。しかしまだ先なので…仮住まいする所を捜している。（79歳男性、一人暮らし、担当：小田、白井、藤村）

・“知的障害者の為の作業所”を経営している（自分自身も手足が不自由）。震災時住んでいた自宅兼作業所が全壊し1年程仮設の作業所だったが、その後土地を借りて再建を果たした。でも事業所にした為色々な法律に阻まれ、兼住宅に出来なかった。公営は1月に当選したが、エレベーターなしの5階だったので断念。再応募の結果、職場から歩いて15分の県営（来年3月転居）に決まり、本当に良かった。（担当者のコメント：ボランティアのあり方・質の問題について、貴重な意見を伺った。）（43歳男性、一人暮らし、担当：藤村、白井、小田）

・何度も公営に申し込んでいるが、当選しない。早く恒久住宅に移りたい。心臓が悪く、仕事（新聞配達）を辞めているが、何か体に負担をかけない仕事をしたい。先日、生活保護から支給されたお金（5万円）を落とし、昨日から何も食べていない。（担当者のコメント：若いのに少し自暴自棄になられている感じがした。）←早速連絡会にTELし、食料を持って訪問して欲しいと依頼した。（被災者連絡会より）10月6日現在、何度TELしても出ない。引き続き、連絡を取ってみる予定。（38歳男性、一人暮らし、担当：小田、白井、藤村）

・仕事（若い時）で右足を痛め、左足より8cm短くなってしまった。建築・土木の仕事をし

ているが、ここ1ヶ月程仕事がない。最近では収入がない為、交通費節約で余り外へ出ない。来年3月転居予定。〈雇用の資料と生活保護の資料を渡した。「一度電話してみます」と言われていた。〉(61歳男性、一人暮らし、担当：川口、堀内、青木)

・タクシー会社で掃除の仕事をしている。仕事自体は楽だが、通勤に時間がかかりしんどい。来年公営へ移転しても…相変わらず通勤に時間がかかりそう。(71歳女性、一人暮らし、担当：川口、堀内、青木)

・妻は震災前から心筋梗塞で入退院を繰り返している。ここから病院(遠い)へ行く迄の間に発作が起きるのが怖く、息子達(4人)の家に預かってもらっているが、居づらくなると入院する。でも「1ヶ月位は通院しなさい」と言われ、長くは入院出来ない。老人医療制度の改悪で、死ぬと言われていたようなもの。政治が悪いと思うが文句を言う所がない。「これ以上働くと迷惑」と…65歳で職場を解雇された。今でも働けるが、年寄りはいつ倒れるかわからないので、採用してもらえない。公営は6回目でようやく当選(入居は来年夏頃)。(70代、2人暮らし、担当：西、佐沢、長船)

・大阪へ一時避難したが、いちいち義援金給付等の用事で神戸まで来なあかんかった。今思い出しても腹が立つ。自宅は12月に再建予定だが、区画整理で減歩された。まるで人の土地をパズルのようにはめ込んでいく。(？歳、？人暮らし、担当：西、佐沢、長船)

・首・目・耳・心臓が悪い。内科・眼科・耳鼻科に通院しているが、1日で1万円以上かかる事があり大変だ。公営(12月)へ当選した時は…あと1年半もあると思ったが、今では「あと何ヶ月」と楽しみに数えている。(57歳女性、一人暮らし、担当：白岩、沼田、三上)

・前回訪問…夫は週3回人工透析を受けている。妻は肝臓が悪く、病院へボランティアが週2回連れて行ってくれる。公営の仮入居手続き(10月入居予定)をしたが、書類やその後の説明がなく、詳しい事が判らない。

〈市営住宅募集係(公営の入居状況について詳しい説明をしてもらえる)の電話番号を伝えた。〉病院の帰り入居予定の公営を見たが、内装工事は終わっておらず、引っ越しは来年かも……。調理するのがしんどく、おかずは惣菜で間に合わせている。時々、牛肉と豆腐・野菜を煮たりしているが、栄養的に偏ってしまうのは…仕方ない。(75歳、2人暮らし、担当：松本、小川、矢萩)

・前回訪問…腎臓・膵臓が悪く、糖尿病で手足もむくんでいる。体調が悪くなり最近退職したが、生活していけないので仕事を見つけない。←雇用の資料を渡す予定。

体調は、まだ優れないので就職を急いではいない。一応職安に行って捜しているが、年が年だし見つからない。〈“雇用の資料”と“被災地しごと開発事業”のチラシを渡した。“被災地しごと”については、仕事内容・作業場所をわかる範囲(内容…チラシ配布や清掃等、場所…神戸駅、三宮など)で説明した。また県労働部主催の「中高年合同就職面接会」のチラシを後日郵送した。〉(58歳男性、一人暮らし、担当：松本、小川、矢萩)

・前回訪問…公営はまだ当たってない。目が悪く、左耳が全く聞こえない。天井の雨漏りや網戸の修繕をしてもらいたい。←ヘルパーの資料渡しと説明をする。また仮設の修理依頼先(住宅供給公社)の電話番号を伝える予定。

〈ヘルパーは「家事は一応出来ているので…でも万が一の時、使う事も考えておく」との事。住宅の修繕は「いつまでここにおるかかわかんし…」との事で特に緊急を要してはいなかったが、仮設支援ニュース(住宅供給公社の電話番号が載っている)を渡した。〉今日、水害のあ

った兵庫区の友達宅へ行った。床上浸水などの被害があったが、比較的軽く済んだようだ。友達と会って楽しい時間を過ごしただけに、ここへ帰ってくると余計に落ち込む。(77歳女性、一人暮らし、担当：松本、小川、矢萩)

10月10日

・前回訪問・持病は高血圧と心筋梗塞。今日は血圧が高くて横になっていた。

毎朝両手の血圧を測り、その時の測定値によって、寝ていたり外出したりする。11月に公営へ入居予定。交流会という名目の下見に行ったが、引率したのは民生委員やボランティアで、市の担当者は来なかった。入居時期や部屋の事を聞いても答えられないし…部屋へは一度に多勢の人間が入り、十分に見る余裕もなかった。あんな事やっても意味ないわ。(57歳男性、一人暮らし、担当：堀、矢萩)

・前回訪問・妻が半身不随の為、介護疲れが溜まり体を壊してしまった。でも1ヶ月のショートステイに行ってもらい、体調が大分良くなった。

現在、妻は週3回デイサービスを受けている(役所に何度も足を運び、ようやく実現した)。しかし出掛ける時は元気なのだが、帰ってくるといつも疲れてぐったりしている。施設にいる間、横になりたくてもなれないようだ。公営(11月入居予定)の交流会へ行ったが、部屋を見るつもりが人の頭しか見えなかった。〈と苦笑されていた。〉(66歳、2人暮らし、担当：高田、堀、矢萩)

・前回訪問・夫は輸血によるC型肝炎で肝臓が悪く、毎日長田まで通院している。2人共足が悪い。

物価etc…の関係で早く長田に帰りたい。ここに来て3年。やっぱり3年は長い。(68歳、2人暮らし、担当：武内、沼田、吉田)

・前回訪問・障害3級。症状が悪くなると立ってられない。

左膝に水が溜まっているのでずっと座ってられない。また歩くと痛むので…外出も余りしない。だからボランティアの訪問は嬉しい。ここは池を埋め立てて作られたせいか地盤沈下し、柱と壁の間にすき間が出来たり、雨漏りがする……。引っ越しは未定。(60歳男性、一人暮らし、担当：白倉、堀内、太田)

・前回訪問・奥さんは自律神経失調症になり、ずっと調子が悪いとの事。

なかなか住宅が当たらず、いつ仮設から出られるのか不安な気持ちで一杯だ。この際民間住宅に入りたいが、値段が高く手が出ない。『神戸市は空港を作る』なら、我々のように困っている人間がまだ沢山いるのだから、そこにお金を回して欲しい。(40代、3人暮らし、担当：小野、矢野)

・前回訪問・夫は心臓と足が悪い。私は糖尿。2人共病気だし、何の楽しみもない。住宅を早く当てて欲しい。

公営にようやく当選し、11月頃入居予定。周辺の様子を見てきたが近くにはローソンしかなく、買い物はバスで板宿まで行く必要がある。でも環境としては気に入っている。当選してすぐ入居出来ると思い、その事を知人に電話で言ったら「短くても1~2ヶ月はかかるで」と笑われた。引っ越し当日は、息子や孫が手伝いに来ると言ってくれている。(72歳、2人暮らし、担当：高田、堀、矢萩)

・前回訪問・ボランティアが全然来てくれない。愚痴だけ聞いても変わらない。

娘3人が、父の日・母の日を祝ってくれたり、いろいろしてくれるので嬉しい。公営は11月に転居予定。夫は貧血気味の時何も手につかないので、荷造りなどは気分の良い時にしている。今は引っ越し前で気が張っているようだが、移転してからの体調が心配だ。自分がしっかりせなあかんと思う……。 (74歳、2人暮らし、担当：高田、堀、矢萩)

・前回訪問・スーパーの袋を大量に集めており、台所の天井にはコーヒーのしみが吹き飛んでいた。特別斡旋登録募集申込書の相談（希望条件に合うところがなかなかなかった）・記入をし、投函を依頼された。

住宅は一度当たったが、エレベーターなしの4階だったので断った。下半身がしびれ、歩行困難。時々民生委員の人が訪ねてきて、手伝ってくれる。ヘルパーさんも気心が合えばいいが…そうでないと思うと、踏み切れない。食事はパンとコーヒーが多い。栄養をとらねばと思うが、体が不自由なので出来かねている。一人でいるといろいろ考える……。 (81歳男性、一人暮らし、担当：武内、沼田)

・前回訪問・静岡から月2回ボランティアが来てくれているので、引っ越しの手伝いもしてくれると思う。天涯孤独で寂しい。早くここから出たい。

最近、裏の網戸がタバコの火で焼かれたりして夜が怖い。以前よく来ていた静岡のボランティアからも、連絡がない……。公営は震災前に住んでいた兵庫区を申し込んだが、当選か落選かわからない。〈いずれ兵庫区に戻れると勘違いをされているようだ。耳が遠く、読み書きも余り出来ないので住宅の申込みなどお世話出来たらと思う。〉←保健所に状況確認をする予定。

(84歳女性、一人暮らし、担当：小野、矢野)

・前回訪問・肝臓が悪く3年間毎日通院していたが、やっと隔日通院になった。近所の人がいなくなり、あと1年半暮らしていけるか不安。

最近検査を受けたが、結果が良ければ通院間隔をもっと空けると言ってくれた。公営への入居は平成12年の春…それまで仮設に置いてもらえないものか。一時民間住宅に引っ越すのも大変だし、お金もかかるので……。 (76歳女性、一人暮らし、担当：小野、矢野)

10月17日

・この仮設はまとまりがあったので、よく催し物や草刈りをした……。来年2月公営へ移転予定だが、長いような短いような4年間やった。でも恒久住宅に移転した人の中には、疲れが出て寝込んだり、知り合いがおらず孤独感にさいなまれる人もいるようだ。ドアを閉めたら隣の事はわからんし、仮設の時のような付き合いもあらへん。孤独死はあるし、変な物売りも横行している。公営へ入居しても、被災者の問題は尾を引く。公営では隣近所に住んでいる人の顔が見えないので、催し物も必要だ。そして、精神的に人を癒やしていく事が真のボランティアだと思う。 (60歳男性、一人暮らし、担当：井上、小林(弘))

・自宅で酸素吸入している(西神医療センターへ通院中)。しかし、買い物や調理は自分でしています。公営(西神南)へ10月移転予定だが、何の連絡もない。〈←神戸市営住宅募集係(392-2381)に電話するよう勧めた〉。 (64歳、一人暮らし、担当：清重(智)、小林(好))

・被災者自立支援金だが、要援護世帯の認定日(平成10年7月1日)に64歳だったので、支給金額は75万円(65歳なら90万円)。1歳違うだけで15万円も違うなんて……。住宅は、大家さんが元の場所に来年4月頃再建するので、そこへ戻る予定。ただこの仮設は来年

3月末閉鎖なので、移転まではここに住みたい。その旨市に相談しようと思う。(65歳女性、一人暮らし、担当：小林(好)、清重(智))

・肺が悪く呼吸しにくい。栄養も1日1,000calを目標にしているが、体が受け付けない。ここは買い物一つするにも、バス停が近所になく上り坂が多いので大変。また裏が谷になっている為風当たりが強く、台風の時など…明石からの強風が上ってくるので怖い。神戸空港は、採算を無視している。来年5月転居予定。(60代男性、一人暮らし、担当：赤西、長船、矢野)

・仮設生活も4年目。もう慣れたもんです。でも冬と夏はやっぱり大変。最近、やたらゴキブリが入ってくる。近隣の人が相次いで引っ越したから、ここに集中してきたんっちゃう？。足が悪い(正座出来ない)ので、これ以上弱くならないよう少しずつ散歩してます。またベルBOXもあるので、寂しい時はこちらから掛ける事も。公営へ来年3月に転居予定。これから便利になるらしいから、楽しみにしている。入居後の人間関係も心配してないよ。(79歳女性、一人暮らし、担当：赤西、長船、矢野)

・私だけ住宅に当たってない。パート勤め(3時間)で生計を立てているが、年をとると朝5時起きで片道1時間の通勤はつらい。市から斡旋してもらった公営は、不便な所ばかり……。通勤事情を訴えても「ある程度辛抱して欲しい」とか「皆さん、不便な所でも行かれていますよ」と言われた。来年3月にはここを出ていかなければならず、結局民間のアパートを借りる(今年・来年は半額補助。再来年は4分の1補助)事になり、来週引っ越す。アパートにしても「あわてて決めんでも、ええとこ探したげるのに」と言うが、よく聞くと北区等……。なかなかこっちの思いが伝わらず、声を荒げた事もある。市長や市の人、一度ここから通勤してみたらいい！。今度のアパートは電話工事やテレビ調整を自分で負担しなければならず、金がかかるばかり。お風呂もないが、家賃の事を考えたら仕方がない。とにかく、どこでもいいから安心して暮らしたい……。兄弟でも地震を経験しないと思いが通じない。大変やとわかっているけど、心の中まで入ってこれない。(65歳女性、一人暮らし、担当：井上、小林(弘))

・公営(西神南)に決まって安心してます。しかし10月移転予定のはずが、今だ何の連絡もありません。〈神戸市営住宅募集係(392-2381)に電話するよう勧めた〉。(担当者のコメント：去年親しくなった方が公営に移られた事をお聞きしたり、台風にも関わらず…ふれあいセンターでなごやかなお話が出来とても良かったです。また、全員の転居先が決まった事に一安心しました。)(78歳女性、一人暮らし、担当：小林(好)、清重(智))

10月24日

[公営住宅訪問]

・ここは前に大きな公園があるので散歩もでき、見晴らしもいい。これから人も増えてきて、賑やかでええんと違う。公営はドアを閉めたら終いやから、前向きに外に出るようにしている。出ていけば連れの一人も出来るやろうし……。「落ち込んだってしゃあないやん」と明るい気持ちで過ごしています。(？歳、？人暮らし、担当：井上、長船)

・秋になると毎年風邪を引くので、今回駅前の病院に通院し始めたが、頼りにならん。また駅まで歩くのが大変。年寄りばかりやし、バスが通ったらいいのに……。ここでは人付き合いがないので寂しい。喫茶店一つないし、人が集まる場所がない。〈相談役の人によると、近々団地前にバス停が出来るとの事。〉(90歳男性、一人暮らし、担当：井上、長船)

・40歳で夫が亡くなってからは、働きづめの毎日だった。足はとうとう変形して曲がらなくなり、正座が出来ない。血圧も変動が激しい。ここ（シルバーハイツ）は段差がないのでいいが、買い物に往復30分かかるのはきつい。仮設では友達がたくさん出来たが、ここではなかなか難しい。寄り合いでも、48軒のうち10人くらいしか集まらない。ドアをピシャッと閉めたら話すこともないし…寂しい。ただ5年間は安い家賃で置いてもらえるのでありがたい。安いうちに死ななあきません くと笑っておられた。近くにコンビニがなく、お年寄りの一人暮らしの方には不便だなと思った。>（74歳女性、一人暮らし、担当：井上、長船）

・震災前は商売をしていたが、土地は区画整理で減歩された。ましてや仮設店舗を作るにしても1000万円位必要なのに、市は移転費だけで、助成はしてくれない。「帰ろう」会というグループを作ったが、そのうち皆市に土地を売ってしまい消滅した。借金して長田に戻るくらいなら、ここに住んでいた方がいい くと明るく話された。>（71歳男性、一人暮らし、担当：赤西、奥野、亀井）

・腰と両膝（よく水が溜まる）が悪い。高い所の掃除等は出来ないし、冷えると痛いので冬はずっと毛布を被っている。朝は動けるが、昼からは寝ていないと次の日は何も出来ない。仮設の時は毎日隣の人と話していたが、ここでは隣が話好きでないらしく…付き合いがない。もう一つの隣は空き家。私は話がしたい……。近くにポストとバス停がないのは不便だ。他は我慢できるが、これだけは何とかして欲しい。>（70代女性、一人暮らし、担当：猪上、青木、矢野）

・足が弱っており、外出時は車椅子を使う。デイサービスを利用している。<耳がかなり遠いご様子でしたが、「何かお手伝い出来る事はありますか?」と尋ねたところ、じーっと考え込まれた後「裏の戸が開かんようになった」と一言。調べるとカギがかかっていた。使用方法がわからなかったようなので、紙に書いて裏戸に貼ったところ、たったそれだけの事ですが、大変喜んでおられました。>（80代女性、一人暮らし、担当：赤西、奥野、亀井）

・右膝が悪い為、呼ばれてもすぐ動けないし、電話が切れる事もある。ここに普通のベッド（折り畳みベッドを使用中）や椅子を置きたいが、部屋が狭く出来ない。不便だ。仮設でかわいがっていた野良猫を連れてきたが、この間家出してしもうた。探しても探してもいない。どこ行ったんやろ。>（72歳女性、一人暮らし、担当：倉知、島原、小林（弘））

・震災後転々としていたが、北区の仮設からここへ入居した。友達は被災した所にたくさんいたが、今は会う事もない……。ここは遊ぶ所がない。>（18歳、5人暮らし、担当：西、谷口、矢萩）

・今年3月部屋で転び、両腕と両膝を打った。後遺症から正座が出来なくなり、椅子やベッドを使用している。毎日板宿まで通院しているが、帰りにカラオケや買い物するのが楽しみになっている。仮設では台風の時不安だったが、ここなら心配ない。入居当初お隣の方（一人住まい）が気になり、洗濯物を干す時チラチラとベランダの方を見ていたが、ある日…ドアの前で顔を合わせ、女性だったので安心した。集会所で行事がある時参加しているが、女性ばかりだ。<「いきいき仕事塾」のチラシをお渡しした。>（78歳女性、一人暮らし、担当：西、谷口、矢萩）

・自宅兼工場のあったビルは全壊。当時、脳梗塞で倒れ垂水の病院へ入院していたので、家族と共に助かった。しかし、ビルは道路をふさいでいた為3日で片付けられてしまい、何一つ持ち出す事が出来なかった。土地は区画整理に入っている為、まだ手をつけられない。病気の後

遺症で物忘れが激しく…帰れなくなると困るので、遠くには行かない。〈昼間は一人で居れるとの事。病気になられるまでされていた仕事の話や子供さんのお話などをいろいろして下さった。〉（65歳、3人暮らし、担当：長沼、石井、小田）

10月31日

・仕事のしすぎで身体を壊し、大方20年通院している。どうやら神経からきているらしく、急に治りそうもない。生活保護を受けているが、自立支援金はもらえるのか？もらえても、生活保護費を差し引かれるのでは？役所の資料は何度読んでもわからへん！〈該当する支援金額をそのままもらえますと伝え、支援金案内パンフの重要な部分にマーカーを引きお渡ししたところ、「公営に引っ越したら、いろいろと必要な物を買わなければならないので、今日は本当に助かった。ホッとした」と喜んでおられた〉。仮設に来た当初は色々な人が尋ねてきたが、最近は住民も少なくなり誰も来ないので寂しい。（60代男性、一人暮らし、担当：赤西、長船、白倉）

・目が不自由で人と会っても、声を掛けられるまで誰か分からない。寂しいので、テレビを1日中かけている。公営（シルバー）へ11月転居予定。引っ越しは息子が手伝ってくれるが、転居してからの家賃・生活費が心配だ。（84歳女性、一人暮らし、担当：矢野、武内、堀内）

・とにかく生活が苦しくお金が欲しい。夫は腕のいい大工だが、高齢の上この不況で仕事がない。私は体が悪く働けない。息子も仕事がなく、今は仮設の空き家点検（被災地しごと開発事業）に行っている。しかし収入は月5万円で、光熱費を差し引けば2万円位しか手元に残らない。年金もなく、生活保護が必要と思うが…夫は拒否している。食事は月10日分位しか食べておらず、それも野菜ばかり。お金がないので何も買えず、服などはもらいものばかりだ……。←被災地求職者特別訓練（電気設備・建設機械運転など）の資料を渡す予定。来年5月須磨区の公営へ転居予定。〈「ボランティアにはよくしてもらって感謝している。公営入居まであと半年、3人で頑張りたい…」と言っておられた。〉（72歳、3人暮らし、担当：赤西、長船、白倉）

・先日の台風はすごかった。家が浮き、近所のおばさんはリュックに荷物を詰めて震えていた。ポプラの木が倒れ屋根を直撃した時は、家ごと飛ばされるかと思った。以前住んでいた所は区画整理で狭くなり、倉庫として使っている。3階建てにすれば住めるけど、お金がかかるしローンを組んでも息子に迷惑かけるだけだから、結局市住に入る事にした。そういう人は多いですよ。でも私達は同じ地区へ、来年3月に帰れるので嬉しい。〈明るくて仲の良いご夫婦でした。〉（72歳、2人暮らし、担当：小林（弘）、白井）

・骨粗鬆症。公営へ来年5月引っ越す予定だが、玄関まで階段が50段も有り、今後の事を考えると不安だ。親しくしている隣の方も来年3月には出ていく…寂しくてたまらない。最近、目まいがする。〈公営について行政に相談（体の事も考え）するよう勧めたところ、もう少し住み良い所に変われるか、話してみると言われた。身内がいけないという事で将来の不安が大きいようです。でも話好きで明るい方でした。〉（75歳女性、一人暮らし、担当：小林（弘）、白井）

・痛風で足の関節が腫れて、歩けなくなる時がある。高血圧。どちらの病気も薬で何とか抑えているが、痛風は突然症状が出るので怖い。希望の公営は何度申し込んでも駄目だったので、県営にした（11月転居予定）。天涯孤独の身やけど友人が多く、楽しみも何ほどもある。〈荷

造りはしているが、引っ越しの手配はしていないとの事。ちょっとなら費用がかかっても構わないと言われたので、県トラック協会の業者4社の電話番号を伝え、何力所からか見積もりを取るよう助言した。〈65歳男性、一人暮らし、担当：猪上、江口、矢萩〉

・この辺を変な男性がうろついている。痴漢にあつて警察に駆け込んだ事もあり、最近洗濯機に火を付けられたり（一部が溶けた）、とにかく物騒。怖いので友人に泊まりに来てもらったりしている。早く出たいので、県営や民間賃貸を探しているが、なかなか見つからない。〈仕事は看護婦さんとの事〉。〈24歳女性、一人暮らし、担当：猪上、江口、矢萩〉

・11月転居予定。軽い狭心症がある。娘・息子がよく来てくれるし、転居後は福祉電話を付けてもらおうつもり。年金から長銀などに金が出ている。その上、又年金を下げる言うてる。政府のエライ人は自分の腹痛まんから、そういう事を簡単に言うんや。〈82歳男性、一人暮らし、担当：小林（弘）、白井〉

・前回訪問・弟が心筋梗塞で、腕がマヒしてしまった。病院からのリハビリの説明は判りにくく、素人ではどう介護していいやら……。←機能訓練教室や保健婦さんによる介護指導の資料を渡す予定。

〈大分回復したので必要がないですとの事でしたが、一応資料はお渡ししました。〉利き腕を動かすのが困難な為、歯磨きや食事等のいろんな動作が容易に出来ない。病院でのリハビリは10日間で半強制的に終わり、その後の自主訓練・介護法はほとんど教えられなかった。患者は、医者言葉一つで、回復するかしないか、左右されます。〈理学療法士の専門学校で勉強した、基本的な自主訓練法を指導しておきました。〉〈68歳、2人暮らし、担当：南口、丸笹〉

・前回訪問・低血圧・甲状腺異常。行政から便利の良い県住（狭い）を勧められたが、再度9月中旬の申込みをするつもり。

娘夫婦近くの公営は、当選が難しいが申し込んだ（結果は12月中旬に分かる）。今度こそ当たって欲しい。今日はたくさん話したわ。若い人とお話出来るのは嬉しい。生きている力をもたらしているような気がするから。〈帰り際、3人共握手しました〉。〈76歳女性、一人暮らし、担当：猪上、江口、矢萩〉

11月7日

・前回訪問・目下職探し中。『雇用・就業』の資料をお渡しした。

今年3月まで土木工事の後片付けに行っていたが、今は仕事がない。〈『ハローワーク求人情報』をお渡ししたところ、「これで探すわ。ありがとう」と言われていた〉。市街地へもたまに行きたいけど、交通費が1,500円かかり生活出来なくなるので、行けない。公営（市街地）は、昨日申し込んだ。空き室1戸の所なので、厳しいと思うが……。〈59歳男性、一人暮らし、担当：田山、矢萩〉

・前回訪問・骨粗鬆症。腎臓が悪い。被災者自立支援金について説明をした。

〈ブロック外移転（神戸市を5ブロックに分け、被災場所と新居住地が異なるブロックの場合、交流経費として金額が上乘せになる）の説明をし、申込書一式（記載凡例有り）入った封筒をお渡しした。「申込み時期が分からない」と言われたので、問い合わせ先の電話番号に印を付け、確認するよう勧めた〉。11月4日の鍵渡しで、初めて部屋の中を見た際、間取りのメモをとってきた。この場所に何を置こうかなどとあれこれ考えると、夜眠れない。公営には

セールスの人間がウロウロしており、何やらゴチャゴチャ言ってくるので、入居したら「押し売りお断り」の貼り紙をするつもりだ。また色々な事をお聞きしたいので、移転しても訪問して下さいね。(81歳女性、一人暮らし、担当：矢萩、田山)

・前回訪問・高血圧。これから先もいい事があると思って、前向きに生きている。

来年の5月には、ここからみんな出ると思う。私は、希望する所に当たりました。今後も楽しく生きて行けそうです。これも岩岡という不便な所に3年半いたからかもしれません。またボランティアの皆さんにも、お世話になりました。(80歳女性、一人暮らし、担当：小波本、赤西)

・前回訪問・(妻)足が悪く、うまく座れない。(夫)杖をついてよく散歩する。

11月下旬に移転予定。ここは、冬が寒かったので一番困った(夫婦共に)。また池の隣なので風当たりも強く、台風の際は大変だった。(89歳、2人暮らし、担当：西、矢野、小波本)

・前回訪問・住んでいたマンションを再建する事になったが、二重ローンになるので公団に売った。

地震の時、マンションの鉄のドアが開かへんかった。誰もそんな事になるなんて思わなかったやろう。水が出ずポリタンクで水を運ぶ毎日だったが、そのうち自分達でドアの所に蛇口を付け…水が出た時は嬉しかった。ローンの残りは、土地の区分権を売って清算した。そのマンションもようやく再建され、今では「高嶺の花」。しかし市住に当選し11月中には転居予定なので、ホツとしていいる。(69歳男性、一人暮らし、担当：長船、小林(弘))

・前回訪問・心臓が悪く、障害2級。

仮設を物置代わりにし民間住宅に住む者が、わしらより先に公営へ入居している。まるでサギやないか!!。わしら真面目に仮設に住んどって、来年にならなここを出られへんのや。日本は結構な国やねえ。(47歳男性、一人暮らし、担当：赤西、西)

・前回訪問・肝臓が悪く、血圧も高い。福祉を受けている。公営に当たらず、どうしたものかと途方に暮れている。

六甲道の病院へ20年以上通っている。今でさえ片道1時間半かかるので、これ以上遠くへ行きたくない。一度明石の県営に当選したが、坂が多くバスの便も少ない(通院に不便)その上バス停が近くにないので、キャンセルした。今回の申込みも…西灘の方は1戸しかないので、当たる気がせん。この際明石に申し込もう…とも思うが、希望の所に当たるまでここで頑張ってみようとも…思う。震災以降自殺した人がかなりいるが、その気持ち、私もよく分かる。(50歳男性、一人暮らし、担当：小林(弘)、長船)

11月14日

・今日引越しです。被災し鷹取中学に身を寄せていた時、多くのボランティアの人々に支えられた。仮設住宅にもボランティアの人が来てくれて嬉しく思う。(58歳、2人暮らし、担当：高島、矢野、白岩)

・今年3月部屋で転び肋骨2本を折って入院したが、治療らしいものはほとんどしてもらえず、2ヶ月程で退院となった。今でも寝返りを打つと痛む。夫は腰痛がひどく、ほとんど外出しない。以前は2人してよく散歩に行ったが…高齢者には、砂利道は歩きにくい。家は2階部分が倒壊したので、現在は息子が1階(鉄骨入り)を仕事場に使っている。私ら夫婦がまた住める

よう独力で修理を施していると言うが、未だメドが立たず、ガス・水道も通してない。〈ご近所の引っ越しをうらやましそうに見ておられた〉。(90歳、2人暮らし、担当：西、大坂、矢萩)

・要望は住宅面だけ。市の住宅入居募集・斡旋は“50歳以上”ばかりで、私のような若年層・男性・単身者には話がない。又情報も少ない〈神戸市の支援者ノートを渡しました〉。父親(身障者)の世話等があるので、近所を申し込んでいるが当たらない。(39歳男性、一人暮らし、担当：赤西、谷川、武内)

・市からの個別斡旋で当選(9月22日)したが入院してたので、手続きを義理の妹がしてくれた。ところが行政からその後何の連絡もない。書類に不備があったのだろうか?。市役所の近くを通る度聞きに行こうと思うが、催促するようでそんな事も出来ず、一人で悩んでいる。肝臓・胃が悪く、昨年・今年と入院している。ここで一人になるのは嫌だ。不安で夜が怖い。

〈神戸市営住宅募集係(392-2381)に電話で問い合わせ出来る旨、お教えした。来週にも電話するとの事。お話の途中で泣き出される程、悩んでおられた。〉(78歳女性、一人暮らし、担当：佐沢、本田、小林(弘))

・夫婦でコツコツ働いて建てた家を空襲で焼かれ、震災で借家をつぶされた。あの日揺れが鎮まってから外に出たら、周りに建っていた何もかもがなくなっていて、助けを求める声がかしこにしていた。あの光景は忘れられん。まるで戦場やった。しばらくして火が出て…隣近所の人、何人もが死んだ……。今日引っ越し(娘と暮らすので通常の公営)。隣の人がええ人やったらいけど、ドアを閉めたら誰がおるんかわからんし、でも出来るだけ知り合いを作るようにする。今でも月2回老人大学に通っており、その後みんなでお茶を飲むのが楽しみ。(81歳、2人暮らし、担当：佐沢、本田、小林(弘))

・姉・娘と同居しているが、公営住宅はもう7回も落選した。このことを声を大にしてどこかに伝えて欲しい。もうすぐ8回目の落選がある。申し込んだ所の募集が2戸だけだからまず無理でしょうね。(30代、3人暮らし、担当：赤西、谷川、武内)

・息子の勤務先は大阪で仕事柄帰りは夜遅くなり、地下鉄沿線では電車がなくなってしまう。かといって中央区より東は知り合いもおらず、地理も分からない。だからずっと市街地の公営を申し込んでいるが当たらない。市から「いつまで仮設におるの」みたいに言われるが、好きでいる訳ではない!。(49歳、2人暮らし、担当：西、大坂、矢萩)

・孫を生後7ヶ月から育て、やっと大学もアルバイトしながら行きたいというところまできましたのに、あの地震で何もかも失い地元の仮設に入る事も出来ず、見知らぬ土地に来ました。孫もようやく大阪の大学へ入学出来ましたが、余りにも遠く、アルバイトと通学の両方は無理らしく、今は学校も休みがちになっています。もう一人の娘や親戚も市街地にいるので、私達もと思いますがまだ無理のようです。このあたりの棟は一日も早く取り壊さなければならないので仮設内移転があるとか、支援金の受付が切れる等のデマが飛んでいます。しかし、私は気にせず健康に気をつけて、一日も早く希望の地区に当たる事を祈って頑張ります。ただ、皆行き先が決まりそれぞれ引き上げておられ、私達だけが取り残されたような気持ちで不安ですが……。皆様にもいろいろ心配いただき有り難うございます。(70歳、2人暮らし、本人自筆)

11月21日

・向かいはずっと空き家ばかり。余り外に出んからわからんけど淋しい。〈お話を聞いているうち辻褄が合わずおかしいので、近所に住まわれている姪御さん宅を訪問した。〉お婆は半年前に洗面所で倒れているところを発見され4ヶ月ほど入院したが、それ以来片足が不自由になった。震災の時すぐに戸を開けて、衣類を詰めたビニール袋を4つも5つも持って出てくる程気丈だった人も、今は痴呆気味。一時は大変だった……。現在は呆けてる時と、そうでない時とに分かれているようだ。三度の食事を持って行っても、食べた事をすぐ忘れる。しかし掃除は自分でしており、部屋はきれいに片付いている。お婆は気が強く、以前も団体生活になじまなかつたので、老人ホーム等は無理。今後も同居せず必要な世話だけをする現在の形で面倒を見ていくつもりです。来年5月、同じ公営へ転居予定。(87歳女性、一人暮らし、担当：遠山、沼田、小林(弘))

・震災以来体調を崩し、病院に通院している。被災前にいた兵庫区に帰りたかったが、何回申し込んでも当たらへんで諦めた。当選した公営(西区)は高台にあり、坂を上がるのが大変。足腰も悪いし、気に入らなかつたら替えてくれると言ったが……。 (79歳女性、一人暮らし、担当：石川、長船、小田)

・震災後仕事がなく、1日4時間アルバイトしているだけ。公営は今年12月の結果待ちだが、「最後まで残ったらどうしよう」という不安はある。(51歳、2人暮らし、担当：石川、長船、小田)

・目が悪く、字がよく見えない。年間35万円程の国民年金と貯金を取り崩しながらの生活をしてきたが、それも続かなくなった。〈生活保護を勧め、後日被災者連絡会に状況を伝える旨約束した。また近々長田区の公営に移転予定だが、区役所が分からないとの事で周辺の地図をお渡しした←11月25日連絡会へ、近日中電話するよう依頼した〉。(78歳女性、一人暮らし、担当：小波本、亀井、佐沢)

・市長に言うたって何もならんやろうけど！。市は住人を仮設から放り出しにかかっている。ほんま年寄りの独りもんが多いし、近所の80代の人があいつ火を出しよるかも心配や。自分はまだ元気に働いているよ。最近疲れがとれにくくなつたけど。(67歳、2人暮らし、担当：石川、長船、小田)

・弟宅に避難して5ヶ月後仮設に入居したが、夫は疲れから入院し…1年後心不全で亡くなった。その付き添い等でご近所の方とお付き合いも出来なかつたが、仮設間移転でここへ来てからは仲の良い人も出来て、本当に良かった(週2回朝食会がある)。出来る事ならここにおりたいが、そうもいかんやろ。足腰が大分弱くなってきたが、息子や姪が来てくれるので安心だし、楽しみ。来年5月転居予定。(80歳女性、一人暮らし、担当：仲井間、矢野、矢萩)

・〈留守番をしていた方から話を伺う〉。私自身は同じ神戸市でも山奥の方(県住)だったので、被害を受けていない。だから被災時の事で、ちょっとでも笑ったりすると「姉さんは地震でひどい目に遭うてないからや！」と妹や姪に怒られる。被災している人としてない人では、こんなにもギャップが大きいものかと思う。同じ県住の人は「私ら税金払ってしんどい思いしてるのに、仮設の人は出たら支援金はもらえるし、安い家賃で新築の公営に住める。ええなあ」と……。妹が仮設に住んでる事を言うと「え、まだおるの？」……。同じ神戸でさえこうなのだから、東京や他の所では実情が分かる訳ない。震災後、私の所へ姉・姪・その子供が避難していたし、今も仮設に来て子供の面倒を見ている私は『二次被災者や』。(60代女性、担当

：仲井間、矢野、矢萩)

・この3年間、ヘルニアの手術を受けたり、耳鳴りで耳が聞こえづらくなったりした。夫も神経の病気で、寝たり起きたりの生活。でも、ようやく来月公営へ移転する事が出来て嬉しい。ボランティアさん、有り難うございました。〈お孫さんが来られて、賑やかな様子でした〉。(？歳、2人暮らし、担当：佐沢、小波本、亀井)

・来月、一時待機制度の民間アパートに移転する。2回も引っ越しするのはしんどいわ。この年になると……。ホント嫌ですわ。(60代、一人暮らし、担当：石川、長船、小田)

・前回訪問…市からの個別斡旋で当選したが入院中で、親戚が代わりに手続きしてくれた。その後行政から何の連絡もないので不安。問い合わせ先の電話番号を伝え、確認する事を勧めた。

直接役所に行って聞いたら「ちゃんと当選しているから大丈夫。12月20日までに何の通知も来なければ、ここに連絡するように…」と電話番号を教えられた。ほとんどの方が引っ越ししてしまい、近所で夜電気のつく部屋は1つしかなく怖い。〈先週と違って表情や話し方もすっかり落ち着かれ、安心された様子だった〉。(78歳女性、一人暮らし、担当：遠山、小林(弘))

11月28日

・よくしゃべる事がボケない秘訣。バスを待っている間、全然知らない人とも話をしますよ。とにかく家にこもりきりにならないよう、外に出る事を心掛けています。来月転居予定。〈お話し相手がいなくて、家族の事・食事や健康法等を終始話されていた〉。(80歳、2人暮らし、担当：矢野、藤沢)

・来年2月に引っ越しが決まっているが、寒い最中なので気が重い。仮設はほとんどの人が出ていかれ、さみしい限りだ。昼はまだ安心だが、夜になると真っ暗で怖く、定期的に巡回してくれるパトロールのようなものがあれば有難い。支援金を出すと云ってるが、今すぐ手元に入る訳ではない。その間に高齢者は亡くなっていく……。 (82歳女性、一人暮らし、担当：川口、矢萩)

・震災によって「がんばらな一！」という気持ちを高められた。またいろんな人の生き様を見せてもらって『いい経験だった』。夫婦共に病気持ちだが、自分の体は自分で知り・守る事が大切と、食事療法を行っている。来月転居予定。〈最初「何も話す事はないし、不足はない」と言われたのですが…そのうち自らどんどん話され、訪問者はひたすら聞き役となりました。自分自身どう生きているか？と問う内容でした。〉(75歳、2人暮らし、担当：清重(智)、西、貝沼)

・夫は仕事がない。職安に行っても年齢でハネられてしまい、今は市のチラシ配りの仕事をしている。私は三宮の中華料理屋で週2回(5時間)洗い場のパートをしている。転居予定は来年5月。〈生活保護又は障害年金の手続き等、どうなのか気になりました。←次回訪問の際、生活保護の資料を持参し説明をする。〉(49歳、2人暮らし、担当：谷口、小川、小林(弘))

・趣味のサークルで社交ダンスをしたり、婦人会主催(被災地)の食事会に通ったりしている。住宅を अच्छこっち申し込んだが当たらず、市住の斡旋待ち。若い人でも当たっているのに…。とにかく健康だけは気をつけよう。(73歳、一人暮らし、担当：谷口、小川、小林(弘))

・震災で店と家、両方なくした。でも支払いせなあかんで近くの場所を借りて服を売ったところ、お客さんが皆来てくれはった。その後新たに店を再開したが売れへんかったので、田舎

の土地売って1年数ヶ月頑張ったけど…結局廃業。今はダイエーの試食のおばちゃんをやっている。天職や思う程、性に合うてる。避難所にいる時、ボランティアは何でもかんでも自分達でやろうとして被災者に接した。でも最後には甘えているとか自立せえと…それでようケンカになった。被災者もボランティアも一緒にやったらいいんや！。空港大反対や。反対するにもマスコミ巻き込むのが中途半端や。浜で皆ろうそくを灯して祈ったらええ。神戸はひなびているからええんや。大阪のマネしてどないする。来週引っ越し。(56歳、2人暮らし、担当：小川、谷口、小林(弘))

・今の仮設に来てもう4年。4年もいたら慣れた。一人だけど、ラジオやレコードをかけているので寂しくない。来年3月転居予定。(87歳女性、一人暮らし、担当：武内、木村、青木)

・また寒い、しんどい冬がやって来る(すきま風が辛い)。ここも4年近く住んどるから、あちこち傷んでいる。よう耐えとるわー。この10~11月に住民がどっと出て行ったから、すっかり寂しくなった。今は、私達がこの仮設の『世話役』を任せられている。自治会も解散し、ふれあいセンターも閉鎖や。転居予定は来年3月以降。〈風呂の換気扇の音がおかしいと言われるので、外ブタを何とか取り外し、掃除が出来るようにした。〉(71歳、2人暮らし、担当：赤西、白倉、明石)

・夫は足・腰が悪く、仮設の風呂は滑って危ないので週2回板宿の銭湯まで通っている。また心臓も悪く、先月救急で2回医療センターに行った。すっごい寒いから、みんな仮設で弱る。気をつけないとね。(79歳、2人暮らし、担当：藤村、亀井、佐沢)

・心臓が悪く、骨粗鬆症等他にも多くの病を抱えている。しんどい時は特に耳が聞こえない。仮設閉鎖後は、息子と同居(淡路島に単身赴任)しようと思っている。ボランティアは今まで何度も来てくれたが、何の解決にもならない。今日はしんどい。〈「夫(今年7月死去)がおるときは肩を揉んでくれた」と言われたので、揉んで差し上げると「こんなの何年ぶりやろか。ありがとう、ありがとう」と大変喜ばれた。普段はやはり耳が聞こえないので付き合いもしないし、またわざと避けるとの事。普段から見回り・ヘルパーさん等必要かと思えます(遠慮がちな方なので申し込んでないようです)。←西区の保健婦さんに訪問を依頼し、ヘルパーやデイサービスの紹介をしてもらう事になった。〉(78歳女性、一人暮らし、担当：藤村、亀井、佐沢)

12月5日

・やっと来年5月転居予定(母と)。仕事はここ2年自宅待機や。住民投票の会に参加し、署名を一生懸命集めたのに蹴られた。市も悪いけど、運動の側にも問題があった。一緒にやった共産党・新社会党は、90年の市議会で空港建設に賛成した事を一度も反省しないまま、条例制定だと言っても信用を得られず。そのうえ市・自民・公明にその事を追及され、党として何も釈明していない。また政党が前に出過ぎて、市民の結集が十分得られなかった。今後は個人の参加がもっと自由に出来るようにし、政党の人は個人で参加してもらう事が必要だ。これからの展開は、運輸省に市の申請を認可しないよう請願の署名を集めたり、自治省や環境庁にも働きかけたい。4月の市議選で空港反対や住民投票容認の議員が増えれば、情勢を変えられる。

(49歳、2人暮らし、担当：矢野、堀、小林(弘))

・地震の時山が動き、平屋のわが家へ隣の家がずり落ちるようにならなくて、母が土に埋もれた。家を何とか再建したいと思うが、傾斜地で危なくて建てられない。母は緑内障で、暗く

なると歩けなくなり、よくこけるので目が離されへん。この前手術して、少しましになったけど……。この仮設は現在8世帯。せやからふれあいセンターも閉められかけたが、何とか管理費出してもろうた。来年5月転居予定。(49歳、2人暮らし、担当：矢野、堀、小林(弘))

・震災後寝たきりになった母(86歳)を、私一人で看護してきた。しかし今は週1回のヘルパー、入浴月3回、訪問看護が週1回等の福祉制度を利用している。また母の年金や介護手当などと被災地しごと開発事業(月5万)の収入で生活出来るようになり、今年10月には生活保護を止めた。でもこうした相談窓口の活動を、これから先も続けて行って欲しい。母の食事(栄養を考えて)を作ると、自分の食事は面倒になりアルコールに頼る。体に悪いと思いつつも、飲む。在宅の仕事が欲しい。中卒の学力しかないが、コンピューターの技術も欲しい。来年3月転居予定。(50歳、2人暮らし、担当：松宮、西、長船)

・娘(障害者)は、作業所で働いており、少しだが給料をもらっている。しかし、娘にいつ何が起こるか分からず心配だ(ケアラインの申込用紙を希望されたので、火曜日に渡す予定)。娘の作業所に近い公営へ、来年5月に入居する事になった。子供の為にも、元気で頑張らなければ。ふれあいセンターで行われるカラオケ・クリスマスパーティー・忘年会等を楽しみにしている。(70歳、2人暮らし、担当：西、長船、松宮)

・母(74歳)は狭心症で肺の手術もしている為、何かあると、近所の人に送ってもらったり、タクシー会社に無理言って来てもらっている。できれば年末年始や深夜に気兼ねなくタクシーを頼みたいのだが……。母の状態を良くする事が一番大事なので、仕事をしていない。来年5月転居予定。(45歳、2人暮らし、担当：松宮、西、長船)

・この仮設で私達だけ当たっていない。みなさん出ていかれ、私達どうなるんでしょう。もう7回も申し込んでいるのに……。私は先が短いからいいけど、息子の事を思うと…不安になる。その息子は「僕はどうでもいいから、お母さんのいい所選びなさいよ」と言ってくれる。(78歳、2人暮らし、担当：松宮、西、長船)

・近くの高校に避難していた。障害者の人はトイレで車椅子が使えず苦勞していたが、近くの人が支えあって過ごした。今でも先生方を中心に毎年“避難所同窓会”を行っており、50～70人が集まる。来年5月転居予定。(55歳女性、一人暮らし、担当：松宮、西、長船)

・来年5月転居予定。家の前で小松菜やイチゴを栽培しており、時々回りの人達にも分けてあげ、喜ばれている。〈お年には見えないほど、元気でハキハキされている方でした。〉(74歳女性、一人暮らし、担当：小波本、白水、明石)

・友人から渡された申込用紙で応募し、ようやく当選した。来年5月転居予定なのに、近日中に仮設内移転をしなければならない。去年8月洗濯中に転び3ヶ月入院していたが、いまだ痛む。腰・手首・胃とあちこち悪いが、何とかやっています。病院で顔見知りと話するのが楽しみ。〈眼鏡も掛けずに新聞を読む事が出来、顔つやも良かったので安心した。しかし、みんなが出ていかれ、寂しそうでした。〉(83歳、一人暮らし、担当：小波本、白水、明石)

12月12日

・復興住宅申し込みの際、もとの居住地(中央区)を第1希望として何度も申し込みましたが落選し、やむなく垂水区に入居する事になりました。かなわぬ事とはいいながら中央区に戻りたかったと切に思っております。(74歳女性、一人暮らし、本人自筆)

2DK(荷物が多いので)ばかり申し込んだので、当たらなかったのでしょうか? 以前は

中央区の友人宅へよく行っていたが、もう帰れないと思うと…疎遠になってしまった。ここでも、あまり近所付き合いはないです。来年5月転居予定。〈50年来のオリックスファンとの事。野球が大好きで生きる張り合いになっている様子。〉(担当：白井、小林(弘))

・体調が悪いので、まだ転居していない(11月予定だった)。別に暮らしている息子の事や自分の体の事を考えると、どうしたらいいのかと思う。でも今日、長い時間話を聞いてくれたお陰で、多少気が楽になりました。人の顔を見ていると気が晴れます。〈←西区保健婦部に相談したところ、「後日訪問をし状況を確認します。その上で出来るサービスを勧めていきたい」との事。〉(72歳男性、一人暮らし、担当：堀、小林(弘))

・居住者が少なくなったので、夜は怖い。出来れば夜間パトロールが欲しい。息子・娘・孫達がよく訪れてくれるので嬉しい。来年3月転居予定。(79歳女性、一人暮らし、担当：白岩、堀)

・動けるうちは働いていた方が気が晴れるので、病院で毎日清掃の仕事をしている。行政や政治家は自分達の事しか考えておらず、弱い者の事など考えてない。来年7月に転居予定だが、それまでここに残りたい。〈お話を聞いている間も、業者が空き家のクーラーを取り外していて、すごく気になった。〉(77歳女性、一人暮らし、担当：渡辺、清重(智))

・昔、背骨を骨折した為今でも寒い時期になると痛む。体はしんどいが、掃除・洗濯・炊事等は自分でしている(部屋の中は整理されていた)。耳が遠い。公営に荷物を一部運び込んでいるが、いろいろと金がかかるので、まだ入居していない。〈お話を聞いている間も、同じ話を何回もされた。ご本人も言われているが痴呆症の可能性も……。支援が充分になされているだろうか。←西区保健部に確認するしたところ、12月19日に移転しますとの事。本人は団体生活を望んでおらず、一人で暮らしたいと言われるので、転居先でもヘルパー等の福祉サービスを受けられるよう手配する事になった。〉(87歳男性、一人暮らし、担当：小野、矢萩)

・住宅は今年20日の結果待ち。高校は市街地まで通っているが、クラブ活動もしており楽しい。早く住宅が当たればいいのに……。 (16歳、3人暮らし、担当：小野、矢萩)

・住人が減っているが、この棟は結構残っている(5軒のうち未当選2軒)。うるさいのぼっかで、賑やかにやっている。体は特に悪い所はないよ。口は悪いけどな〈アハハハと元気に笑っておられた〉。来年4月市街地へ転居予定。交通機関も発達しているし、市場にも近いので嬉しい。(70歳女性、一人暮らし、担当：西、長船、白倉)

・市街地を申し込んだが、12月20日の結果待ち。体が弱いから、かかりつけの医者がある市街地に、何とか戻りたい。役所に公営を斡旋してもらっても、辺な場所に行かされそうになるし、まるで姥捨て山だ。でも役所の言うままには、ならへんで。(60代女性、一人暮らし、担当：西、長船、白倉)

・区画整理の換地交渉もやっと済んだが、平成12年までなんて待つてられないので、公営に当たって安心した。ただ転居予定が4月にずれ込むと私一人になり、どうしようと思う。(77歳女性、一人暮らし、担当：西、長船)

・来年3月に転居予定だが、娘の家から5分位の所なので安心。目が悪く書類等の作成に困るので、誰かに手伝って欲しい(来年2月頃)。仮設住宅にはお世話になったので、今度の正月は感謝のつもりでここで過ごしたいと思う。(82歳女性、一人暮らし、担当：白井、白岩)

・老後が心配で土地を持っているが、換地によって土地評価額が上がり固定資産税が心配。また換地で、登記面積から15%近く狭くなるのは納得行かない(減歩率5%のはずなのに)。

その上、建ぺい率7割で建坪は仮設(約26.4㎡)の倍の広さもない……。来年2月、換地の正式決定通知があり、それまでに建築業者を決める必要がある。どこに相談すればいいか？。

〈神戸中央総合住宅相談所の住所・電話番号をお伝えした。猫10匹と暮らしておられ、まだ未定だが自宅を再建されるとの事。〉(66歳女性、一人暮らし、担当：小野、矢萩)

・夫の糖尿病はかなり進んでいて、今度6度目の入院(朝・晩とインシュリン注射をする)。来年3月転居予定だが、夫の入院で段取りは全て私一人がする事になり、不安。諸手続きと引っ越しの支援をお願いしたい。また、移転先へ持っていない使えそうな物をバザーに出したいが、どうしたらいいですか？。〈引っ越しボラの説明はしました。バザー←須磨ボランティアで行われているので、電話番号を紹介する予定。「引っ越しでも来てくれるの？これは仮設にいる間だけのボランティア活動なの？」と聞かれ、少し返事に困りました。「結局、人と人とのつながりやで。心やで…」とおっしゃってました。〉(61歳、2人暮らし、担当：白倉、寺野)

・なかなか公営に当たらず、どうしようと思っていたが、個別斡旋で入居が決まった。元の場所に戻れるので本当に嬉しいです。カギ渡しは12月16日なので、今月中に引っ越したい。

〈引っ越しボランティアの資料をお渡しした。〉(85歳女性、2人暮らし、担当：渡辺、清重(智))

12月19日

・ここは、5～6軒残っているだけなので心細い。自分は高血圧で、肩・腰・膝が悪く杖をつけて歩いている。妹は心臓が悪く、いつ発作が起きるかわからない。来年5月転居予定。(86歳、2人暮らし、担当：祝、青木)

・畳の隙間から草が出てくるなど、仮設の暮らしは大変！。それなのに“家賃払わんでええな”とか言われると腹立つ。早く自立せな。行政は空き部屋の点検はしても、住人の様子は全然見ていない。一人暮らしの人が心配や、声掛けないと……。ボランティアは金はないが、その点暖かみがある。(60歳、2人暮らし、担当：武内、白倉)

・元の土地に家を再建し住んでいる。ここの仮設で、思い出を一杯作って楽しかった。仮設を出た今でも夫婦で灘から月2回、ふれあいセンターで行われるカラオケ大会に来ている。〈盆踊り大会や小旅行など今まで仮設で行われたイベントの写真が、ふれあいセンターにたくさん貼り出してあった。また転居先から何人かの人が来られていた。次々とふれあいセンターが閉まる中で、ここはその名の通り理想的な『ふれあいセンター』として機能している場です。住民・元住民・近隣の人達が、気軽にわいわいと楽しめる場って普通あるかな？。全くそれまで知らない者同士から生まれた素敵なコミュニティの形だと思いました。〉(?歳、2人暮らし、担当：猪上、亀井)

・足が痛むので、湊川の病院で月2～3回電気治療をしてもらっている。長田の公営に当たり、来年1月には引っ越し予定だが、その後書類も何も来ず詳しい事がわからない。〈再訪した時、神戸市営住宅募集係へ相談する事を勧める予定〉。(66歳女性、一人暮らし、担当：林、小田)

・中央区の病院へ通院している。胃潰瘍で半年に1回胃カメラを飲まなければならない、それが嫌だ。内科6種類、整形外科2種類の薬を飲んでいるが、副作用で体が痒くなり、全身をかきむしるので皮膚科のお世話にもなっている。薬ばかりで…うんざりや。また股関節の手術をし

ているので、あぐらが組めないし横になっても起き上がるのが大変（布団の近くに椅子をおいて、それを支えにして立ち上がる）。電話が鳴る度に、取りに行くのが特に大変や〈延長コードについて調べ、後日お返事する事になった。公営の設備（来年5月転居予定、シルバーハイツ）解説ビデオを紹介したところ、「見たい」と言われたのでダビングしてお渡しする事になった〉。公営の工事が遅れいつ入居出来るのかわからんが、早く入りたい。（68歳男性、一人暮らし、担当：長船、矢萩）

・癌治療のコバルト照射の副作用で右足の神経が切れており、長く歩けない。娘達も最近ここへ来ない。人が余りいないので来る方も寂しいと思う。来年5月転居予定。（62歳女性、一人暮らし、担当：祝、青木）

・胃を大幅に切り取っているので、1日5回に分け数種類の栄養を摂らなければならず、食事が大変。それでも十分に栄養が摂れなくて医師に注意される。一人の食事ではどうしても難しい。来年5月転居予定。（78歳女性、一人暮らし、担当：西、白岩）

・最後まで残るとは思わなかった。1年前から当たっているのに、後から決まった人が先に出て行って、嫌になったわ。寂しいし物音がしたら怖い。だから裏手から入れんよう水張ったバケツを置いている。こんなところで死にたくない。血圧が高く左目が見えない。耳も遠うなって電話の声聞こえへん。ベルデ名谷（来年5月転居予定）の坂はキツイらしいが、大丈夫やろか？。（83歳女性、一人暮らし、担当：三宅、小林（弘））

・何もかも焼けてしまい、服はみんな貰い物、家具はなく食器等も最小限しか持っていない。公営へ入居する際、揃えるのにお金がかかり大変や。ここに2ヶ月前まで住んでいた〔66歳、一人暮らし〕は公営へ入居後10日程して倒れ、入院してたんやけど、今日お葬式や。〔71歳、一人暮らし〕は、明日引っ越すという日に倒れ、救急車で病院へ行ったけど亡くなった。当たってから1年待ってたのに、丁度引っ越す日が葬式になってしまった。私は来年2月転居予定だが、未だ何の連絡もない。（63歳女性、一人暮らし、担当：三宅、小林（弘））

・ここは空気がいいけど寒い。特に朝は底冷えがひどいし、夜はシーンとしていて寂しい。膝が悪く、水を抜いたりするけど元気です。趣味は散歩・友人とのおしゃべり。おいしい物を食べてブラブラしています。来年3月の転居はこの辺り3軒と一緒に一緒だし、近くに息子の家があるので心強い。明日はふれあいセンターで忘年会。楽しみやな。（74歳女性、一人暮らし、担当：武内、白倉）

12月26日

・仮設の契約は来年3月31日までだが、転居予定は6月上旬だ。困っていたら、市から居てもいいと言われたので安心した。（58歳男性、一人暮らし、担当：福本、丸笹、長船）

・何回もこうやって訪問してくれ、本当に有難く思っている。来年4月転居予定。（56歳男性、一人暮らし、担当：西、谷川、小波本）

・洗濯機や近くにある自販機を壊され、治安が悪くて心配だ。警察がパトロールしてくれてるけど……。来年3月転居予定。（63歳、2人暮らし、担当：赤松（成）、川口、白倉）

・やっと住宅に当選し、安心した（来年3月転居予定）。しかし、今回も落選した人の事を思うと……。住んでいる人間が減ってくにつれ神経質になり、夜5時にはカーテンを閉め、明かりが外に漏れないよう豆球しかつけない。少しの物音でも人の足音に聞こえ怖い。他の人も用心して出てこんと思うわ。〈換気の窓から顔も出さず「どちら様？」と相手を確かめてから、

- カギを開けられた。しかし、「一旦上がったらもう遠慮せんといて」と快く応対して下さった。
- (76歳女性、一人暮らし、担当：小川、佐沢、亀井)
- ・公営申し込みで落選した。一人で心細い。早く元の場所に戻りたい(膠原病で通院に時間がかかり大変)。福祉の電話を付けたい。〈生活保護・ベルボックスの資料をお渡しした〉。(58歳女性、一人暮らし、担当：丸笹、長船、福本)
 - ・エアコンがない。厚着をし寒さをしのいでいる。来年1月20日頃転居予定。〈とても92歳とは思えないほど元気な方ですが、あと20日余り寒い生活をされるのかと思うと心配です。←12月30日訪問したところ、電気ストーブがあった。しかし一人で生活されていくのは大変な様子なので、西区保健所に連絡しヘルパーさん等を検討してもらう予定〉。(92歳男性、一人暮らし、担当：赤松(成)、川口、白倉)
 - ・前回訪問・股関節の手術をしており、起き上がるのが大変。ベルボックスの延長コード・転居先の公営設備の解説ビデオをお渡しする予定。
延長コード(7m)と接続アダプターをつなぎテストしたところ、ちゃんとつながったので安心した。その後電話機を枕元に持って行かれた。解説ビデオの緊急ボタン・火災の時の脱出設備・台所や風呂の給湯設備を見て「ほう、いろいろ整っているなあ」と感心されていた。しかし緊急連絡先の設定方法は「こんなややこしいの、分からへん」と……。入居してから再度見ていただけるように、ビデオをお渡しした。(68歳男性、一人暮らし、担当：桜田、矢萩)
 - ・前回訪問・母の看護を一人でしてきたが、現在は高齢者福祉制度を利用している。出来れば在宅の仕事がしたい。またコンピュータの勉強もしたい。
母の介護で家を開けられない為、長時間になる仕事や講習には出られない。先日被災地しごと開発事業から電話モニターの仕事を勧められたが、講習を受けに行かなければならずあきらめた。パソコンの技術習得は仕事より情報収集が目的だが、機器を揃えるのに20万以上かかるのは痛い。仕事は公営(3月入居予定)に入居してから、ゆっくり考えたい。(86歳、2人暮らし、担当：桜田、矢萩)
 - ・前回訪問・娘はしあわせの村の作業所で働いている。娘にいつ何が起こるか分からないので、ケアラインを申し込みたい。←申込用紙を郵送した。
ケアラインを申し込んだが、取り付けに来ていない。特に急を要するわけではないし、ベルボックスも今のところ必要ない(来年5月転居予定)。仮設も人が少なくなっている中で、こうして1軒1軒回ってくれるのは、心のケアにもなり有難い。(68歳、2人暮らし、担当：桜田、矢萩)
 - ・前回訪問・母は肺が悪く、狭心症でもある。年末年始や深夜に気兼ねなくタクシーを頼みたいのだが……。
以前教えてもらったタクシー会社のリストであちこち当たってみたが、あかんかった。最近も母の調子が悪くなり、神明タクシーに無理言って午前1時頃来てもらった。帰りは午前4時頃だったが待機してくれてくれた。本当は近くでボランティアとして動いてくれる人がいればいいのだが……。〈心当たりがないので、紹介出来ず残念だった。運転手さん何人かと個人的に親しくなり、頼みやすくするよう一応お勧めしたが……。←インターネットで見つけた民間救急の会社から資料を取り寄せたが、緊急時の対応は無理との事で紹介は断念した。〉(70歳、2人暮らし、担当：桜田、矢萩)